

A：相談支援センターの広報

相談支援センターが作成した

- ーパンフレット
 - ーちらし
 - ー掲示物
 - ーHP
- など

メディアなどでとりあげられた

- ー院内情報誌
 - ・市町村広報誌
 - ・新聞などの記事
 - ーテレビ番組
- など

| No. | 都道府県 | 施設名 |
|-----|------|------------------------|
| 1 | 鳥取県 | 国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院 |
| 2 | 鳥取県 | 鳥取県立中央病院 |
| 3 | 鳥取県 | 鳥取市立病院 |
| 4 | 鳥取県 | 鳥取県立厚生病院 |
| 5 | 島根県 | 国立大学法人 島根大学医学部附属病院 |
| 6 | 島根県 | 松江赤十字病院 |
| 7 | 島根県 | 島根県立中央病院 |
| 8 | 岡山県 | 国立大学法人 岡山大学病院 |
| 9 | 岡山県 | 財団法人津山慈風会 津山中央病院 |
| 10 | 岡山県 | 総合病院岡山赤十字病院 |
| 11 | 広島県 | 国立大学法人 広島大学病院 |
| 12 | 広島県 | 広島市立広島市民病院 |
| 13 | 広島県 | 広島赤十字・原爆病院 |
| 14 | 山口県 | 国立大学法人 山口大学医学部附属病院 |
| 15 | 山口県 | 総合病院山口赤十字病院 |
| 16 | 山口県 | 独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター |
| 17 | 徳島県 | 国立大学法人 徳島大学病院 |
| 18 | 徳島県 | 徳島県立中央病院 |
| 19 | 徳島県 | 徳島赤十字病院 |
| 20 | 香川県 | 国立大学法人 香川大学医学部附属病院 |
| 21 | 香川県 | 三豊総合病院 |
| 22 | 香川県 | 高松赤十字病院 |
| 23 | 愛媛県 | 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター |
| 24 | 愛媛県 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院 |
| 25 | 愛媛県 | 愛媛県立中央病院 |
| 26 | 高知県 | 国立大学法人 高知大学医学部附属病院 |
| 27 | 高知県 | 高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター |
| 28 | 高知県 | 高知県立幡多けんみん病院 |

1.鳥取大学医学部附属病院

A.相談支援センター広報(リーフレット)

がん相談支援室【受付】
0859-38-6294

看護師
臨床心理士

ソーシャルワーカー
(医療福祉支援センター)
専門医
医療サービス課

場 所：鳥取大学医学部附属病院 がんセンター
受付時間：9時～16時(土日、祝日は除く)
TEL 0859-38-6294

相談に関しては無料となっております。
お気軽にご相談ください。

鳥取大学医学部附属病院
がんセンター
がん相談支援室

院内外の患者さんやご家族の方へ
がんに関する情報を提供します。
また、さまざまな不安や心配についても
ご相談をお受けいたします。

第二中央診療棟
2F
①…受付
②…がん相談支援室
※がんセンター受付にお越しください。

…外家入り口からエレベーターで2Fへ、
直り廊下を過ぎて第二中央診療棟のがんセンターへ。

相談員からの一言

看護師 (医療の専門家)
がんの治療や症状についての不安や悩み、療養生活で困っている事など、お気軽にご相談ください。

臨床心理士 (こころの専門家)
がんは患者さんやご家族のところに大きく影響を与えます。こころが疲れているときは一人で悩まずにご相談ください。

ソーシャルワーカー (生活の専門家)
がん治療を安心して受けられるように医療費・生活費の経済的な面、自宅での療養や介護、転院など、さまざまなご相談に対応いたします。



こんな心配はありませんか？

Q. ○医師から病気のことを説明されましたが、難しくよくわかりません。
○緩和ケアって何の事？

A. 資料やパンフレットを示しながら説明いたします。

Q. ○がんと言われて頭が真っ白です。これからのことを考えると不安でいっぱいです。
○家族ががんと言われたけど、どのように接したらよいかよくわからない。
○家族が、がんで亡くなり、なかなか立ち直ることができなくて辛い。

A. こころの疲れを少しでも和らげるお手伝いをいたします。

Q. ○治療や手術にかかる費用が心配です。
○退院することになったけど、自宅でどうしたらよいかわかりません。

A. 医療費や福祉制度について説明し、療養生活の工夫などをアドバイスいたします。

ご相談の内容によっては、すぐに回答できないこともありますのでご了承ください。(相談に関する情報は厳守いたします。)

ご相談の内容によっては、すぐに回答できないこともありますのでご了承ください。(相談に関する情報は厳守いたします。)

1.鳥取大学医学部附属病院

A.相談支援センター広報 (サポートブック 鳥取)



がんに関する相談窓口

がんの治療に関すること

がんに関する相談窓口

がんの治療・療養生活については、まず相談支援室(センター)にご相談ください

県内のがん診療連携拠点病院(P3参照)では、相談支援室(センター)という窓口が設けられています。がん患者やご家族からはもちろん、地域の方からのがんの治療や療養生活についての相談を受け付けています。また、がんに関する様々な情報提供も行っています。相談は無料で、その病院で治療を受けていない方でもご利用できます。

たとえば・・・

- がんについて詳しく知りたい、治療や症状について詳しく知りたい、医療費や在宅支援について知りたい、心の悩みを相談したい、家族のことも相談したい・・・等

がん点病院の相談支援室(センター)

平成24年2月現在

| 病院名 | 所在地 | 電話番号 | 開室日時 (土日・祝祭日を除く) |
|------------------------|--------------------------|---------------|-------------------------|
| 鳥取大学医学部附属病院 がん相談支援室 | 683-8504 米子市西町36番地1 | (0859)38-6294 | 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 |
| 鳥取県立中央病院 がん相談支援室 | 680-0901 鳥取市江津730 | (0857)21-8501 | 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時 |
| 鳥取市立病院 がん相談支援センター | 680-3501 鳥取市約場1丁目1 | (0857)37-1570 | 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時 |
| 鳥取県立厚生病院 がん相談支援室 | 682-0804 倉吉市東昭和町150 | (0858)22-8181 | 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 |
| 米子医療センター がん相談支援センター | 683-8518 米子市車尾4丁目17-1 | (0859)37-3930 | 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時 |

※各施設の開室日時の詳細については、事前にご確認ください。

なお、がん診療連携拠点病院に準ずる病院(P4参照)でも、相談支援の窓口があります。

2

がんの治療に関すること

がん診療連携拠点病院(がん拠点病院)とは

全国各地でも質の高いがん医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した医療機関で、県内では5病院が指定されています。都道府県ごとに1つ置かれる「都道府県がん診療連携拠点病院」と、地域ごとに整備される「地域がん診療連携拠点病院」があります。これらの病院では、地域におけるがん診療の拠点となり、質の高い医療を提供するとともに、地域の医療機関(かかりつけ医)と連携を図り、最適ながん治療が受けられるよう支援を行っています。

【がん診療連携拠点病院の配置図】平成23年11月現在

都道府県がん診療連携拠点病院 指定期間平成22年4月1日～平成26年3月31日

| 医療機関名 | 住所 | 電話番号 |
|--------------|-----------|----------------|
| ①鳥取大学医学部附属病院 | 米子市西町36-1 | (0859) 33-1111 |

地域がん診療連携拠点病院 指定期間平成22年4月1日～平成26年3月31日

| 医療機関名 | 住所 | 電話番号 |
|-----------|--------------|----------------|
| ②鳥取県立中央病院 | 鳥取市江津730 | (0857) 26-2271 |
| ③鳥取市立病院 | 鳥取市約場1丁目1 | (0857) 37-1522 |
| ④鳥取県立厚生病院 | 倉吉市東昭和町150 | (0858) 22-8181 |
| ⑤米子医療センター | 米子市車尾4丁目17-1 | (0859) 33-7111 |

3

発行:鳥取県健康対策協議会
「鳥取県健康対策協議会」のホームページにも掲載
<http://www.kentaikyuu.tottori.med.or.jp/>

1.鳥取大学医学部附属病院

A.相談支援センター広報(個別HP)

Tottori University Hospital
鳥取大学医学部附属病院がんセンター

お問い合わせ ◎ サイトマップ

トップページ
センター長挨拶
体制・機能
診療案内
診療実績
研修体制
がん診療連携協議会
がん相談支援室
さくらサロン

がん相談支援室

院内外の患者さんやご家族の方へがんに関する情報を提供します。また、さまざまな不安や心配についてもご相談をお受けいたします。

相談員からの一言

看護師(医療の専門家)
がんの治療や症状についての不安や悩み、療養生活で困っていることなど、お気軽にご相談ください。

臨床心理士(こころの専門家)
がんは患者さんやご家族のこころに大きく影響を与えます。こころが疲れているときは一人で悩まずにご相談ください。

ソーシャルワーカー(生活の専門家)
がん治療を安心して受けられるように医療費・生活費の経済的な面、自宅での療養や介護、転院など、さまざまなご相談に対応いたします。

こんな心配はありませんか？

Q. 医師から病気のことを説明されましたが、難しくよくわかりません。
○ 緩和ケアって何の事？

A. 資料やパンフレットを示しながら説明いたします。

Q. 治療や手術にかかる費用が必要ですが。
○ 退院することになったけど、自宅でどうしたらよいかわかりません。

A. 医療費や福祉制度について説明し、療養生活の上天などをアドバイスいたします。

Q. がんと言われて頭が真っ白です。これからのことを考えると不安でいっぱいですが。
○ 家族ががんと言われたけど、どのように接したらよいかわからない。
○ 家族が、がんで亡くなり、なかなか立ち直ることができなくて辛い。

A. こころの疲れを少しでも和らげるお手伝いをいたします。

※ご相談の内容によっては、すぐに回答できないこともありますのでご了承ください。(相談に関する情報は厳守いたします。)

がん相談支援室 [受付]
0859-38-6294

**看護師
臨床心理士**

**ソーシャルワーカー
(医療福祉生活センター)
専門医
医療サービス課**

・場所:鳥取大学医学部附属病院 がんセンター
・受付時間:9時~16時(土日、祝日は除く)
・TEL:0859-38-6294



Tottori University Hospital
鳥取大学医学部附属病院がんセンター

お問い合わせ ◎ サイトマップ

トップページ
センター長挨拶
体制・機能
診療案内
診療実績
研修体制
がん診療連携協議会
がん相談支援室
さくらサロン

ようこそ鳥取大学がんセンターHPへ

このHPは鳥取大学医学部附属病院がんセンターに関する情報を掲載しています。

新着トピックス

2011.7.3
第10回 鳥取大学がん看護セミナーを開催致しました。
がん患者に対する心理・社会的グループ療法
～患者さんたちが正しい情報を得、気持ちを分かち合うことへの支援～
講者:「がん患者に対する心理・社会的グループ療法について」
鳥取大学大学院保健学研究科 教授 岡村 仁 先生
講者:「ファンクショナル」
鳥取大学医学部附属病院がんセンター 特命教授 中津 雅美 先生
「ファンクショナル」を学ぶためのトレーニング!ロールプレー [詳細→](#)

2010.11.19
がんセンター公開セミナーを行いました。
講師:静岡県立静岡がんセンター 産科口腔外科部長 大田 洋二郎 先生 [詳細→](#)

鳥取大学医学部附属病院 〒683-8504 米子市西町30番地1
TEL:0859-38-6292 FAX:0859-38-6293

Copyright (C) Tottori University Hospital All Rights Reserved

A.相談支援センター広報(ポスター)



鳥取大学医学部附属病院
がんセンター

がん相談支援室

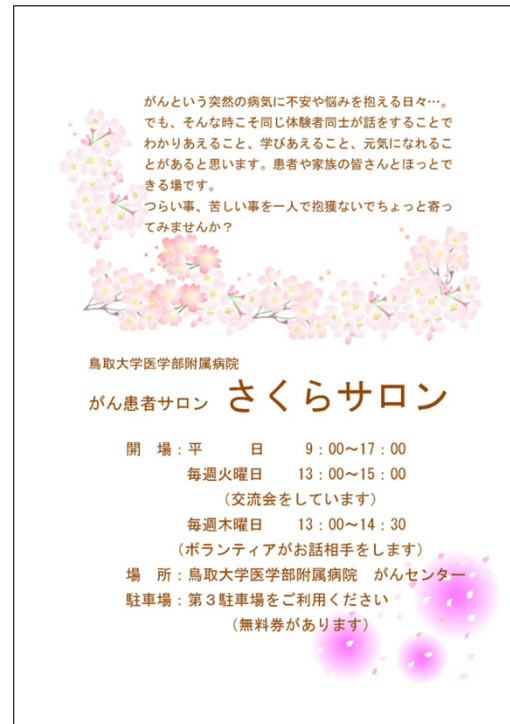
院内外の患者さんやご家族の方へ
がんに関する情報を提供します。
また、さまざまな不安や心配についても
ご相談をお受けいたします。

相談に関しては無料となっております、お気軽にご相談ください。

がん相談
支援室

場 所：鳥取大学医学部附属病院 がんセンター
受付時間：9時～16時(土日・祝日は除く) TEL 0859-38-6294

がんセンター受付、各病棟に掲示



がんという突然の病気に不安や悩みを抱える日々…。
でも、そんな時こそ同じ体験者同士が話をすることで
わかりあえること、学びあえること、元気になれること
があると思います。患者や家族の皆さんとほっとで
きる場です。
つらい事、苦しい事を一人で抱えないでちょっと寄っ
てみませんか？

鳥取大学医学部附属病院
がん患者サロン さくらサロン

開 場：平 日 9：00～17：00
毎週火曜日 13：00～15：00
(交流会をしています)
毎週木曜日 13：00～14：30
(ボランティアがお話相手します)
場 所：鳥取大学医学部附属病院 がんセンター
駐車場：第3駐車場をご利用ください
(無料券があります)



鳥取大学医学部附属病院
緩和ケアチーム
からのお知らせ

『緩和ケア』とは、患者さんの痛みや吐き気、息苦しさなどの身体的苦痛や、抑うつ、不安、不眠などの精神症状を和らげたりする医療や援助のことで、ご家族にも安心していただけるよう支援することをいいます。
当院では、より良い緩和ケアを行うために、様々な専門分野を担当するメンバーから構成されるチームでの活動を行っております。
緩和ケアをご希望の方は担当医または看護師へご相談ください。

チームスタッフ

医師 (いたみ緩和ケア科医・心療内科医・内科医など)
看護師 (緩和医療に精通した看護師)
薬剤師 (疼痛緩和などに精通した薬剤師)
リハビリテーションスタッフ
(医師・看護師・理学療法士)

ケアの内容

薬物療法、神経ブロック
カウンセリング
症状緩和に関するケア
ごころに関するケア
リハビリテーション
日常生活支援
他

A 相談支援センターの広報

ご案内

相談室内ではインターネットの使用が可能です。相談員と一緒に信頼できる情報を探します。また、必要な情報はその場で印刷して、お持ち帰りいただくことも可能です。遠慮なくお声かけください。

がん相談支援室のホームページをリニューアルしました。がん情報探しや、院内のがんサロン・相談機関などの情報を整備しました。ぜひアクセスしてみてください。
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=127471>

図書コーナー

がん相談支援室前のスペースに図書を設置しています。貸し出しをご希望の際は、相談員にお声かけください。

また、がんに関する各種パンフレットも取りそろえております。お気軽にお立ち寄りください。



地域連携センター がん相談支援室



がん相談支援室 のご案内

がんに関する不安、悩みなど
お気軽にご相談ください

相談室はプライバシーの守られる
個室を用意しています

開室日 月～金(祝日を除く)
 時 間 8:30～16:00
 料 金 無料
 相 談 員 看護師、臨床心理士、
ソーシャルワーカーなど
 相談方法 直接来室、電話など
(予約は原則不要です)
 TEL 0857-21-8501(直通)

患者さんご家族(ほか)
どなたでもご利用できます

H23.9 鳥取県立中央病院地域連携センター
がん相談支援室



鳥取県立中央病院
地域連携センター
がん相談支援室

がん相談支援室
リーフレット
(三つ折)

こんなときにご相談ください

先日〇〇がんと診断されたけど、
どうい病気かわからない

各種がんのパンフレットなどを
用いてご説明いたします。

気分が沈んで、何もやる気が起きない

不安な気持ちで、いてもたっても
いられない…

臨床心理士がゆっくりとお話を
聞かせていただきます。

担当医以外のお医者さんにも病気
についての意見を聞きたい!

セカンドオピニオンに関する
具体的な方法や手順などに
ついてご相談に応じます。

自分と同じような病気をした人の
体験談を聞きたい!

当院では、がん患者・家族の
経験がお互いの経験を語り合う場
として、「サロンあおぞら」を
設置しています。会の雰囲気や
参加方法などご説明いたします。

通院が決まったけど、家に帰って
からの生活が不安だ…

医療費や生活費のことで
困っている

退院後の支援体制、医療費や生活
費のことなどについてソーシャル
ワーカーがご説明いたします。

治療の副作用がつかなくて、何とか
したいけど何をすればいい?

体の痛みがひどくて普段の生活に
支障が出る

痛みや症状に合ったお薬や
生活の工夫でつらさを和ら
げられるようにがん看護専
門看護師がアドバイスをいた
します。

その他の相談についても
お気軽にお問い合わせください

スタッフからの メッセージ

ソーシャルワーカー は、
医療費・生活費などの経済的な相談、自
宅での療養や介護、他の病院への転院の
相談など、がん治療を安心して受けられ
る上での色々な問題に対してご相談にの
り、解決へのお手伝いをしています。
いつでもお気軽にご相談ください。

がん看護専門看護師 は、
がんの治療や症状に関する悩み、日常生活
で困っていることなどのご相談に対応
します。
また、緩和ケアについてもご相談にのり
ますので、お気軽にお越しください。

臨床心理士 は、
「こころの専門家」です。病気との上手
なつきあい方を見つけて、不安やつらさ
を和らげましょう。
病気は本人だけではなく、そのご家族に
とっても大きなストレスとなります。一
人で抱え込み過ぎず、ぜひご相談ください。

A 相談支援センターの広報

がん相談支援室HP
(抜粋)

1. がん相談支援室

当院は、平成19年1月31日付けで、厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。これに伴い「がん相談支援室」を開設しました。がん相談支援室では、がん患者さま及びそのご家族の方が、「安心して」「納得のいく」がん治療を受けることができるようがんに関する適切な情報提供を行うと共に、生活に関するご相談や心のケアも行っていきます。

開室日

月曜日～金曜日（祝祭日は除く）

受付時間

8時30分～16時

相談場所

がん相談支援室／地域連携センター

相談料

無料

電話番号

0857-26-2271（代表）

場所

「地域連携センター」「がん相談支援室」は、1階外来棟の泌尿器科と眼科の間にあります。



2. がん相談支援室の主な業務

1. 各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報の提供
2. 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の収集、紹介
3. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
4. 患者の療養上の相談（がんの治療や症状、医療費や在宅支援、心の問題など）
5. 各地域における、かかりつけ医を対象とした意識調査
6. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
7. がんに関連する研究会などの各種案内
8. がん患者会への支援
9. がん関連書籍/DVDの貸出

3. スタッフ

がん相談支援室のスタッフには、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士がいます。相談は主に、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士がお受けしています。

4. 相談方法

対象となる方

がんと診断された患者さま及びそのご家族の方、がんの疑いがある方など、がんに関連することであれば、どなたでもご利用になれます。当院に通院、入院中の方はもちろん、他院に受診中の方や、未受診の方でも構いません。

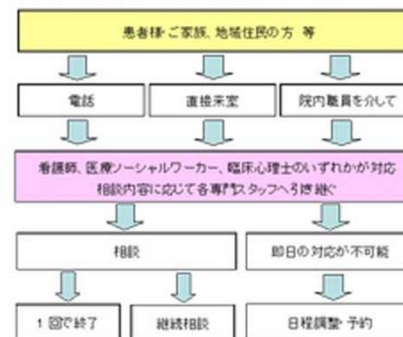
相談までの流れ

開室日の時間内であれば、いつでもご相談になれます。その際の予約は不要です。ただし、当日の相談状況や相談内容によっては、相談員がすぐに対応することが難しい場合もあります。あらかじめ、電話などで来室日時や相談内容を教えていただくと、よりスムーズに相談をお受けすることができます。具体的には、以下のような流れになります。



相談までの流れ

開室日の時間内であれば、いつでもご相談になれます。その際の予約は不要です。ただし、当日の相談状況や相談内容によっては、相談員がすぐに対応することが難しい場合もあります。あらかじめ、電話などで来室日時や相談内容を教えていただくと、よりスムーズに相談をお受けすることができます。具体的には、以下のような流れになります。



5. 相談室のご案内












がん相談支援室には2つの相談室があり、いずれもプライバシーの守られる個室となっています。また、インターネットの利用が可能なパソコンを設置しています。相談員が患者さまと一緒に最新の情報を集めます。また、必要があれば情報を印刷して持ち帰っていただくことができます。家にパソコンがない方、インターネット上のどの情報を信頼して良いか分からない方など、一緒に信頼できる情報を探します。遠慮なく声をおかけください。 ※相談者のみでのインターネット利用はお断りしています。



院内無音TV
がん相談支援室広報
プログラム
(外来待合など)

A 相談支援センターの広報

2.鳥取県立中央病院

| | |
|--|---|
| <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>がんに関わるご相談であれば ぶるず承っております。 がんについての不安や悩みなど、 お気軽にご相談ください。</p>  | <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>がんとなつて以来気分が沈んで 何もやる気が起きない。</p>  |
| <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>退院が決まったが、家に 帰ってからの生活が不安だ。</p>  | <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>担当医以外のお医者さんの 意見を聞きたい。</p>  |
| <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>不安な気持ちで いても立ってもいけない。</p>  | <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>近隣の患者会やがんサロンに 関しておしえてほしい。 など</p>  |
| <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>新聞やTVで見た治療法の ことを詳しく知りたい。</p>  | <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>相談員 ■ 看護師、臨床心理士、 ソーシャルワーカーなど 相談方法 ■ 直接来室、電話など (予約は原則不要です) TEL ■ (0857)21-8501(直通)</p>  |
| <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>開室日 ■ 月～金 (祝日を除く) 時 間 ■ 8:30～16:00 料 金 ■ 無料</p>  | <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>相談室では、プライバシーの守られる個室 を用意しています。また、インターネット や書籍を利用して、相談員が患者や家族の 皆様と一緒に書類でせる情報を探します。 どなたでも、お気軽にご相談下さい。</p>  |
| <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>増 床 ■ 地域連携センター がん相談支援室</p>  | <p>鳥取県立中央病院がん相談支援センター</p> <h3>がん相談支援室のご案内</h3> <p>増 床 ■ 地域連携センター がん相談支援室</p> |

A 相談支援センターの広報

地元ケーブルTV
医療番組出演
(30分)

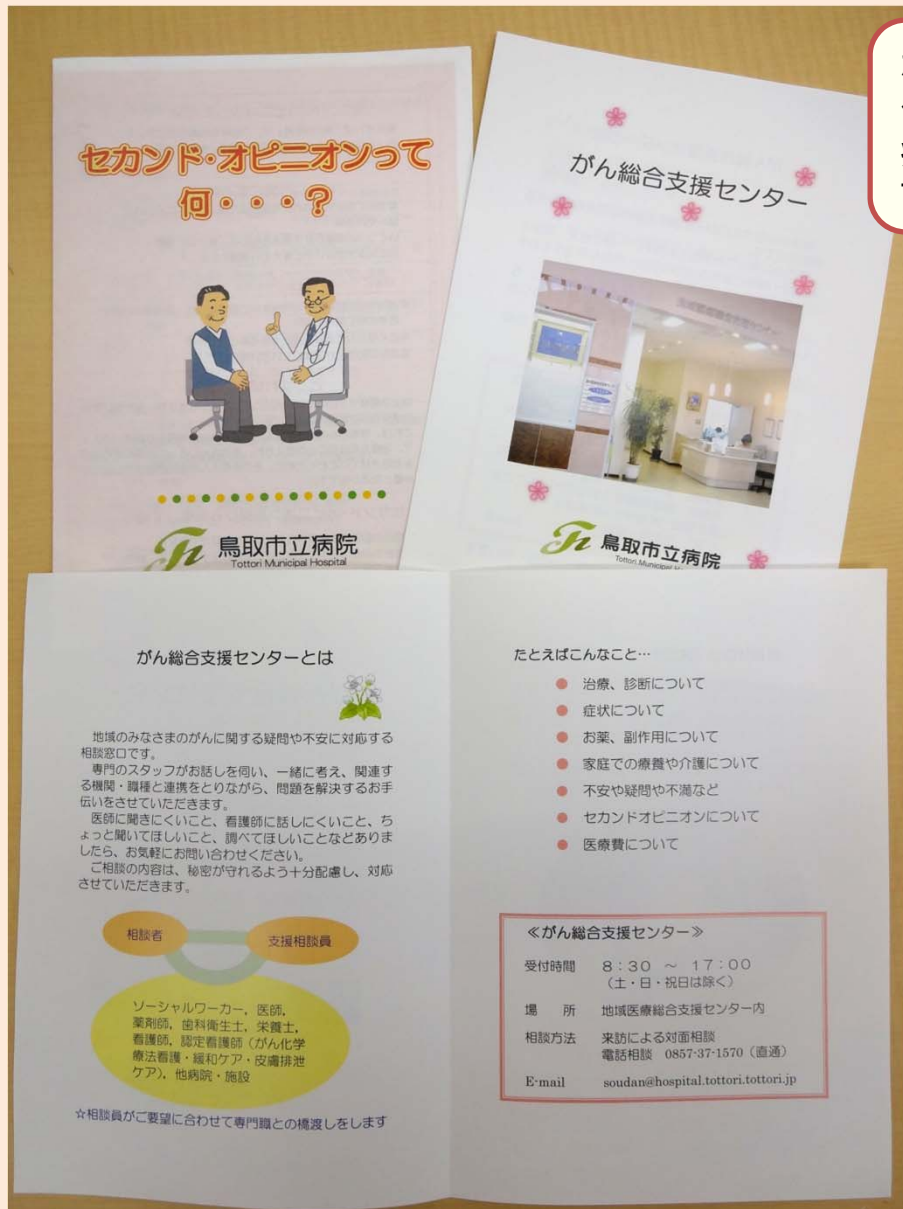
テーマ：「がんとの向き合い方」

A 相談支援センターの広報(ホームページ)

The screenshot shows the homepage of the Tottori Municipal Hospital. At the top, there is a navigation bar with links for 'Hospital guidance', 'Traffic access', 'Site map', and the phone number '0857-37-1522'. Below this is a main menu with several categories: 'Consultation', 'Meeting', 'Department guidance', 'Medical personnel', 'To top page', 'Recruitment Information', 'Doctor scholarship', 'Clinical training (early)', 'Clinical training (latter)', 'Cancer medical', and 'Medical examination'. The 'Cancer medical' link is circled in blue. The main content area features a banner for the 'Cancer Support Center' with a photo of the hospital building. Below the banner are links for 'Cancer medical TOP', 'Cancer Support Center', 'Cancer treatment achievements', and 'Cancer related information'. A sub-section titled 'Cancer Support Center' includes a photo of the center's interior and a text block describing its services. The text states that the center is a consultation window for questions and anxiety regarding cancer in the local area, where staff provide support and information. It also mentions that the center is open to doctors, nurses, and patients, and that they are happy to provide information and support.

ホームページトップから
“地域がん診療連携拠点病院”
クリックで
“がん総合支援センター”の
ページが開けます

A 相談支援センターの広報(パンフレット、掲示物)



がん総合支援センターのパンフレットは化学療法、放射線療法、緩和治療対象病棟の入院患者さんには必ずお渡しします。



受付に掲示しています

A 相談支援センターの広報

すずかけサロンのご案内

がんについての不安やつらさ、一人で抱えず話してみませんか？
同じ体験者どうし、語り合い、思いを共有することで不安な気持ちはちょっと軽くなり、こころの安らぎ、学び、病気や自分と向き合う元気が得られるように思います。

日にち：毎月第1、3火曜日（祝日はお休み）
時間：14:00～16:00
場所：地域医療連携棟 すずかけサロン
申込方法：直接、サロンまでお越しください。事前に相談員がご案内することも可能です。がん相談支援室までご連絡ください。

【サロンって何をやるの？】

Q. **どんな人が参加するの？**
入院中、外来通院中のがん患者さんやご家族・お知り合いの方が対象です。他院通院中の方も歓迎します。

Q. **どんな話題が出るの？**
日常生活のこと、病気のこと等さまざまな話題がです。

Q. **自分のことを話さないといけない？**
話にくい場合は、無理に話さなくても大丈夫です。話を聴くだけでもよいのでリラックスしてお越しください。

がん相談支援室 (地域連携センター) すずかけサロン

北支関手前の入口から入って、階段で2階へ上がれます

エレベーターで2階へ

中央診療棟 2階

がん相談支援室のご案内

がんに関する不安、悩みなど
お気軽にご相談ください。

がん相談支援室

| | |
|-----|-----------------------|
| 開室 | 月～金（祝日を除く） |
| 時間 | 8:30～16:00 |
| 料金 | 無料 |
| 相談員 | 看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど |
| 連絡先 | 0858-22-8181 (代表) |

患者さん、ご家族、どなたでもご利用になれます。

鳥取県立厚生病院
がん相談支援室
地域連携センター

がん相談支援室の紹介パンフレットの表三つ折りにして配布しています。

A 相談支援センターの広報

〇〇がんと、先生に言われたけど、どういう病気でしょうか？

治療中です。副作用がつかなくて、何とかしたいけど、どうしたらいいでしょうか？

痛みがひどくて、生活に支障がです。どうにかありませんか？

担当医以外の先生にも病気についての意見が聞きたい！

がんと言われて、頭が真っ白です。不安で、いてもたってもいられません…

気分が落ち込んで、何も手につかなくて…

他の方はどんなふうに病気と付き合っている…

退院が決まったけれど、家に帰ってからの生活が心配です

医療費や生活費のことで困っているのですが

補正用品相談会のご案内
乳癌の手術をされた方、治療による脱毛にお悩みの方のための相談会をご案内します。シリコン製人工乳房などの補正用品や補整下着、ウィッグやホームキャップ等、女性相談員がご相談をお受けいたします。
*要予約。事前にご相談支援室までご連絡ください。

パンフレット・図書コーナー
がん相談支援室前のスペースに、がんに関するパンフレット、情報冊子を設置したコーナーがあります。ご自由にお持ち帰りいただけますので、お気軽にお立ち寄りください。
また、本館5階の図書室では、病気、ケア・介護に関する本や体験記をそろえております。通院・入院中の方、付き添いの方ご利用できます。

各種がんのパンフレットなどを用いて、看護師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなどが相談をうけます。
セカンドオピニオンに関する方法や手順などについてもご相談に応じます。

ご相談の内容によってはすぐに回答できないこともありますのでご了承ください。プライバシーの守られる個室を用意しています。相談に関する情報は厳守しますので安心してご相談ください。

がん相談支援室の案内パンフレットの裏です。院内受付付近・各病棟・外来・地域の病院・診療所に配布。また、同じものをホスピジンに載せています。

4.鳥取県立厚生病院

A 相談支援センターの広報

ホームページを3つのスライドに分割しています

The screenshot shows a web browser displaying the homepage of the cancer consultation support center. The page is titled "がん相談支援室" (Cancer Consultation Support Room). It features a navigation menu with options for "English", "簡体中文", "繁体中文", "한국어", and "русский". The main content area includes a "もどる" (Return) button and a text block explaining the center's services. To the right, there is a photograph of the center's interior, showing a "がん情報冊子コーナー" (Cancer Information Pamphlet Corner) and a "相談室" (Consultation Room). Below the text, there is a section titled "がん相談支援室の業務" (Business of the Cancer Consultation Support Room) with a list of five services.

がん相談支援室

もどる |

「がん相談支援室」では、院内・院外の患者様およびそのご家族の皆様のがんに関する相談に応じています。研修を受けた専任の相談員が、病気にに関する不安や悩みなどの相談をお受けいたします。予約は必要ありません。気軽においでください。また、がんに関する情報・冊子を取り揃えております。ご自由にご活用ください。

がん情報冊子コーナー 相談室

がん相談支援室の業務

1. 各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報の提供
2. 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の収集、紹介
3. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
4. 患者様の療養上の相談
5. アプローチによる時がん及び皮膚腫に関する医療相談

A 相談支援センターの広報

ホームページの2枚目

がん相談支援室の業務

1. 各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報の提供
2. 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の収集、紹介
3. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
4. 患者様の療養上の相談
5. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
6. 各地域における、かかりつけ医等を対象とした意識調査
7. HTLV-1関連疾患であるATLに関する医療相談

※ その他お困りのことがあれば、ご相談をお受けいたします。相談は無料です。

相談日時・連絡先

| | |
|-------|---------------------|
| 相談日 | 月曜日～金曜日（祝日を除く） |
| 受付時間 | 9時～16時 |
| 相談方法 | 面接、電話、メールなど |
| 問い合わせ | 電話 0858-22-8181（代表） |
| ファックス | 0858-22-8210 |

A 相談支援センターの広報

ホームページの3枚目

外国語 [English](#) [簡体中文](#) [繁体中文](#) [한국어](#) [русский](#) 背景色変更 [標準](#) [黒](#) [青](#) 文字サイズ変更 [大きくする](#)

E-mail chiiren-k@pref.tottori.jp

がん患者サロン「すずかけサロン」

がん患者さんおよびご家族の皆様方が交流できる場として患者サロンを開設しています。
[がん患者サロン「すずかけサロン」](#)

がんに関する書籍等の案内

がん相談支援室では、皆様がたのお役に立てるよう各種がん情報の冊子（国立がん研究センター編集）を置いています。来院の際には、ご自由におとり下さい。また、随時がん関連のイベント情報を掲示しています。

また、図書室の闘病記コーナーにはがんに関する書籍が約400タイトルあります。

外来患者さん、入院患者さん、付き添いの方、すべてのかたにご利用いただけます。

どうぞ気軽にお立ち寄りください。

[図書室のご案内](#)



A：相談支援センターの広報（リーフレット）

がん相談支援センターは、あなたと家族を支えます。

こんなときにはご相談ください



● **がんのことをもっと知りたいとき**

「がんと言われたけど説明がよく分からなかった…」

「がんの一般的な情報を知りたい」

● **治療について知りたいとき**

「自分で納得して治療をするためにセカンドオピニオンを受けたい」

「治療の一般的な情報を知りたい」

● **在宅ケアを受けたいとき**

「退院後の生活が不安で…」

● **医療費のことを知りたいとき・経済面で悩んでいるとき**

「抗がん剤にお金がかかって…」

● **緩和ケアについて知りたいとき**

がん相談員が
相談に応じます

相談内容に応じて、専門医や
看護師、薬剤師、栄養士等と
連携を図ります。

相談は無料です。

医療機関は問いません。

プライバシーは守ります。

図書室
「ふらっと」

病状や治療法の知識が得られる一般向け医学書や啓発記のほか、小冊子・絵本などの一般図書もあります。インターネット検索用のパソコンもあります。
ご自分やご家族の病状について、もっと知りたい方、読書を楽しみたい方も、お気軽にご利用ください。

小冊子コーナーにおき、患者さんが自由に手にすることができます。
腫瘍センター入院時に、患者さん全員に手渡している。

がんを知り、
がんと向き合うために



島根大学医学部附属病院
がん相談支援センター
ご案内

がん相談
支援センター
とは？

全国のがん診療連携拠点病院に
あります。
がんのこと、治療のこと、
今後の療養生活のことなど、
がんに関わる疑問や相談に
お答えします。

利用の方法

面接・電話 どちらでもお受けします。
TEL (0853) 20-2518
受付時間：平日 9:30-17:00

院内位置図（1階）



島根大学医学部附属病院
〒693-8501 島根県出雲市島根町 89-1
TEL (0853) 20-2111 (内線)

A：相談支援センターの広報



「がん相談支援センター」
「患者や家族の気持ちと暮らしを支える」をモットーに活動する島根大学医学部附属病院の相談員

がん相談支援センターがある6つの病院

| | |
|---------------------------|--------------------|
| 松江市立病院 ☎0852-60-8083 | 平日(月～金) 9:30～17:00 |
| 松江赤十字病院 ☎0852-32-6901 | 平日(月～金) 8:20～16:30 |
| 島根県立中央病院 ☎0853-30-6500 | 平日(月～金) 9:00～16:00 |
| 島根大学医学部附属病院 ☎0853-20-2518 | 平日(月～金) 9:30～17:00 |
| 浜田医療センター ☎0855-28-7096 | 平日(月～金) 9:00～17:00 |
| 益田赤十字病院 ☎0856-22-1480 | 平日(月～金) 8:20～17:00 |

「がんに関するよろず相談所」「がん相談支援センター」

自分自身や家族ががんにかかること、病気の症状や治療方法などさまざまな心配が生じます。こうしたがんにつながる多様な悩みや疑問に答える「がん相談支援センター」が、県内6つの病院に設置されています。がん相談支援センターは平成18年6月のがん対策基本法の制定を受け、設置されました。納得のいく医療を受けるには、正確な情報を誰もが入手できる体制を整える必要があるとの考えからです。県内では、がん診療連携拠点病院などに指定された6つの病院に設けられています。センターでは、治療内容から、医療費や療養生活の相談、入院中の子どもへの世話など、幅広い内容に、がん専門相談員の研修を受けたスタッフが丁寧に応じます。相談は電話または面談で受け付けます。センターがある病院にかかっても、いなくてもよく、居住地も関係ありません。県内のがん相談支援センターの中心機関である、島根大学医学部附属病院(出雲市)の相談員、太田桂子さんは「患者や家族の「気持ち」と「暮らし」を支えることをモットーに、訪れる方の本音の声を傾けていきたいです」と抱負を語っています。

島根県発行「フォトしまね」

知っておくだけで、がん相談の窓口

がん相談支援センター

「がんなんて他人事」「がんなんて縁起でもない」と思ってしまうせんか？がんは我が国の死亡原因の第1位で、今や国民の2人に1人が「がん」になる時代です。そこで、がんの相談窓口について、紹介します。

～がん相談支援センターとは？～

がん診療連携拠点病院に設置されているがんの相談窓口です。相談支援センターは、「医療相談室」「地域医療連携室」などの名称で呼ばれていることもあります。市内では、がん診療連携拠点病院だけでなく、県が指定したがん情報提供促進病院の相談員も対応しています。自分自身やご家族等の、がんにつながる悩みや疑問にがん専門相談の研修を受けた社会福祉士や看護師等と一緒に考え、対応しています。

- ★相談は無料です
- ★医療機関は問いません
- ★プライバシーは守ります

○がん診療連携拠点病院とは？
全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるように、全国397か所の病院が指定されています(平成24年4月1日現在)。専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援および情報提供などを行っています。

○がん情報提供促進病院とは？
県におけるがん対策の向上と、がん医療水準の向上を図るために県が指定しています。

こんな時にはご相談ください

| | | | |
|--|-------------------------------------|---|---|
| がんのことをもっと知りたいとき 説明の意味がわからなかった 納得して治療を受けたい | 家族ががんになったとき 本人にどう伝えたらいいの？ | 家での生活が不安なとき 訪問看護って何？ 往診に来てもらえる先生は？ | 医療費のごとが知りたいとき 抗がん剤はどのくらいかかるの？ |
|--|-------------------------------------|---|---|

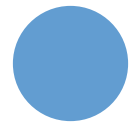
15 広報いすも 2012.8.20

出雲市発行「広報いすも」

がんに関する県民意識調査にて、「がん相談支援センターを知らない」と答えた県民が7割にのぼるという結果が出た。その結果を受け、がん相談支援センターの広報活動の一環として、県と市の広報誌への掲載となった。

松江赤十字病院 がん相談支援センター

- 相談日：月曜日～金曜日（休日を除く）
- 時間：8時20分～16時50分
- 対象：がん患者、家族、地域の方など当院の患者、
家族に限らず、どなたからのご相談にも対応。
- 場所：本館1階 医療社会事業部内
- 相談料：無料
- 電話 0852-32-6901（直通） 0852-24-2111（代表）
- FAX 0852-24-3296
- E-mail: gansoudan@matsue.jrc.or.jp



6. 松江赤十字病院

A がん相談支援センターのチラシ



+ 松江赤十字病院
MATSUE RED CROSS HOSPITAL

がん相談支援センター のご案内

患者様、ご家族様、地域の皆様の『がん』に関する相談をお受けいたします。専任のソーシャルワーカーがお話を伺い、問題解決のお手伝いをさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。

松江赤十字病院は『がん』と向き合う皆様を全力で支援いたします。

たとえば、このようなご相談をお受けします

- ♥ あなたの理解を助けます。
 - 医師に言われたことの意味がよく分からない。
- ♥ あなたの心を支えます。
 - がんと言われ頭の中が真っ白です。誰にも相談できなくて不安でいっぱい。
- ♥ あなたの生活を支援します。
 - 医療費はいくらかかるか心配。
 - 仕事を続けることができるの。
 - 退院後、一人になる時間が心配。
- ♥ あなたの家族も支えます。
 - 家族ががんです。どう接したらいいの。

※患者様の個人情報に該当する内容については、患者様の同意が無い場合にはお答えすることができません。



利用方法

| | |
|--------|---|
| 相談日 | 月曜日～金曜日（休診日をのぞく） |
| 時間 | 8時20分～17時 |
| 対象 | がん患者様、ご家族様、地域の方など 当院の患者様、ご家族様に限らず、どなたからのご相談でもお受けします。 |
| 場所 | がん相談支援センター（本館1階 医療社会事業部内） |
| 相談料 | 無料 |
| 電話 | 0852-32-7022（直通） 0852-24-2111（代表）内線 2904 |
| Fax | 0852-32-6955 |
| E-mail | gan-soudan@matsue.jrc.or.jp |

- ♥ 直接おいでいただくか、電話、ファックス、Eメールでご相談ください。
- ♥ 事前の申し込みは不要です。
- ♥ 予約については、事前に連絡をいただければ日程を調整させていただきます。



【本館1階】



がん相談支援センターは、がんに関するあらゆる相談に取り組んでまいります。

6. 松江赤十字病院

A ホームページ

日本赤十字社 松江赤十字病院

Japanese Red Cross Society
 ● ご意見・ご要望 ● 交通案内 ● サイトマップ ● リンク

ホーム
病院のご案内
外来のご案内
救急のご案内
救命救急センター
入院のご案内
健診・人間ドック

部門・診療科紹介
患者相談・支援
職員・ボランティア募集
医療関係者の方へ

ホーム > 患者相談・支援 > がん相談支援センター

がん相談支援センター

緩和ケア

看護相談

患者会

総合案内・受診科相談

患者さまの声

治療管理室

診療情報の開示

● がん相談支援センター

患者さま、ご家族さま、地域の皆さまの「がん」に関する相談をお受けいたします。専任のソーシャルワーカーがお話を伺い、問題解決のお手伝いさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。

たとえば、このような相談をお受けします

◆ あなたの理解を助けます◆◆◆◆

- ◆ 医師に言われたことの意味がよくわからない

◆ あなたの心を支えます◆◆◆◆

- ◆ がんと言われ頭の中が真っ白です
誰にも相談できなくて不安でいっぱい

◆ あなたの生活を支援します◆◆◆◆

- ◆ 医療費はいくらかかるか心配
- ◆ 仕事を続けることができるの？
- ◆ 退院後、一人になる時間が心配

◆ あなたの家族も支えます◆◆◆◆

- ◆ 家族ががんです。どう接したらいいの？

※患者様の個人情報に該当する内容については、患者様の同意が無い場合はお答えすることができません。

ご利用について

| | |
|--------|---|
| 相談日 | 月曜日～金曜日(休日を除く) |
| 時間 | 8時20分～16時50分 |
| 対象 | がん患者さま、ご家族さま、地域の方など 当院の患者さま、ご家族さまに限らず、どなたからのご相談でもお受けします。 |
| 場所 | がん相談支援センター(本館1階 医療社会事業部内) |
| 相談料 | 無料 |
| 電話 | 0852-32-6901(直通)(変更になりました) 0852-24-2111(代表) 内線3151(変更になりました) |
| FAX | 0852-24-3296(変更になりました) |
| E-mail | gan-soudan@matsue.jrc.or.jp |

- 直接おいでいただくか、電話、ファックス、Eメールでご相談ください。
- 事前の申し込みは不要です。
- 予約については、事前ご連絡をいただければ日程を調整させていただきます。

地域医療支援病院
 松江赤十字病院 〒690-8506 島根県松江市母衣町200 TEL:0852-24-2111 FAX:0852-31-9783 E-mail: mrc-h-ask@matsue.jrc.or.jp
 Copyright©2006 Matsue Red Cross hospital. All Rights Reserved.

医療相談係

医療相談係では、外来、各病棟に担当相談員を配置し、医療ソーシャルワーカー、保健師、看護師がきめ細やかにご相談をおうかがいしております。お気軽にご相談ください。



- 相談費用は**無料**です。
- 相談内容について**秘密は厳守**しています。
- 相談員は**病棟担当制**になっております。

6. 松江赤十字病院

A 院内・院外広報



電光掲示板による院内広報

がん相談支援センターのご案内

たとえば、このようなご相談をお受けします。

- あなたの理解を助けます。
医師に言われたことの意味がよく分からない。
- あなたの心を支えます。
がんと言われ頭の中が真っ白です。誰にも相談できなくて不安でいっぱい。
- あなたの生活を支援します。
医療費はいくらかかるか心配。
仕事を続けることができるの。
退院後、一人になる時間が心配。
- あなたの家族を支えます。
家族ががんです。どう接したらいいの。

相談日 月曜日～金曜日
(休診日をのぞく)
時間 8時20分～16時50分
がん相談支援センター
電話 0852-32-6901

ご利用の場合は、決められた場所で、ほかの患者



院外広報誌

6. 松江赤十字病院

A facebookの活用



6. 松江赤十字病院

A 島根県のHP 「しまねのがん対策」ページ

「がん対策募金」現在募金額 3億888万814円
島根県はこの募金事業活動を積極的に支援しています！

島根県がん対策推進協議会（12月17日）
当日の様子・資料を掲載しました。

県内の「がん」についての
講演会・研修会・イベントカレンダー

平成20年度 第4回
緩和ケア市民公開講座

2009年3月6日(金)
鳥根市民会館 中ホール

いのちを繋ぎあえるゆえに

しまねのがん対策

がんは、島根県における死亡原因の第1位となっており、県民の健康を守る上においてがん対策のこうしたことから、島根県では、「がん診療ネットワークの構築」「がん予防の推進」「緩和ケアの推進」した。

3. [がん拠点病院の役割は？](#)
4. [がん拠点病院の医療機能](#)

県内のがん診療連携拠点病院 相談支援センター(相談窓口)

相談支援センターとは？ …… 患者さん、ご家族、地域の方々からの、がんに関する相談をお受けする相談窓口です。

緩和ケア

- ・「医療機関における緩和ケア・ターミナルケアマニュアル(平成13年3月)」
- ・「在宅における緩和ケア・ターミナルケアマニュアル(平成14年3月)」
- ・「平成19年度 緩和ケア総合推進事業報告書」

「がん対策募金」にご協力をお願いします。

島根県は「財団法人鳥根難病研究所」が行っている「がん」の診断や治療のための医療機器整備等を目的としたこの募金事業活動を、積極的に支援しています。

リンク

島根県内の地域がん診療連携拠点病院

県内6地域がん診療連携拠点病院のトップページはこちらをクリックしてください。

- 1 [松江赤十字病院](#)
- 2 [松江市立病院](#)
- 3 [島根大学医学部付属病院](#)
- 4 [島根県立中央病院](#)
- 5 [独立行政法人国立病院機構浜田医療センター](#)
- 6 [益田赤十字病院](#)

(参考)島根県がん診療ネットワーク協議会オブザーバー病院…[国立病院機構松江病院](#)

A 新聞記事(ピンクリボン運動)

山陰中央新報に掲載
(カラコロ秋まつりで
のピンクリボン運動)

山陰中央新報に掲載
(がん啓発イベント)



A イベント時の広報



A ラジオによる広報



ラジオ放送
「松江日赤メディカルトーク」

エフエム山陰「朝ピタ」内 77.4mhz

2月26日(金) 9時ころ～ 10分間

テーマ「**大腸がん**について」

益村アナウンサーと消化器内科 串山副部長の対談

次回放送予定

3月26日「子宮頸がん」産婦人科 副部長 藤脇先生

ラジオ放送
「松江日赤メディカルトーク」

エフエム山陰「朝ピタ」内 77.4mhz

1月22日(金) 9時ころ～ 10分間

テーマ「**肝臓がん**について」

益村アナウンサーと消化器内科 内田副部長の対談

・ 次回放送予定

2月26日「大腸がん」消化器内科 串山先生



6. 松江赤十字病院



A ショッピングモール にてティッシュ配布



A: 広報(ポスター)

がん相談支援センター

がん相談支援センターのご案内

患者さんやご家族の方、地域の方々から
「がん」に関する相談をお受けいたします

▶たとえば、このようなご相談をお受けいたします

- ✦ 「がん」と言われて不安、話を聞いてもらいたい
- ✦ 退院後の生活は、どうしたらよいか
- ✦ 医療費や生活費のことが心配
- ✦ 在宅で過ごしたい、けれど色々心配……………

など「がん」に関する相談にお答えします

▶ご利用方法

- ✦ 相談日 月曜日～金曜日(休診日を除く)
- ✦ 時間 9時～16時
- ✦ 場所 1階 医療相談・情報サロン(医療相談室)
- ✦ 電話 0853-30-6500(直通)

直接お越しいただくか、電話でご相談ください

相談は無料です





島根県立中央病院
地域がん診療連携拠点病院 がん相談支援センター

なごやかサロン

開催日 ・ 第2・4 金曜日

時間 ・ 10:00～12:00

場所 ・ 2階 なごやかサロン

上記日程で、がんサロンを開催しています。どなたでもお気軽にお立ち寄りください

問合せ先
島根県立中央病院
がん相談支援センター
TEL0853-30-6500



←がんサロン

セカンドピニオン ご案内

担当医から十分な説明を受けてなお、診断・治療方法にご不安をお持ちの方
専門医の意見をお聞きになりたいようでしたら、気兼ねなくお申し出ください
納得できる治療方法をご自身で選んでいただくお手伝いをいたします

当院で治療中の方
他の医療機関の専門医の意見をお求めの場合
当院の担当医あるいは医療連携・医療相談科へお申し出ください
紹介状ならびに資料作成に若干の費用が必要です

他医療機関で治療中の方
当院の専門医の意見をお求めの方の場合
現在治療を受けている医療機関の
・紹介状
・検査データ
・レントゲン・CT・MRIフィルム等の資料
・同意書(ご家族のみの場合)
が必要です



完全予約制です
申込お問い合わせ先
医療連携・医療相談科 0853-30-6500

時間・費用
相談時間は1時間以内(内料金は報告書の作成費を含めて
15,750円(消費税込み)です
健康保険は適応されませんので全額自己負担になります

セカンド
オピニオン→

A: 広報(ホームページ)

医療連携・医療相談科

中央病院 > 診療案内 > 外来を受診される方へ > 医療相談

診療案内

病棟へのアクセス

病棟概要

病棟機能

施設紹介

業務状況

診療案内

外来を受診される方へ

検査を受けられる方へ

入院される方へ

お帰りに来られる方へ

セカンドオピニオン

専門医紹介

医師局

看護局

薬剤局

医療技術局

地域医療連携室

医療相談

次のようなことでお困りのことがありましたら、医療相談をご利用いただけます。
お気軽に看護部にご相談ください。

御相談下さい

- 心配ごとのため落ち込んで療養できない
- 病状になったため家族や職場のことが心配である
- 医療費の支払いや、生活費について不安である
- 医療保険、福祉制度、介護保険などについて詳しく知りたい
- 社会復帰について不安である
- 在宅サービスや訪問看護について詳しく知りたい
- 施設入所について詳しく知りたい
- 受診したいが、心配ごとがあり受診できない
- その他

医療相談は、次の時間帯でお受けしています。

平日: 午前9時～午後4時

医療相談は、1階の「医療相談事務室(地域連携・医療相談科)」で行っています。

直接、お越しになられても結構です。このときも、多少の時間お待ちいただくことがありますのでご了承ください。医師や看護部へ尋ねてくださっても結構です。

医療相談は費用がかかりません。
医療相談の内容は、秘密を厳守します。

お気軽にご相談ください。



がん相談支援センター

中央病院 > 地域がん診療連携拠点病院 > がん相談支援センター

診療案内

病棟へのアクセス

病棟概要

病棟機能

施設紹介

業務状況

診療案内

外来を受診される方へ

検査を受けられる方へ

入院される方へ

お帰りに来られる方へ

セカンドオピニオン

専門医紹介

医師局

看護局

薬剤局

医療技術局



がん相談支援センターのご案内

患者さんやご家族の方、地域の方々からの「がん」に関する相談をお受けいたします。

- どの診療科・どの病院を受診したらいいのかわからない。
- がんの疑いと言われたけれども不安でたまらない。
- 診断や治療についてもっと詳しく知りたい。
- 医療費はいくらくらいかかるのか知りたい。

など、「がん」に関する相談にお答えします。

利用方法

相談日 : 月曜日 ~ 金曜日(休診日を除く)
 時間 : 9時 ~ 16時
 場所 : 1階 がん相談支援センター(医療相談事務室内)
 電話 : 0853-30-6500(直通)
 0853-22-5111(代) 内線 6500

直接お越しいただくか、電話でご相談ください。
相談は無料です。

8.岡山大学病院

A広報 ポスターとロゴマーク



がん相談支援センター
あなたと共に考え、共に向き合います。

知ることが「あんしん」。

わからないこと、不安なこと、一人で悩まないでご相談ください。

がん相談支援センターは、患者さんやご家族あるいは地域の方々からのがんに関する相談をお受けする窓口です。どうぞ安心してご相談ください。

- 岡山大学病院
総合患者支援センター TEL.086-235-7744
- 岡山済生会総合病院
がん相談支援センター TEL.086-252-2211
- 岡山赤十字病院
がん相談支援センター TEL.086-222-8827
- 岡山医療センター
がん相談支援センター TEL.086-234-0911
- 倉敷中央病院
がん相談支援センター TEL.086-422-6003
- 川崎医科大学附属病院
がん専門相談センター TEL.086-467-1111
- 津山中央病院
がん診療科相談センター TEL.0868-21-6111

岡山県がん診療連携協議会 岡山大学病院理事 TEL.086-235-7072

人

ハート

桃

若葉

岡山県がん診療連携協議会

岡山県がん診療連携協議会

8.岡山大学病院 A広報 リーフレット

**がん相談
支援センター**
あなたとともに「あんしん」をつくりましょう。
そして、最良の医療とケアを。

がんが正しくわかる
そして新しい自分がある。

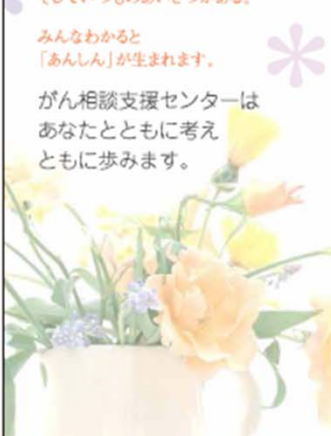
家族がわかる
そしていつもの家族がいる。

友達もわかる
そしていつもの友情がある。

地域の人もわかる
そしていつものあいさつがある。

みんなわかると
「あんしん」が生まれます。

がん相談支援センターは
あなたとともに考え
ともに歩みます。



- 全国のがんに関する情報は、下記のホームページからも検索できます。
- 国立がん研究センターがん対策情報センター
<http://gpc.ncc.go.jp/>
 - がん情報サイト
<http://cancerinf.jp/okaweb/>
 - 岡山がん研研情報
<http://www.pnc.okayama.jp/hokan/cancer/>
 - Web版がんより相談Q&A
<http://www.gccr.jp/>
- 岡山県がん相談支援協議会
事務局 岡山大学病院2区事務
TEL:086(235)7972
<http://www.okayama-ganathiryu.jp/>



と思ったら
一人で悩まないで
ご相談ください

あんしんして
「最良の医療とケア」を
受けるための情報を
あなたに提供したいのです。

相談支援センターの主なサービス

★ がんやがん治療の標準的な治療法に関する医療情報の提供

★ がんの治療に関する疑問や不安、退院後の生活などの療養上の相談

★ 治療にかかる医療費の心配や介護・福祉サービスの利用に関する相談

★ 在宅療養を支援する地域の医療機関や訪問看護ステーション等に関する情報提供および紹介

★ がんによるからだやこころなどの様々な痛みを和らげる緩和ケアに関する相談

★ セカンドオピニオンを行っている医療機関に関する情報提供

★ アスベスト(石綿)による肺がんや中皮腫に関する相談

※※ セカンドオピニオンとは
セカンドオピニオンとは、医師や治療法について、自分の担当医以外の医師の意見も聞き、参考にすることをいいます。

※※ 標準的な治療法
標準的な治療法とは、科学的に有効性が認められた治療法である治療法のことです。

岡山県下どこでもネットワーク— がん診療連携拠点病院

- 岡山大学病院
がん相談支援センター
相談時間 平日8:30-17:00
www.okayama-u.ac.jp
- 岡山県立総合医療センター
がん相談支援センター
相談時間 平日8:00-17:00
www.okayama-medical.jp
- 総合病院岡山赤十字病院
がん相談支援センター
受付時間 平日8:00-17:00
相談時間 平日8:00-17:00
www.okayama-redcross.jp/center/cancer_center/
- 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
がん相談支援センター TEL:086(284)8911(内線9078)
相談時間 平日8:00-17:00
www.nccr.or.jp/okayama/
- 財団法人 倉敷中央病院
がん相談支援センター TEL:086(422)9083
相談時間 平日8:00-15:00
www.xcnet.or.jp/
- 川崎医科大学附属病院
がん相談支援センター TEL:086(482)1111(内線2618)
相談時間 平日8:00-18:00
土曜日8:00-11:30
www.kawasaki-med.ac.jp/hospital/med/
- 岡山中央病院
がん相談支援センター TEL:0868-214111(内線2000)
相談時間 平日8:00-17:00
土曜日8:00-13:00
www.tct.or.jp/tctv/index.html

※※ がん診療連携拠点病院とは
全国に300以上あり、70%以上のがん診療が受けられるように、厚生労働省が認定した病院です。がんの手術治療、放射線治療、化学療法が得意な医療機関で、複数の診療科が連携して診療を行なうこと、がん診療連携拠点病院であること、緩和医療が提供できること、地域の病院や診療科と連携が確保されていることが条件です。

患者さんやご家族あるいは地域の方々からの、がんに関する相談をお受けする相談窓口です。
がんのことや治療について知りたい、医療費がどのくらいかかるのか知りたい、がんの疑いと言われたけれども不安でたまらない、今後の療養や生活のことが心配など、がんに関する質問や相談におこたえします。ご相談は無料です。
診断や治療の判断をすることはできませんが、必要な方にはセカンドオピニオンの窓口を紹介させていただくこともできます。ご相談いただいた個人的な内容が外に漏れてしまうことはありませんので、どうぞ安心しておたずねください。



がん在宅療養パンフレット

8.岡山大学病院 A広報 ホームページ

総合患者支援センター
ホームページ

岡山大学病院
総合患者支援センター
Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital

ISCPs

トップページへ戻る E-mailでのお問い合わせ

Main Contents

- センターの概要と業務
- センターの施設
- がん相談支援センター
- 病院からのお知らせ
- ボランティアの広場
- センターニュース
- ご意見箱
- 今後の行事一覧
- 過去の行事一覧
- センター職員紹介
- 医療・介護・福祉ミニ知識集
- よくあるご質問
- リンク
- センターへの連絡先

当センターはがん相談支援センターの窓口になっています

がん診療連携拠点病院について

がん診療連携拠点病院については、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、がん医療の高度化を戦略目標とする「第3次がん10か年総合戦略」に基づき、厚生労働省がその整備を進めてきたものです。

拠点病院は、都道府県がん診療連携拠点病院と地域がん診療連携拠点病院とがあり、岡山県においては、前者が岡山大学病院、後者としては次の6つの医療機関があります。

- 岡山厚生会総合病院
- 総合病院岡山赤十字病院
- 財団法人倉敷中央病院
- 財団法人岡山県立岡山中央病院
- 国立病院機構岡山医療センター
- 川崎医科大学附属病院

●岡山県がん診療連携協議会
>>ホームページはこちら

●全国がん診療連携拠点病院一覧(厚労省)
>>がん診療連携拠点病院指定一覧表(厚生労働省のホームページ)

がん相談支援センターについて

都道府県、および地域がん診療連携拠点病院では、がんについての様々な相談にお答えできるように、「相談支援センター」を設置しています。

診断や治療に関すること、医療費に関すること、がんの発症に伴って生じた様々な心理的問題など、お気軽にご相談下さい。

相談窓口 各種相談についてはここをご覧ください

- 総合患者支援センターでの相談 [詳しくはこちら](#)
- 各診療科等での相談 [詳しくはこちら](#)
- 支援センター関連の専門相談 [詳しくはこちら](#)

口腔衛生ケア相談、摂食・嚥下相談、歯科・口腔衛生セミナー、
妊産婦への口腔衛生セミナー、母乳育児相談、
痛みの相談室(ペインクリニック)、病気の子どもの子育て相談室

ISCPs

岡山県がん診療連携協議会
ホームページ
<http://www.okayama-ganshinryo.jp/>

岡山県がん診療連携協議会

文字サイズの変更 中 大 検索

トップページ がん医療に関するリンク集 お問い合わせ

岡山県がん診療連携協議会について 作業部会 岡山県のがん対策 がん相談支援センター 岡山県のがん相談 センター オペレーション実施医療機関 地域連携バス 岡山県の患者会・家族会・がんサロン情報 セミナー・講習会情報

がんを知り、
がんと向き合い、
がんに負けることのない
社会の実現のために

東日本大震災に被災された方々に心からお見舞い申し上げます。●岡山県内のがん診療連携拠点病院の状況と受入体制(岡山県分は17ページです)

News & Topics ~ 新着情報ならびにセミナーのご案内

- 2011年 7月9日 【医療従事者の方へ】『第7回 緩和医療に関する集中セミナーin香川』を開催。
- 2011年 6月25日 【医療従事者の方へ】『若手医師のためのオンコロジーセミナー』を開催。
- 2011年 6月11日 【医療従事者の方へ】『川崎医科大学附属岡山がんセンター第9回 Cancer Seminar』を開催。
- 2011年 6月4日 【医療従事者の方へ】『第3回 倉敷中央病院 緩和ケア研修会』を開催。

更新履歴

- 2011年 5月17日
セミナー・講習会情報を更新しました。
- 2011年 5月16日
岡山県内のがん診療連携拠点病院
●岡山県がん診療連携拠点病院
●岡山大学病院
●地域がん診療連携拠点病院

8.岡山大学病院 A広報

院内でのパネル展示



市民公開講座の開催



9.津山中央病院

A.相談支援センターの広報

がん相談支援センターのご案内

がんについていろいろな相談ができる「**相談支援センター**」は全国の「**がん診療連携拠点病院**」にあります。がん診療連携拠点病院は、全国どこにお住まいでも質の高いがんの医療がうけられるように、厚生労働大臣が指定した施設です。指定された施設は、がん医療の内容や設備、がん関連の情報提供などについて、一定の基準を満たしています。

津山中央病院は、H17年1月17日付けで厚生労働大臣より「**地域がん診療連携拠点病院**」に指定されました。また、H19年1月より相談支援センターを開設し、患者さんやご家族からのがんに関するさまざまな相談を無料でお受けしています。



例えば・・・

こんな悩みを抱えていませんか？

がんのことや治療について知りたい

医療費がどのくらいかかるのか知りたい

がんの疑いといわれたけれども不安でたまらない

今後の療養や生活のことが心配

家族としてどのようにすればよいかわからない



津山中央病院 【がん相談支援センター】

受付時間：病院営業日9：00～16：00

電話番号：(0868) 21-8111

利用対象者の制限：特になし

予約の要否：不要

利用料金：無料

悩んでいたら
まずご相談ください



病院の日・看護の日のイベントなどでもコーナーを設け、広報しています

9.津山中央病院

A.相談支援センターの広報

| | |
|-----|-----------------------|
| 名称 | がん診療相談支援センター |
| 電話 | 0868-21-8111 (内線3836) |
| FAX | 0868-21-8200 |
| 担当 | 社会福祉士 山本 |

利用内容

| | |
|-------------|---------------------------------|
| 受付時間 | 病院営業日 9時～16時 (第1・3土曜 9時～12時) |
| 利用対象者の制限 | 特になし |
| 利用料金 | 無料 |
| 予約の要否 | 不要 |

| | |
|--------------------|-----|
| 相談時間 | 30分 |
| 緩和ケアチーム | ○ |
| セカンドオピニオン外来 | ○ |
| 専門医による放射線 治療(※) | ○ |

当院ホームページ
がん診療相談支援センターの
ページより抜粋

9.津山中央病院

A.相談支援センターの広報

津山中央病院がん相談支援センター

「がんサロン和み」のご案内


開催日:平成25年4月6日(土)
場所:健康管理センター3階 会議室B
対象:当院でがんの治療を受けている患者様とご家族
※がん種を問わず、どなたでもご参加いただけます※

～当日のスケジュール～

10:00 開始
10:05 ミニレクチャー
「胃がんの内視鏡治療について」
(内科部長 竹中龍太医師)
10:40 茶話会
11:30 終了

参加ご希望の方は、総合受付または
医療情報プラザに申込書をお出ください。
当日参加も大歓迎です。お気軽にお越し
ください。皆様のご参加をお待ちしています。

お問い合わせ先
津山中央病院がん相談支援センター
(担当 MSW山本) 0868-21-8111(代)



がんサロン和みのご案内
2ヶ月に1回、偶数月の
第1土曜日に開催しています
ミニレクチャーの後、茶話会
を行っています

A: 相談支援センターの広報

パンフレット
A4サイズで印刷しています

電光掲示板(院内)
外来待合室などで随時掲載されています

総合病院岡山赤十字病院
がん相談支援センターのご案内

こんな悩みを抱えていませんか？

がんかも…？でもこわくて病院にいけない
「がんかもしれない」と思う症状があるけれどこわくて病院に行けない。

他の治療法も知りたい
担当医に言われた治療法以外にどんな治療法があるのか聞いてみたい。

よくわからない
医師に言われたことの意味がよくわからない。

詳しく知りたい
自分のがんについて詳しく知りたい。

家族として
家族としてどのように対応すればよいかわからない。

などなど…



悩んでいたら、まずご相談ください

がん相談支援センターは…

- あなたの理解を助けます
- あなたとご一緒に探します
- あなたに合った情報を提供します
- あなたの心を支えます
- あなたの生活を支援します
- あなたの家族も支えます

相談は無料です

受付時間 : 平日9~12時(来所・電話による申し込み)
相談時間 : 平日9~12時および13~16時
場所 : 1階 がん相談支援センター
直通電話: 086-222-8827

がん相談支援センターのご案内

サロンを開催します。患者さま・ご家族の方向士で不安や悩みなど話してみませんか。

日時 毎月第1木曜日・第3木曜日
15:00~16:00

場所 センター棟4階 健康管理センターホール
※詳細は、がん相談支援センターまでお尋ねください。

がん相談支援センターのご案内

場所
本館1階
エレベータホール前



がん相談支援センターのご案内

相談時間 平日 9:00~12:00
13:00~16:00

相談は、センター内の面談室で行います。
※原則電話での相談は、お受けしていません。

費用 センターでの相談は、無料となっております。


がん相談支援センターのご案内

受付時間 平日 9:00~12:00

予約方法
① 来院による申し込み
本館1階、がん相談支援センターにて受付いたします。
② 電話による申し込み
直通電話 ☎ 086-222-8827へお電話ください。

がん相談支援センターのご案内

がんに関する冊子や資料を置いてありますので、ご利用ください。



がん相談支援センターのご案内

このようなご相談を受け付けております。

- 病気についてもっと知りたい。
- 治療の副作用で食欲がない。
- 治療費はどのくらいかかるのか心配。

がん相談支援センターのご案内


このようなご相談を受け付けております。

- 再発の不安があります。この気持ちを誰かに聞いて欲しい。
- 家族としてどんな対応をしたらいいのかわからない。

お気軽にお立ち寄りください。

がん相談支援センターのご案内

より専門的な支援・回答が必要と思われる場合には、医師や薬剤師、認定看護師などの専門家へ、回答を依頼いたします。



がん相談支援センターのご案内

当院では、患者さまおよびご家族からのがんに関する不安や悩みの相談窓口として、「がん相談支援センター」を設置し、専門の相談員が対応しています。

A: 相談支援センターの広報

ウエイ

HOME > 各種相談窓口のご案内 > がん相談支援センター

がん相談支援センター

相談のご案内

- 総合相談・地域医療連携室
- がん相談支援センター
- セカンドオピニオン外来

こんな悩みを抱えていませんか？



- **がんかも…でも、怖くて病院に行けない**
「がんかもしれない」と思う症状があるけれど、怖くて病院に行けない。
- **ほかの治療法も知りたい**
担当医に言われた治療以外にどんな治療法があるのか聞いてみたい。
- **よくわからない**
医師に言われたことの意味がよくわからない。
- **詳しく知りたい**
自分のがんについて詳しく知りたい
- **家族として**
家族としてどのように対応すればよいかわからない。

などなどー

悩んでいたら、まずご相談ください！

がん支援センターは

- あなたの理解を助けます
- あなたとご一緒に探します
- あなたに合った情報を提供します
- あなたの心を支えます
- あなたの生活を支援します
- あなたの家族も支えます

受付のご案内



| | |
|------|---------------------|
| 受付時間 | 平日9～12時 |
| 相談時間 | 平日9～12時 および 12時～18時 |
| 場所 | 1階 がん相談支援センター内 |
| 電話 | 086-222-892(直通) |

完全予約制で相談に応じます。相談は無料です。
※原則電話相談はお受けしておりません。

センターでご相談された内容を、本人の了承なしに、患者さんの担当医や他のスタッフにお伝えすることはありません。どうぞ安心してご相談ください。

がんサロンを開催しています

患者さん・ご家族の方同士で、治療への不安や現在抱えている悩み事など、話してみませんか。

| | |
|----|---------------------------|
| 日時 | 毎月 第1木曜日・第3月曜日 18時～18時30分 |
| 場所 | センター4階 健康管理センター ホール |
| 対象 | がんの患者さんやご家族の方 |

気分転換や癒しの場にしていきたいと考えています。事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。
※日程は変更になる可能性があります。詳細は、がん相談支援センターまで(本館 1階エレベーター控)お問い合わせください。

がん相談支援センターQ&A

[がん相談支援センターQ&A](#)

センター通信を発行しています

- No.14 治療中に自分で出来る感覚運動について
- No.13 「がんサロン」って?
- No.12 「こもれび」のかたが、タオル帽子を作られています
- No.11 患者必携 がんになったら平に取るガイド
- No.10 リラックスの方法について
- No.9 医療費控除について
- No.8 がんと上手に付き合う方法
- No.7 正しいがん情報の集め方
- No.6 家族ががんになったとき
- No.5 治療と副作用 口内炎について
- No.4 治療と副作用 食事について
- No.3 治療と副作用 脱毛について
- No.2 医療費について
- No.1 がん相談支援センターに置いている冊子

※詳しい内容についてはご相談ください

A: 相談支援センターの広報

開設時に院内広報(医療者向け)へ掲載
(事前に医療者へ説明会を行う)



がん相談支援センターについて
医療社会事業課 竹嶋英里

がん診療においては適切な医療の提供はもちろんのこと、患者さんが安心して治療に専念できるように、患者さんや家族が抱える心理的・社会的・経済的問題にも目を向けた支援を併せて行うことが必要です。

すばつとらんど 第38回

要です。そのため、地域がん診療連携拠点病院には診療機能や研修体制等の他に相談支援機能を有する部門である「がん相談支援センター」の設置が義務付けられています。

がん相談支援センターは公的機関であり、院内外を問わずにに係る総合相談窓口として機能することが求められています。当院では、従来院内のがん患者の相談窓口を医療社会事業課のソーシャルワーカーが行ってきましたが、疾病構造の変化や医学の進歩、少子高齢化によりソーシャルワーカーが対象者は増加し、併せて患者が抱える生活問題は複雑化しており、現在の人員では新たに院外の患者の相談に対応することが困難な状況です(平成十八年度医療社会事業課の相談件数は一〇、〇〇〇件を超えています)。そこで当院では、がん患者の相談支援を独立させ、新たに専任の相談員を



例年になく雪の日、寒さの厳しい日が多かった冬が過ぎ、新型インフルエンザの流行もなく、桜の季節、春を迎えようとしております。皆様お元氣でしょうか。

春は、病院にとっても働く職員の出入りと共に新しい診療科、新しい部門などの出発となる季節です。当院では平成18年8月に「看護相談室」が開設され、昨年4月に「形成外科」、「緩和ケア科」、昨年9月には「がん相談支援センター」がスタート致しました。昔、病院には内科、外科、小児科、産婦人科などの診療科目があり、診断と治療を行えば事足りていた時代もありました。その後の社会の発展、医療の進歩により、現在では予防医学から救急医療、がん診療まで、また、さまざまな専門分化した診療科目の診療が病院に要求される時代となっております。更には、病院は病気を診断して治療を行えば役目が終わるのではなく、健康に関するさまざまな情報をお伝えし、

病気をめぐって生じるさまざまな問題(精神的、社会的、経済的など)にもしっかりと相談に対応し、できるかぎりの支援をして行くことが求められております。「形成外科」や「緩和ケア科」は新しく発展した診療科の代表であり、「看護相談室」や「がん相談支援センター」は患者さま、そのご家族の方々に多面的に支援することを目指して作られた部門です。

近年のこの病院の新しい動きとしてできたこれらの診療科や部門を順次皆様にご紹介するとともに、有効に活用していただくために今回の「ふれあい新聞」は、「病院の新しい動き」を特集致しました。この特集をご覧いただき、岡山赤十字病院のもっている役割を十分にご理解くだされば幸いです。さらに、皆様の健康づくりと病気の克服のために、当院をより一層活用していただくことを願って止みません。

(広報委員会 渡辺洋一)

センターの人員配置ですが、責任者が呼吸器内科部長の渡辺洋一先生が兼務され、相談員は看護師の竹嶋英里さん(常勤)とソーシャルワーカーの伏見美紀さん(週四日午前勤務)の二名体制となっております。平日の九時から十二時までが受付時間であり、相談は原則完全予約制(面接相談が原則)で九時から十二時、十三時から十六時となっております。マスコム報道により、九月三日の開設初日より



県内外より相談が殺到しており、連日十件以上の満員御礼となっております。相談者の九割以上が院外の医療機関に受診中の患者さんまたはその家族であり、現在受けている治療法に関する相談や治療法の選択方法に関する相談が大部分を占め、その他心理的な相談、経済面の相談も寄せられています。治療法に関する相談は相談員では回答が困難であり、内容に応じて院内の各専門領域の方々に二次相談をお願いしています。今後も職員の皆様のご協力が必要となると考えられますので、相談員から二次相談の依頼があった場合にはご協力の程宜しくお願いいたします。

「がん相談支援センター」

相談員 伏見美紀 竹嶋英里

当院は平成15年12月に地域がん拠点病院に指定され、平成19年9月3日に独立した相談窓口として「がん相談支援センター」を開設いたしました。

がんについて、なにかお悩みのことはございませんか?不安な症状があり、何科を受診すればいいのかわからない、がんのことやがんの治療について知りたい、今後の療養や生活のことが心配、など...がん相談支援センターではがんの医療にかかわる質問や相談をお受けしております。また、患者様やご家族のほか、地域の方々などでもご利用いただけますので、お気軽にご利用ください。

- 相談の申し込み方法
- 【予約受付時間】平日9時～12時
- (1)来所による申し込み
 - 本館1階 がん相談支援センターにて
- (2)電話による申し込み
 - 直通電話:086-222-8827
- 【相談時間】平日9～12時及び13～16時
- 完全予約制で相談に応じます。
- *原則電話相談はお受けしておりません。
- *センターでの相談は無料となっております。
- *専任の職員が、がんに関する不安や悩みを承り、安心して医療が受けられるように支援を行っております。
- また、より専門的な支援や回答が必要と思われる場合には、最も適切と思われる医師や薬剤師、認定看護師などの専門家は支援や相談を依頼しております。



開設時に院内広報(一般向け)へ掲載
(市民公開講座にて説明会を開催)

10.岡山赤十字病院

A: 相談支援センターの広報

山陽新聞の地方欄へ掲載

山陽新聞に掲載
2007年9月4日
(相談支援センターに
専従職員配置)



11. 広島大学病院

A：相談支援センターの広報（パンフレット、ちらし、ホームページなど）

たとえば、こんな相談をお受けします

- がん(病気)についてわしく知りたい。
- 医療者からの説明が難しくよくわからない。
- あなたのお気持ちを支えます
- あなたへの理解を助けます
- 家族も支えます
- 治療や手術にかかる費用が心配。
- 仕事を続けられるのか心配。
- 退院後一人になるのが心配。
- 家族も不安でどうしたらいいかわからない。

がん医療相談室
ご案内

アクセス概要

- JR広島駅前から
- JR福川駅前から
- JR西広島駅前から
- 広島バスセンターから
- 広島港から

がん医療相談室・情報コーナー

がん医療相談室

広島大学病院
都道府県がん診療連携拠点病院

がん医療相談室
〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号
広島大学病院外来棟1階 患者支援センター内
電話 082-257-1525
FAX 082-257-5489

がん相談室リーフレット表面

がん医療相談

がん医療相談室は、がんに関する相談を受ける窓口です。

診断や治療について判断するところではありませんが、情報を提供し、一緒に考え、不安を解消するためのお手伝いをします。

ご相談いただいた内容については秘密を厳守いたします。

安心してがん医療相談室にお越しください。

ご利用方法

- 相談日** 月～金曜日(外来休診日も除く)
- 時間** 9:00～17:00
- 対象** 患者さんやご家族、地域の方々どなたでも利用できます
- 場所** がん医療相談室(患者支援センター内)
- 相談方法** 電話相談 Tel. 082-257-1525
来室による相談
- 相談料** 無料

- 薬剤師による「がんおくり相談」**
- 開催日** 第2・4木曜日 15:00～16:30
※1人30分
 - 申し込み先** Tel. 082-257-1525(予約優先)

- 情報コーナー**
- 利用時間** 9:00～16:00
 - 場所** 裏面地図参照
- がんに関する一般的な情報や専門書籍などがあります。

参加してみませんか サロン おしゃべり会

サロン・おしゃべり会は同じ思いを持つ患者さんやご家族の方が、一人で悩まなくてもよいように、患者さん同士語り合ったり、がんに関する正しい情報を得ることが出来る場です。

- サロン**
- 開催日** 第3木曜日 13:30～14:30
 - 場所** 外来棟3階「中会議室」
- 事前の申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

- おしゃべり会**
- 開催日** 第4火曜日 13:30～14:30
 - 場所** 入院棟5階「相談室」
- 事前の申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

都合により開催日が変更になることがあります。

がん相談室リーフレット裏面

11. 広島大学病院

A：相談支援センターの広報（がん医療相談室だより）

がん医療相談室だより No.1 平成24年5月号

今月のおすすめ

ひろしまウィッグマップ〜抗がん剤治療による脱毛に関する情報冊子〜
2012年1月発行
発行：まちなかりボンサロン
作成：ウィッグマッププロジェクト
無料：ご希望のかたはがん医療相談室へ

ウィッグ選びのポイントやお手入れ方法、脱毛中の日常生活の工夫点、先輩利用者からのアドバイスやウィッグ種類などが紹介されています。

患者サロンのご案内(毎月 第3木曜日に開催)

●前回サロン(4月11日)の内容をご紹介します●
乳がんの化学療法テーマで、広島大学病院乳癌外科 恵美純子医師のお話でした。化学療法が必要な場合、また術前・術後の化学療法の選択と治療法の決定、化学療法の種類と種類、化学療法の副作用と対策についてなど、化学療法を乗り切るためのメッセージがたくさん盛り込まれていました。
参加者は20名(男性1名)。アンケートでは、わかりやすく参考になったという感想を多くいただきました。今後もっと聞いてみたい内容としては、ホルモン療法、乳がんの再発や転移の治療についてなどという内容も複数ありました。

●次回サロンのご案内●
平成24年6月21日(木) 13:30~14:30
外来棟2階会議室
「社会保険と高額医療制度について」
〜高額医療制度の仕組みや具体的な利用方法についてのお話〜

がん医療相談室
電話先 082-257-1525
相談日 月～金曜日(休診日除く)
時間 9:00~17:00

もっとうまく知りになりたい方は、気軽に患者支援センターへご相談ください。場所は、右図地図をご参照ください。

がん医療相談室だより No.9 平成25年1月号

今月のおすすめ

●患者サロンのご案内(毎月 第3木曜日に開催)●
抗がん剤の基礎知識について、広島大学病院 葉梨節 三木 庸介さんのお話をしました。薬が吸収されて働きをいくと、抗がん剤の量やどのようにして決められるのか、また抗がん剤の作用の特徴や主な副作用と対処方法について、説明していただきました。
講演後、たくさん質問が寄せられました。参加者の方にもお聞きしました。

●次回サロンのご案内●
平成25年2月21日(木) 13:30~14:30 外来棟3階 中会議室
「がん治療と運動」について〜藤田 肇彦・理学療法士

がん医療相談室
連絡先 082-257-1525
相談日 月～金曜日(休診日除く)
時間 9:00~17:00

がん医療相談室だより No.5 平成24年9月号

今月のおすすめ

「市民講演会のお知らせ」
入場は無料ですが、先着500名様となっています。
USTREAMでもライブ配信されますので、ご利用ください。
(WEB http://gan-hiroshima.wfamp.com)

プログラム(包含：広島大学病院がん医療センター長 杉山一彦)
「がん患者さんの疑問に答える?」
国立広島病院 副院長兼消化器・乳癌・移植外科主任部長 坂本 敬行

「納得した治療法を選択するために」
〜セカンドオピニオンの利用について〜
広島赤十字・救急病院 総合相談支援センター
がん看護専門看護師 乳癌 和美
「がんを克服するための最新治療のアップデート」
広島大学病院 消化器外科・移植外科 講師 楳井 孝夫

●前回サロン(8月23日)の内容をご紹介します●
リンパ(浮腫)は、一度発症すると治りにくく、予防がとても大切となります。リンパ浮腫のセルフケアについて、広島大学病院 作業療法士 金山節希さんからお話していただきました。
内容は、リンパ浮腫を起すきっかけ(転倒、疲労など)、リンパ浮腫の特徴(ゆっくりにくく、痛みがないなど)、また、日々のスキンケアとリンパの流れを保つ方法などでした。主治医で行えることがたくさんありました。一般的なマッサージとリンパ浮腫のマッサージの違いもリンパの働きから、理解できました。

●次回サロンのご案内●
平成24年10月18日(木) 13:30~14:30 外来棟2階会議室
「がんの痛みと緩和」について〜緩和ケアチーム 林康美医師〜

がん医療相談室
電話先 082-257-1525
相談日 月～金曜日(休診日除く)
時間 9:00~17:00

内容: ①今月のおすすめ
②知識のいずみ
③サロン開催結果
④お知らせ

がん医療相談室だより
H24.4月～

11. 広島大学病院

A：相談支援センターの広報（サロン案内のちらし、ポスター）

がん患者おしゃべり会 おしゃべりは心のビタミン

同じ思いを持つ患者さんやご家族の方が、一人で悩まなくてもよいように、患者さん同士が語り合ったり、がんに関する正しい情報を得ることができる場です。
気軽に立ち寄って、みんなで体験談や悩み事など、おしゃべりしてみませんか。
がん相談員もお待ちしております。



開催日 第4火曜日(H24.9月～) 13:30～14:30
場所 広島大学病院 入院棟5階 『相談室』

問い合わせ先 広島大学病院
患者支援センター(257-5079)

平成24年度 広島大学病院 患者サロン

| 日時 | 内容 | 講師 | 場所 |
|------------------------------|-------------------------------------|---------------------|--------------|
| 平成24年4月11日(水) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー 乳がんの治療 (手術前後の化学療法) | 乳腺外科 医師 恵美 純子 | 外来棟 2階会議室 |
| 平成24年5月17日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー 抗がん剤の 副作用について | 化学療法認定看護師 清本 美由紀 | 外来棟 2階会議室 |
| 平成24年6月21日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー 社会保障と高額医療 制度について | 医療社会福祉士 森光 珠紀 | 外来棟 2階会議室 |
| 平成24年7月19日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー がん治療と栄養と食事 | 管理栄養士 岡 壽子 | 外来棟 2階会議室 |
| 平成24年8月23日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー リンパ浮腫のセルフケア | 作業療法士 金山 亜希 | 外来棟 2階会議室 |
| 平成24年9月20日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー がん患者を支える家族の セルフケア | がん看護専門看護師 織田 浩子 | 外来棟 2階会議室 |

問い合わせ
がん医療相談室
場所: 外来棟1階患者支援センター内
連絡先: 082-257-1525
時間: 9:00-17:00

平成24年度 広島大学病院 患者サロン

| 日時 | 内容 | 講師 | 場所 |
|-------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------|
| 平成24年10月18日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー がんの痛みの緩和 | 緩和ケアチーム医師 林 優美 | 外来棟 2階会議室 |
| 平成24年11月15日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー 肺がん基礎と治療 について | 呼吸器外科医師 宮田 義浩 | 外来棟 2階会議室 |
| 平成24年12月20日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー 抗がん剤の基礎知識 | 薬剤師 三木 陽介 | 外来棟 2階会議室 |
| 平成25年1月17日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー 分子標的薬の基礎知識 & 皮膚症状のケア | 薬剤師 下角 真弘 がん化学療法看護認定看護師 清本 美由紀 | 外来棟3階 中会議室 |
| 平成25年2月21日(木) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー がん治療と運動 | 理学療法士 日富 泰彦 | 外来棟3階 中会議室 |
| 平成25年3月19日(火) 13:30-14:30 | ーがん治療を支えるー 大腸がんの基礎と治療 について | 消化器外科医師 横井 孝夫 | 外来棟3階 中会議室 |

問い合わせ
がん医療相談室
場所: 外来棟1階患者支援センター内
連絡先: 082-257-1525
時間: 9:00-17:00

おしゃべり会、患者サロンチラシ

11.広島大学病院

A：相談支援センターの広報（中国新聞に取材に来てもらいました）

中国新聞に掲載
2012年10月31日
（相談支援センター・患者サロン）

新聞に掲載
（似顔絵セラピー）


がん相談を取材していただきたいと
当院広報から新聞社に依頼しました。

反響ありました

新聞などの記事

12.広島市立広島市民病院 A相談支援センターの広報

地域がん診療連携拠点病院
広島市立広島市民病院
医療支援センター がん診療相談室
のご案内



がん患者さん、ご家族の不安なことや、心配ごとを—
お気軽にご相談下さい。

平成 23 年 6 月改訂

がん診療相談室では、
専従の医療ソーシャルワーカーと看護師が
がん患者さん、ご家族からのがんに関する不
満み、抱えておられる問題について、
お話を伺い、一緒に考えます。

相談内容により、病院内
スタッフと連携を取りながら、
対応いたします。
他院の方や一般の方からの
ご相談も受け付けています。
お気軽にご相談下さい。

受付時間 午前 9 : 0 0 ~ 午後 5 : 0 0
(土・日・祝日、8/6、12/29~1/3 を除く、開院日)

場 所 管理棟 1 階
9 番 医療支援センター内 「がん診療相談室」

相談方法 <<電話相談>>
直通電話 082-221-1351 ・ 082-212-3190
代表電話 082-221-2291 (内線 2330・2377)
<<面接相談>> 随時いつでもお越しください。
予約不要。

パンフレット/A5サイズ 院内のラックなどに置いています。

たとえば、こんなとき・・・

| | | |
|--|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 緩和ケアや、緩和ケア 病棟について知りたい。 | がんと診断され、告知 を受けた。受け止めら れない。 | 治療にかかる医療費は どのくらい？ 収入がなく心配。 |
| がんの治療法について 聞きたい。 | 訪問診療や訪問看護の サービスを受けたい。 | 誰かに不安な気持ちを 聞いてもらいたい... |
| 治療しながら在宅療養 が必要。介護保険サー ビスを利用したい。 手続き方法は？ | 抗がん剤治療の副作用 や後遺症について不安 です... | セカンド・オピニオン とは？どのように主治 医に伝えればいい？ |
| 主治医との関係で悩ん でいます... | ご相談ください。 | |

広島市民病院では、当院のがん患者さん・家
「〜がんとともに〜こころのサロン」を開
開催日は、毎月第2・4火曜日、午後3時〜
勉強会やおしゃべり会を行っています。
<申込み：がん診療相談室、又は医療情報サ

医療情報サロンのご紹介

医療情報サロンでは、がんを中心とした治療に関する
書籍や闘病記、雑誌などが閲覧できます。
インターネットでの情報検索もできます。(有料 10分100円)

場 所 : フロムナード 売店前
開設時間 : 朝9時~夕方5時まで
(第2・4火曜日は「こころのサロン」を開催するため、
午後2時45分~午後4時30分まで閲覧できません。)



〒730-8518
広島市中区基町 7 番 33 号
広島市立広島市民病院
電話：082-221-2291 (代表)

12.広島市立広島市民病院 A相談支援センターの広報

広島市立広島市民病院

一般の方へ 医療機関の方へ がん拠点病院 K-NET 市民病院 ミュージアム

▶ サイトマップ ▶ English 小 もとの文字サイズ 大

セカンドオピニオン 診療科状況アピール 臨床研究 最新パス Dr.File 治療成績 医療情報研修会 医療情報コーナー 相談支援 化学療法病棟 通院治療センター 緩和ケア

トップ > がん拠点病院 K-NET > がんに関する相談支援 [本文を印刷する](#)

がん拠点病院 K-NET

- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 診療科現況アピール
- ▶ 臨床研究
- ▶ 最新パス情報
- ▶ ドクターファイル
- ▶ 治療成績
- ▶ 地域かかりつけ医を交えた医療情報研修会
- ▶ 医療情報コーナー
- ▶ がんに関する相談支援
- ▶ 化学療法病棟
- ▶ 通院治療センター紹介
- ▶ 病気に関する詳細情報「がん対策情報センター」へ
- ▶ 緩和ケアについて

がんに関する相談支援

がん診療相談室

広島市立広島市民病院では、患者さんやご家族からのがんに関する疑問や不安、悩みにお応えるため、「がん診療相談室」を開設しています。

がん診療相談室専任の医療ソーシャルワーカー、看護師がお話を伺い、一緒に考えます。相談内容により、病院スタッフと連携を取りながら、医師、薬剤師、栄養士などをご紹介します。

当院の入院・外来の患者さん、ご家族の方にかかわらず、他院の方や地域の方からの相談も受け付けていますので、お気軽にご相談下さい。

受付時間 午前8:30～午後5:00
(土・日・祝日、8/6、12/29～1/3を除く開院日)

場 所 管理棟1階
9番 医療支援センター内「がん診療相談室」

相談方法 《電話相談》 直通電話 082-221-1351 代表電話 082-221-2291 (内線2330・2377)

ホームページ上の広報

「～がんとともに～こころのサロン」のご紹介

広島市民病院では、当院のがん患者さん・家族の方を対象に、「～がんとともに～こころのサロン」を開催しています。病気や副作用についての勉強会やおしゃべり会を行っています。

| | |
|-----|-------------------|
| 場 所 | プロムナード 売店前 |
| 開催日 | 毎月第2・4火曜日の午後3時～4時 |
| 申込み | がん診療相談室または医療情報サロン |



医療情報サロンのご紹介

医療情報サロンでは、がんを中心とした治療に関する書籍や関係記、雑誌などが閲覧できます。インターネットでの情報検索もできます。(有料 10分100円)

| | |
|------|---|
| 場 所 | プロムナード 売店前 |
| 解説時間 | 朝9時～夕方5時 (第2・4火曜日は「こころのサロン」を開催するため、午後3時まで) |

A. 相談支援センターの広報

広島赤十字・原爆病院
『総合相談支援センター』
のご案内

家族のこと、仕事のこと、どうしよう…

これからの療養や介護サービスについて教えてほしい

副作用について教えてほしい

がんのこと治療について教えてほしい

不安… 心配…

地域の医療機関について教えてほしい

福祉サービスについて教えてほしい

高い医療費 どうしよう…

専任の看護師や医療ソーシャルワーカーなど相談支援スタッフがむずかしい用語や情報等をわかりやすく解説し皆様の不安や心配の解消をお手伝いします

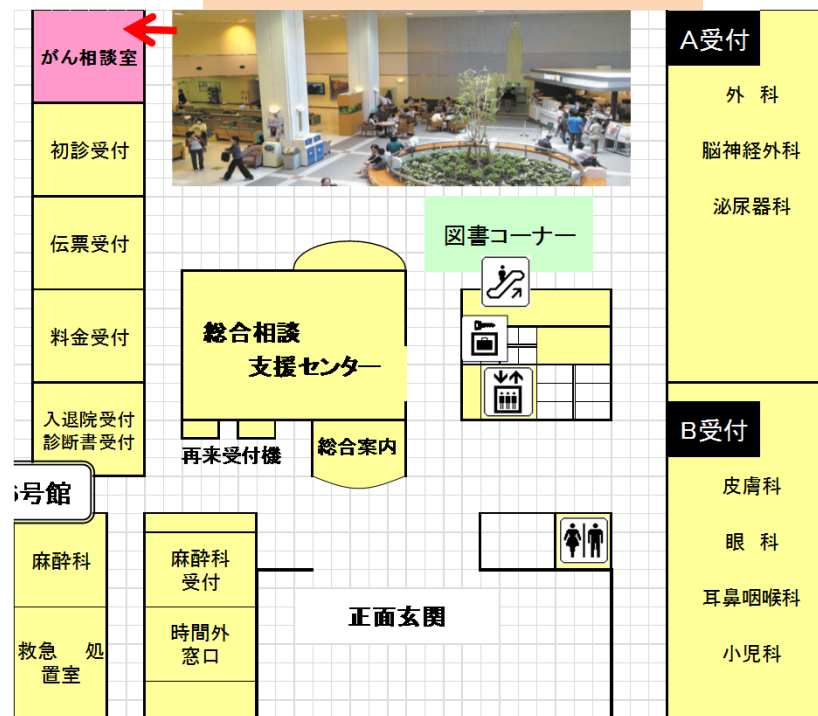
受付時間
午前 8:30 ~ 午後 5:00
(土日、祝日、12/29~1/3, 5/1を除く)

電話によるご相談
直通 082-241-3477 (がん相談専用)
代表 082-241-3111 (内線 3214)



●「入院の案内」の冊子に入れ、入院される患者さんには目に触れるようにしている

案内図



A. 相談支援センターの広報(ホームページ)

総合相談支援センター

[トップページ](#) > [当院のがん治療](#) > 総合相談支援センター

総合相談支援センターについて

当院では、地域のみなさまの医療費や制度等様々な相談に対応できるよう、専任者を配置した相談窓口を設置しています。

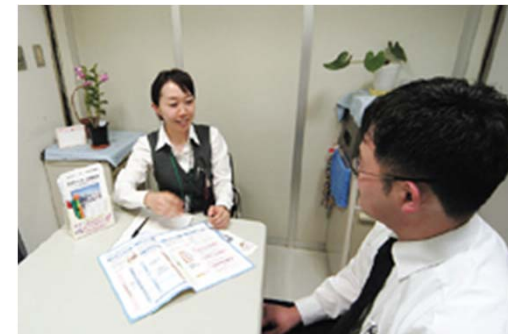
病気に関する疑問や心配ごとについてご相談をお受けしますので、どうぞご利用ください。

お問合せ先

総合相談支援センター

TEL (082)241-3111(代)内線(3212)

FAX (082)504-6676



患者相談について

◇がん相談支援室

看護師やMSW（医療ソーシャルワーカー）等が、がんの患者さんやご家族からの相談をお受けし、がんについての情報提供等を行っています。患者さんやご家族の方々と、共に考えサポートさせていただきますので、お気軽にご利用下さい。

☎(0836)22-2473

◇肝疾患相談支援室

本院では、肝疾患診療連携拠点病院事業の一環として、肝疾患相談支援室を設置し、肝疾患相談を行っています。肝疾患についてご相談のある方はどなたでもご利用いただけます。

☎(0836)85-3976

◇その他、各種相談

- ・公的制度に関すること。 ・医療費の支払いや、生活費に関すること。
- ・通院や入院、その他転院支援や施設入所、在宅支援等に関すること。
- ・セカンドオピニオンに関すること など。



◆相談日時 など

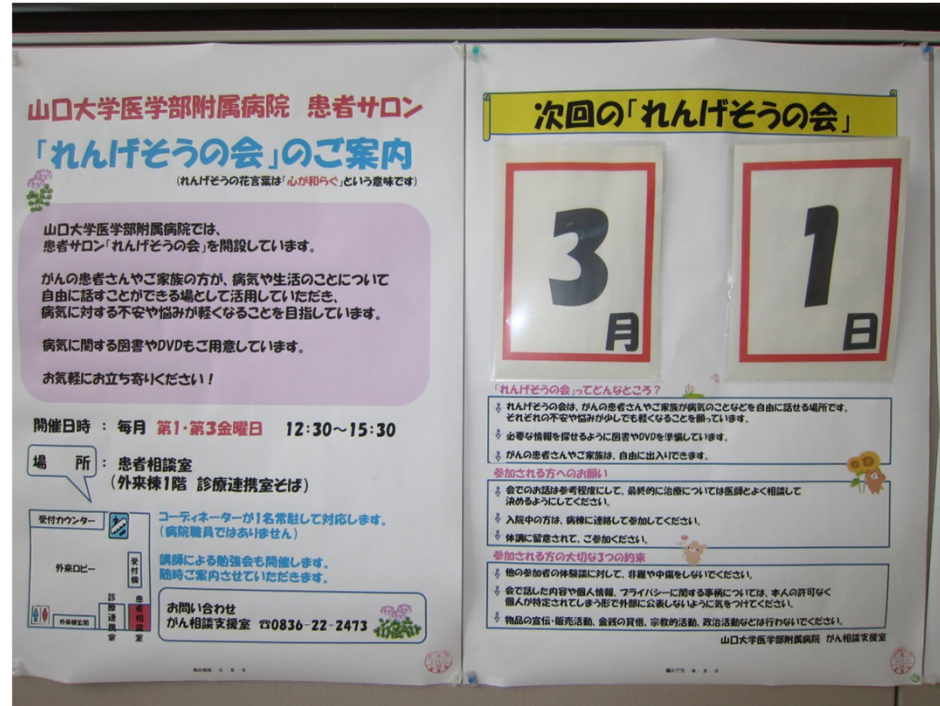
| 区分 | 相談時間 | 相談方法 | 担当者 | 相談内容 |
|-------------|--|----------|------------|----------------------------|
| がん相談 | 【月曜日～金曜日】 （*土日祝日を除く。） 9時～17時 | 面談 電話 | 看護師 MSW | ・疾患に対する情報提供 ・治療以外の相談 など |
| 肝疾患 一般相談 | 【月曜日～金曜日】 （*土日祝日を除く。） 9時～15時 | 面談 電話 | 看護師 MSW | ・疾患に対する情報提供 ・治療以外の相談 など |
| 肝疾患 専門相談 | 【月・水・金曜日】 （*土日祝日を除く。） 13時～17時 [注] | 面談 | 医師 | ・専門的な医療の相談 など |
| その他 各種相談 | 【月曜日～金曜日】 （*土日祝日を除く。） 8時半～17時 | 面談 | 看護師 MSW | ・その他、保健、医療 福祉に関する相談 |

[注] 肝疾患の専門相談は一般相談の後、必要に応じて実施します。原則面談で相談をお受けしますが、場合によっては電話等で対応する場合があります。

【診療連携室 地図】



相談窓口は診療連携室
となっております。
ご相談のある方はどなたでも
無料でご利用頂けます。
相談内容の秘密は厳守いた
しますので、ご安心下さい。



「入院のしおり」に相談室を掲載しています。

また相談室前に関連冊子の配置や「患者サロン」の広報を行っています。

相談支援センターのご案内

相談支援センターでは、多くのがん患者さまやご家族の皆さまと、がん治療・緩和ケア・在宅緩和ケアなどの選択に関して、ともに考え支援させていただきますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

相談支援センターでは、以下のことを行っています。

- 各がんの病態、標準的治療法などがん診療に関する一般的医療情報の提供
- 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の紹介
- セカンドオピニオン外来が可能な医師の紹介
- 療養上の相談や医療費や介護サービスなどの相談と情報提供
- 地域のかかりつけ医、診療機関、在宅療養支援診療所などとの連携、情報提供
- 山口市在宅緩和ケアセンターの事業とタイアップし、在宅を支援

《場所》

山口赤十字病院 相談支援センター
（正面玄関入り口右手側）

《相談日時》

月曜日～金曜日（祝祭日除く）
8：30～17：00

《受付方法》 ご予約は不要です

電話/FAXで予約を受け付けています

相談は無料です

相談電話/FAX：083-923-0380（直通）

相談電話/TEL：083-923-0111（代）内線2145

《相談担当者》

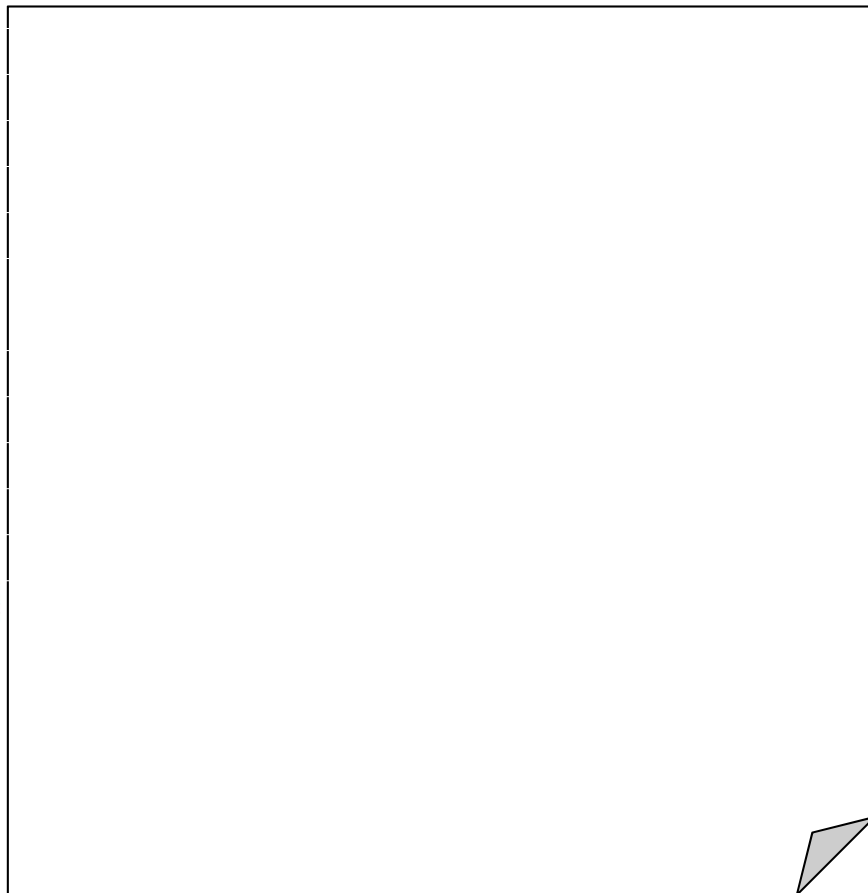
相談担当は主に看護師、医療ソーシャルワーカーが担当致します

相談内容により、相談内容に合う専門の担当者がお受け致します



相談支援センターは、患者さまやご家族のほか、地域の方々はどなたでもご利用いただけます。
また、相談内容や個人情報の秘密事項は厳守致しますので、ご安心下さい。

MEMO



ご予約は不要です
電話/FAXで予約を受け付けています
相談電話/FAX：083-923-0380（直通）
TEL：083-923-0111(代) 内線2145



相談支援センターのご案内



山口赤十字病院
相談支援センター
(正面玄関右手側)

相談支援センターでは、多くのがん患者さまやご家族の皆さまと、がん治療・緩和ケア・在宅緩和ケアなどの選択に関して、ご相談をお受けします。

どうぞお気軽にご相談ください。



相談支援センターでは、以下のことを行っています。

- * 各がんの病態、標準的治療法などがん診療に関する一般的医療情報の提供
- * 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の紹介
- * セカンドオピニオン外来が可能な医師の紹介
- * 療養上の相談や医療費や介護サービスなどの相談と情報提供
- * 地域のかかりつけ医、診療機関、在宅療養支援診療所などとの連携、情報提供
- * 山口市在宅緩和ケアセンターの事業とタイアップし、在宅を支援



《場所》

山口赤十字病院 相談支援センター

（正面玄関入り口右手側）

《相談日時》

月曜日～金曜日（祝祭日除く）
8：30～17：00 相談は無料です



《受付方法》

ご予約は不要です

相談電話/TEL：083-923-0111（代）内線2145

相談電話/FAX：083-923-0380（直通）

《相談担当者》

相談担当は主に看護師、医療ソーシャルワーカーが担当致します

相談内容により、相談内容に合う専門の担当者にご相談をお受け致します

相談支援センターは、患者さまやご家族のほか、地域の方々はどこでもご利用いただけます。また、相談内容や個人情報の秘密事項は厳守致しますので、ご安心下さい。



A 相談支援センターの広報（ちらし）



患者さんやご家族からのがんに関する疑問や不安、悩みにお応えするため

『がん相談支援センター』

を開設しています

看護師や医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、一緒に考えるお手伝いをいたします。相談内容の秘密は厳守します。

- 日 時… 平日 8:30～17:00
- 場 所… 地域医療連携室（1階食堂前）
- 相談方法… 来訪による面談 または 電話相談
0827-31-7121 (代表)
0827-31-3704 (内線 7198)
- 対象の方… 患者さんやご家族、地域の方々

たとえば、このようなときにご相談ください

- 今後の生活のことが心配 話をきいてほしい
- セカンド・オピニオンとは
- 誰にも相談できなくて困っている
- 医療費・生活費のこと
- 退院後の生活はどうしたらよいのか心配
- 家族や仕事のことなどで悩んでいる などなど



「ほっとサロン虹」を開設しています

利用できる日時・場所
開催日 毎月第3金曜日
時間 14:00～16:00
場所 旧南1階病棟 デイルーム

対象の方 がん患者さんご家族
(院外の方も参加可能です)

Q. どんなことができるの？

仲間作りができ、お互いの不安や悩みを話し合うことができます。



Q. どんなことをするの？

病気や暮らしに関する学習会を開催したり、情報を探してお手伝いをしています。お気軽にお立ち寄りください。

「ほっとサロン虹」のご案内



がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。



H24年度 ほっとサロン虹開催予定日（毎月第3金曜日）※学習会と交流会（学・交）、または交流会のみを開催。

| | 開催予定日 | 内容 | 担当講師 | 学習会演題 |
|------|----------------|-----|---------------|-----------------------------|
| 第1回 | 平成24年 4月20日(金) | 交流会 | - | - |
| 第2回 | 平成24年 5月18日(金) | 学・交 | 医師 | 緩和ケアとは？ ～医師の立場から～ |
| 第3回 | 平成24年 6月15日(金) | 交流会 | - | - |
| 第4回 | 平成24年 7月20日(金) | 学・交 | 医師 | ストレスマネジメント |
| 第5回 | 平成24年 8月17日(金) | 交流会 | - | - |
| 第6回 | 平成24年 9月21日(金) | 学・交 | がん性疼痛看護認定看護師 | 痛みの緩和について |
| 第7回 | 平成24年10月19日(金) | 交流会 | - | - |
| 第8回 | 平成24年11月16日(金) | 学・交 | 緩和ケア認定看護師 | 緩和ケアって何だろう？ ～認定看護師の立場から～ |
| 第9回 | 平成24年12月21日(金) | 交流会 | - | - |
| 第10回 | 平成25年 1月18日(金) | 学・交 | 管理栄養士 | 食事について |
| 第11回 | 平成25年 2月15日(金) | 交流会 | - | - |
| 第12回 | 平成25年 3月15日(金) | 学・交 | がん化学療法看護認定看護師 | 抗がん剤治療の副作用対策について |

※予定していた日程・内容は急遽変更になる場合がございます。詳細は当院ホームページをご確認いただくか、地域医療連携室（食堂前）へお問い合わせください。

時間 14:00～16:00
場所 旧南1階病棟 デイルーム
対象 がん患者さんご家族(院外の方も参加可能です)

平成24年4月から当院への通院・入院の有無に関係なく、どなたでもご参加いただけます。

Q. どんなことができるの？

仲間作りができ、お互いの不安や悩みを話し合うことができます。



Q. どんなことをするの？

病気や暮らしに関する学習会を開催したり、情報を探してお手伝いをしています。お気軽にお立ち寄りください。



*ちらしは院内相談室前のラックや各科外来窓口・化学療法室等に設置。

16.

A 相談支援センターの広報（ホームページ）



* 病院HPトップから ‘地域がん診療連携拠点病院’ をクリックするとがん相談のページへ



※上の画像をクリックすると『がん相談支援センター』のチラシ(PDF)をダウンロードできます。

A.相談支援センターの広報

Information of Hospitalization
入院のご案内

院内での各相談
地域医療連携センターでは各相談をお受けしています。

| | |
|---|--|
| <p>医療福祉相談 「医療と福祉に関すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 / 月～金曜日(祝日を除く)8:30～17:00 場所 / 外来棟1階 Tel / 088-633-9107(内線9107)、088-633-9056(内線5118) | <p>がん相談 「がんの一般的な情報や治療に関すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 / 月～金曜日(祝日を除く)8:30～17:00 場所 / 外来棟1階 Tel / 088-633-9438(内線9975) |
| <p>肝疾患相談室 「肝炎、肝疾患に関すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 / 月～金曜日(祝日を除く)10:00～16:00(12:00～13:00除く) 場所 / 外来棟1階 Tel / 088-633-9002(内線5122) | <p>看護相談室 「療養相談、退院後の生活等に関すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 / 月～金曜日(祝日を除く)13:00～15:00 場所 / 外来棟2階 Tel / 088-633-9401(内線9401) |
| <p>難病相談 「特定疾患の医療および日常生活に関すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 / 水・木曜日(祝日を除く)9:00～17:00 場所 / 外来棟2階 Tel / 088-633-9401(内線9401) | <p>まちの保健室 「ITを使った院内情報の提供等に関すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページアドレス http://soudan.hosp.med.tokushima-u.ac.jp/machiken/main/index.php |

緩和ケアセンターによる相談
がん等の痛みの症状緩和、療養上の心配事(病状説明や治療、入院生活での心配等)や心理的問題などのご相談に、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、心理士が応じています。

遺伝相談(有料)
遺伝と考えられる異常や、病気のことで不安や悩み、問題を抱えている方に正しい知識と最新の情報を提供し、ご自身が納得のいく方向で悩みや問題を解決できるように一緒に考えます。

その他の相談
地域医療連携センターにて、お気軽にご相談ください。

入院料金、公費医療等に関する相談
入院料金、公費医療等(育成医療、更生医療、特定疾患、医療扶助、労災、その他)のご相談に応じています。希望される場合は入退院事務センターにお申し出ください。

健康学級
義務教育を受けている児童が長期間入院される場合は、「健康学級」(東病棟3階)で授業を受けることができます。希望がある場合は担当医または看護師長にご相談ください。

↑ 入院案内に相談窓口の案内を掲載

院内医療者用 2012.4
地域医療連携センターのご案内

地域医療連携センターでは、医師・看護師・MSW・事務職員が連携して、以下のような相談を無料で受け付けています。お気軽にご相談ください。

「医療福祉相談」 内線 9107・5118 内線 633-9107
月～金 8:30～17:00

- ◆ 保険、医療、福祉サービスの申請手続きや利用方法について
- ◆ 在宅福祉サービスの種類や内容について
- ◆ 外来費、入院費の支払いについて
- ◆ どこに相談すればよいか分からない時やその他医療福祉に関する相談 など

「がん相談」 内線 9975 内線 633-9438
月～金 8:30～17:00

※さまざまな問題解決のお手伝いをさせていただきます。

- ◆ がん患者さんの療養上の相談
- ◆ がんに関する一般的な情報の提供
- ◆ がん患者さんとご家族の療養上の不安や悩みに対する相談 など

「肝疾患相談」 内線 5122 内線 633-9002(原則予約制)
月～金 10:00～12:00, 13:00～16:00

※患者さんとご家族の意思決定をサポートします。

- ◆ ウィルス性肝炎や肝疾患についての医療相談
- ◆ 肝炎に関する医療・療養・インターフェロン助成制度等の福祉相談
- ◆ 地域医療連携クリティカルパスについて など

「看護相談」 内線 9401 内線 633-9401
月～金 13:00～15:00

入院・外来を問わず、療養上のご相談・退院後の生活、在宅介護についてなどお気軽にご相談下さい。 ※開設時間以外は、予約制にて相談を承っています。

在宅療養にかかわる看護相談

- 病気・健康問題
- 医療・福祉施設サービス情報
- 生活・療養(看護・介護)の問題
- 経済(お金)と制度の問題
- 育児の問題
- その他の問題
- こころの問題
- 教育・仕事の問題

2階 地域医療連携センター 看護相談室

1階 医療相談窓口
内線：9107、5118
TEL：088-633-9107 (FAX兼用)
088-633-9056

2階 看護相談室・まちの保健室
内線：9401 TEL：088-633-9401

↑ 院内へ相談窓口(地域医療連携センター)の案内を配布。

17.徳島大学病院

A.相談支援センターの広報

↓ 院内広報紙へ掲載

●歴史ある地域の中核病院として

徳島大学病院は四国でもっとも伝統があり、その70年近い歴史のなかで、県内の医療機関と密接な関係を築いてきています。難病相談について県より委託を受けて、特定疾患の医療および日常生活の相談をお受けしています。

今年の4月からは県の[がん診療連携拠点病院]に指定され「がん相談」に関しては当センターが担当し、徳島がん対策センター事業としてのがん相談や、がんサロンの紹介などに取り組み、ホームページでも紹介しています。最近では患者さん・家族の方の意識も変わり、自宅での療養、看取りを希望する方も増えており、訪問看護や往診医と連携した支援も行っています。

さらには、平成20年7月に県の[肝疾患診療連携拠点病院]に指定され、肝疾患相談や地域へ出向いの検

03

CLOSE UP!

保健、医療、福祉に関することなら何でもOKの相談窓口
センター職員が院内各部署と強力に連携して対応します
～先駆的な「地域医療連携センター」の取り組み～

～地域医療連携センターの目的とは～

最近、一人の患者さんや地域の医療機関全体でつなぐという流れが盛んになっています。当院では全国的にも早く11年前からその取り組みを開始し、日頃から地域の「かかりつけ医」と連携してコミュニケーションをとるよう努めています。
地域医療連携センターは、本県が大学病院として社会が求める使命に応えて、適切で最高の医療を提供するため、お互いの専門性を積極的に活用して患者さんが適切な診療を受けられるよう、院内部門も含めて地域医療機関との密接な連携を推進しています。

●歴史ある地域の中核病院として

徳島大学病院は四国でもっとも伝統があり、その70年近い歴史のなかで、県内の医療機関と密接な関係を築いてきています。難病相談について県より委託を受けて、特定疾患の医療および日常生活の相談をお受けしています。

今年の4月からは県の[がん診療連携拠点病院]に指定され、「がん相談」に関しては当センターが担当し、徳島がん対策センター事業としてのがん相談や、がんサロンの紹介などに取り組み、ホームページでも紹介しています。最近では患者さん・家族の方の意識も変わり、自宅での療養、看取りを希望する方も増えており、訪問看護や往診医と連携した支援も行っています。

さらには、平成20年7月に県の[肝疾患診療連携拠点病院]に指定され、肝疾患相談や地域へ出向いの検

診や広報活動も行っています。自分が肝炎ウイルスに感染しているかどうかを知らないという人も多く、検査の大切さや肝炎ウイルスに起因する肝がんなどについて市民講座やホームページで広く伝えたいです。
また、平成17年に[脳卒中センター]を開院し、徳島県から脳卒中患者さんを24時間待機して受け入れ、急性期治療終了後は、回復期リハビリテーション科で行えるように地域のリハビリテーション病院とスムーズな連携を促しています。
その他にも、遺伝についての悩みに対応する「遺伝相談室」、他院にかかっている患者さんに対して専門の立場から意見を支援する「セカンドオピニオン外来」、女性特有の悩みに対応する「女性性行為」といった医療部署の有利相談も受け付けています。

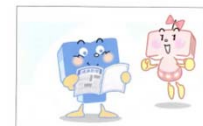


【お問い合わせ先】 徳島大学病院 地域医療連携センター 相談室 徳島市 鳴門区 丸一 1-1-1 (TEL: 087-223-1100)
【お問い合わせ先】 徳島大学病院 地域医療連携センター 相談室 徳島市 鳴門区 丸一 1-1-1 (TEL: 087-223-1100)
【お問い合わせ先】 徳島大学病院 地域医療連携センター 相談室 徳島市 鳴門区 丸一 1-1-1 (TEL: 087-223-1100)

●患者さん・家族の方が望む連携のために ぜひ「かかりつけ医」を持ちましょう!

各医療機関には、機能や組織によってそれぞれ役割があります。たとえば、診療科などは入院を必要としない患者さんを対象に診療を提供しています。一方、地域の中核病院は生命に危険のある急性医療や先進医療を提供しています。

徳島大学病院では「かかりつけ医」と協力し、患者さんの病院に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても、待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットもつながります。そのためにも、ぜひ身近な「かかりつけ医」を持ちましょう。
当センターには、医療ソーシャルワーカー、看護師、事務の専任職員が常在し、各診療科の医師・歯科医師、コメディカル、事務職員などの取手各部署と連携した体制で体制に即応しています。患者さんや関係医療機関と連携し、必要なさまざまな観点から満足して利用いただけるものになっています。



「トクシに載っとるでよ!」
地域のニュースが人の間を結びます

徳島と共により
徳島新聞社

がんサロンのご案内

患者同士、家族同士で会話をすることによって、気分転換や気晴らしになることもあります。ほっとできる空間としてご利用ください。どなたでもどうぞお気軽にご参加ください。

開催場所: 西病棟 11 階 ウェルカム・スペースの隅(コーナートークルーム)
日時: 第2・第4水曜日 15:00~16:30
会場には、看護師、臨床心理士、ボランティアスタッフなどがいます。



▽がんサロン

当院では、2010年3月より、がん患者さんやご家族の交流の場として「がんサロン」を開設しています。毎回、10名程度の参加者がお茶を飲みながら和やかな雰囲気の中で、がんの療養体験や体験を通して感じた気持ちについて語り合っています。参加者のがん種やステージは様々ですが、参加者からは、「サロンに参加するまでは1人で悶々と悩んでいたけれど、サロンに参加して、同じような悩みを持っている人と話ができ気持ちが楽になった」「同じがんを患っているからこそ分かり合えることがある」といった話が聞かれます。サロンには、臨床心理士や医療ソーシャルワーカー、ボランティアスタッフが参加しています。また、がんに関する書籍も揃えており、貸し出しもしています。がんの療養生活は、不安や辛さをともなうこともあります。サロンに参加して、「ほっと」する一時を過ごしていただければと思っています。

A.相談支援センターの広報

院内がん患者教室にて
相談支援センター
の案内を資料へ添付



化学療法がん患者教室資料

2011年11月4日

資料でご紹介した以外にも様々な制度をご活用いただける場合があります。更に詳しい情報や、他の制度については、かかりつけ医療機関の相談窓口や相談支援センターへご相談ください。

徳島県内の相談支援センター

相談支援センターは、県内のがん診療連携拠点病院に設置されている「がんの相談窓口」です。患者さんやご家族のほか、どなたでも無料でご利用いただけます。がん診療連携拠点病院で診療を受けていない方もご利用いただけます。

病気やその治療法、治療後の生活、医療費のことなど、がんの療養に関する様々な疑問や悩みの解決に向けて相談員が対応いたします。病院によっては受付時間が異なり、予約が必要な場合もありますので、事前にご確認ください。

- だれに相談していいのかわからない・・・
 - がん治療の医療費について・・・
 - がんに関する情報収集をしたい・・・など
- お悩みのことがありましたらまずはご相談ください。

徳島大学病院
地域医療連携センター
受付時間：8:30～17:00
(土日祝日、年末年始を除く)
連絡先 TEL:(088)633-9438

徳島県立中央病院
やまもも相談室
受付時間：9:00～15:00
(祝祭日を除く)
連絡先 TEL:(088)631-7151 内線 371/383

徳島市民病院
医療相談支援センター
受付時間：9:30～16:00
(祝日等の外来休診日は除く)
連絡先 TEL:(088)621-5121 代表電話

徳島赤十字病院
医療相談支援センター
受付時間：9:00～16:00
(祭日は除く)
連絡先 TEL:0885-32-2555 内線 3167

徳島がん対策センターもご利用ください。

徳島がん対策センター
がん患者総合相談窓口
受付時間：8:30～17:00
(土日祝日、年末年始を除く)
連絡先 TEL:(088)633-9438



お気軽に
ご相談ください



ホームページ <http://www.toku-gantaisaku.jp/>

徳島がん対策センター

検索

17.徳島大学病院

A.相談支援センターの広報

徳島県からの委託事業。相談支援、情報提供を当院が担当している。

↑ 徳島がん対策センターホームページ

↑ 徳島がん対策センター相談窓口の案内(名刺大)

↑ 徳島がん対策センターパンフレット(A4サイズ二つ折り)

A.相談支援センターの広報

徳島新聞社より徳島がん対策センターにオファーのあった「がん何でもQ&A」を利用した相談支援センターのPR

徳島新聞に掲載
2011年5月20日

徳島新聞に掲載
2012年11月28日

徳島新聞に掲載
2013年1月28日

A相談センターのご案内

| | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|----------|-----|
| トップ | 病院のご案内 | 外来のご案内 | 入院のご案内 | 臨床研修のご案内 | 職員室 |
|-----|--------|--------|--------|----------|-----|

臨床腫瘍センター



[トップ](#) > [臨床腫瘍センター](#) > [相談体制について](#)

各部門一覧はこちら

地域がん診療連携
拠点病院について

当院のがん情報

がん登録について

相談体制について

セカンドオピニオンに
ついて

緩和医療について

主要ながんに対する
当院の取り組みにつ
いて

放射線療法について

相談体制について



徳島県立中央病院は、患者様ご家族からの様々なお問い合わせに対応できるよう「総合相談窓口」を1階総合案内に設置しています。総合相談窓口には、1名専任の職員（メディカルコンシェルジュ）を配置しています。メディカルコンシェルジュとは、患者様からのご相談やご質問に速やかにお応えできるよう、自ら、又は専門部署への橋渡し役を担います。

相談内容

「総合相談窓口」での相談内容は、診断や治療に関する医療相談、医療費、がんに関する不安や悩み、業や家事の相談など医療に関する様々な問題を、専門の担当者が、問題解決のお手伝いをさせていただきます。

A相談センターのご案内

退院の時は

- 1 退院については主治医の指示に従っていただきます。
- 2 退院日時については病棟師長とご相談ください。
- 3 退院当日に請求書をお渡ししますので、1階自動精算機（もしくは支払窓口）にてお支払いください。
- 4 診察券（プラスチックカード）は外来受診で必要となりますので、必ず病棟で受け取ってください。
- 5 退院後、外来受診をされる方は予約票を受け取ってください。
- 6 退院後外来受診の際にも、保険証の確認をいたしますので忘れずにご持参ください。

診断書・証明書は

- 1 生命保険会社から保険給付を受けるために必要となる入院証明書は、退院時のお支払いの際（退院予定が土曜日、日曜日、祝日の方は直前の平日もしくは次回外来受診時）に、1階文書受付窓口でお申し込みください。
- 2 入院が長期に及ぶ場合等で入院中に証明書が必要な方は、1階文書受付窓口へご相談ください。
- 3 交通事故で入院された方の「警察用診断書」や職場へ提出される「診断書」等が入院中に必要な場合は主治医にご依頼ください。

各種相談・ご意見

各種相談

当院では、患者さん及びご家族からのご相談、ご意見をお受けするために、相談窓口・相談室を開設しております。

- 総合相談窓口（1階エントランスホール）
8：30～17：15（土・日・祝日除く）
- 相談室
 1. 地域医療センター（P15参照）
 2. やまもも相談
9：00～17：00（土・日・祝日除く）
 - ・ 診断や治療に関する医療相談
 - ・ がんに関する不安や悩み（漠然とした不安）
 - ・ 緩和ケアに関する相談
 - ・ 薬や食事に関する相談
 - ・ セカンドオピニオンに関する相談・受付

* 相談内容については秘密を厳守しております。
また相談により不利益を受けないよう、適切に配慮いたします。

ご意見

- 「あなたの声ポスト」を各階病棟、外来、中央採血室などに設置しております。
- 「あなたの声」へのお返事は外来に掲示しております。

A相談センターのご案内

院内の諸施設について(予定)

◆ キャッシュサービス ◆ 1F

阿波銀行

・平日 午前8時45分～午後6時
 ・土・日・祝 午前9時～午後6時

徳島銀行

・平日 午前8時～午後6時
 ・土・日・祝 午前9時～午後6時

徳島信用金庫

・平日 午前8時～午後6時
 ・土・日・祝 午前9時～午後6時

◆ 売 店 ◆ 1F

パン、弁当、雑誌、食料品、文具、衛生用品などを販売しております

・平日 } (営業時間未定)
 ・土・日 }
 ・祝 日 }

宅配便の取り扱いを行っております
 郵便ポストがあります

◆ 食 堂 ◆ 3F

・月～土 } (営業時間未定)
 ・日・祝 }

◆ カフェコーナー ◆ 2F

・(営業時間未定)

◆ そ の 他 ◆

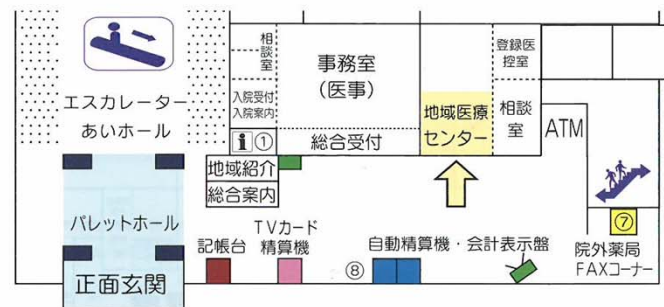
- ・自動販売機：1F
- ・公衆電話：1F・2F・各病棟
- ・患者図書室：3F
- ・TVカード精算機：1F

地域医療センター

思いがけず病気になったり、けがをしたりすると、いろいろと心配なことがでてくると思います。センターには、相談員（看護師・社会福祉士）がおりますので、お気軽にお越しください。

- 医療費のこと（高額療養費・公費負担制度など）
- 生活費のこと（生活保護・年金など）
- 退院後のこと・在宅生活のこと
- 医療機関や福祉施設の利用方法 ● 介護保険制度
- 認知症のこと ● その他の相談ごと

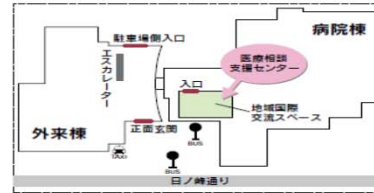
※個人の秘密は厳守いたします。



医療地域センターは、1F外来総合受付の隣です。
 相談受付：平日9時から17時

A：相談支援センターの広報 (パンフレット、チラシ、HPなど) ①

医療相談支援センター





| | |
|--------|--|
| 相談日 | 月～金(祭日は除く) |
| 相談受付時間 | 9:00～16:00 |
| 場所 | 病院棟1階 地域国際交流スペース内 |
| 相談時間 | 直接面接 60分 電話相談 20分 |
| 相談料 | 無料 |
| 相談方法 | 電話・FAX・メールで予約 TEL: 0885-32-2555 (内線3167) FAX: 0885-32-0719 e-mail: sien@tokushima-med.jrc.or.jp |

<パンフレット設置場所>

- ・各診療科外来診察室
- ・各診療科外来待合室
- ・各入院病棟デイルーム
- ・入院のしおり一式内
- ・各入院病室病院案内ファイル内
- ・医療相談支援センター
- ・地域国際交流スペース
etc・・・

医療相談支援センターでは次のようなご相談をお受けしています

- 抗がん剤に伴う悩み相談 効果・副作用についてもっと詳しく聞きたい
脱毛・下着などで悩んでいる 
- 症状緩和に関する相談 痛み、倦怠感、吐き気、腹水、胸水に伴う息苦しさ
手足の腫れ、口が渇くなど、ゆっくり相談できないことについて知りたい
- 治療・処置に関する相談 人工肛門・マッサージなどの理学療法、
代替治療(アロマテラピー、サプリメントや民間療法)などについて知りたい
- 臨床心理士の紹介 生活やご家族のこと、仕事の悩みなどゆっくり話を聞いてほしい
- セカンドオピニオンの支援 診断や治療について他の医師の意見を聞きたい
- 病院・施設の紹介 転医先の病院・施設について知りたい 
- 訪問診療や訪問看護介護サービスの紹介 在宅で療養・介護をするにはどうしたらよいか聞きたい
- 医療費の相談 医療保険制度・高額療養費制度について知りたい
- がんに関する図書 がんに関する図書を閲覧したい
- インターネットによる情報収集 いろいろな病院や患者会の情報、がん治療の最新情報・緩和ケアなどについて知りたい



がんに関するどのようなご相談でもお受けしておりますのでお気軽にお立ち寄り下さい。
※注 個人情報に該当する内容は、患者様の同意がない場合にはお答えできませんのでご了承下さい。

A：相談支援センターの広報

(パンフレット、チラシ、HPなど) ②

がんでお悩みの皆様へ

| | |
|--------|-------------------|
| ■ 相談日 | 月～金(祭日は除く) |
| ■ 受付時間 | 9:00～16:00 |
| ■ 相談場所 | 病院棟1階・地域国際交流スペース内 |
| ■ 相談時間 | 直接面接60分 電話相談20分 |
| ■ 相談料 | 無料 |

がんでお悩みの皆様へ

■ 相談方法 | 電話・FAX・メールでご予約ください。

TEL: 0885-32-2555 (内線 3167) FAX: 0885-32-0719

e-mail: sien@tokushima-med.jrc.or.jp

直接ご来院される場合は医療相談支援センター(病院棟地域国際交流スペース)または外来総合受付まで。

院内情報表示システム(メディネット)での医療相談支援センターの案内(一例)

徳島赤十字病院 医療相談支援センター

医療相談支援センターでは次のようなご相談をお受けしています

- がん治療に伴う悩みの相談
- 治療・療養生活に関する相談
- 医療・看護に関する相談
- 臨床心理士の紹介
- セカンドオピニオンの支援
- 病院-医師の紹介
- 訪問診療や訪問看護サービスへの紹介
- 医療費の相談
- がんに関する図書・センターネットによる情報収集
- 治療-療養生活についてもっと詳しく聞きたい
- 費用・下書きなどで悩んでいる
- 痛み、倦怠感、社会性、患者-病室に伴う苦痛など
- 手紙の書き方、口づけなどの、ホスピタリティなどについて知りたい
- 人工呼吸器・マスキングなどの理学療法、代筆療法(プロマテラピー)、サプリメントや民間療法などについて知りたい
- 生活や経済のこと、仕事の悩みなどについて相談したい
- 診療や治療について後の医師の意見を聞きたい
- 転院先の病院-施設について知りたい
- 在宅で療養-介護をするにはどうしたらよいかわからない
- 医療保険制度-高額療養費制度について知りたい
- がんに関する図書を閲覧したい
- いろいろな病院や患者会の情報、がん治療の最新情報-最新ケアなどについて知りたい

※ がん 個人情報は取り扱わない場合はお答えできませんのでご了承ください。

生活応援グッズのご紹介

- ① がん治療の副作用による痛みや悩んでいるあなたへ
「こんなものがあつたらいい〜」
治療中でも安心して、快適にご過ごすために
- 医療用かつら-帽子の貸出とレンタルサービスを提供しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
- 医療用かつら-帽子の取替会
かつら講習、日頃の手入れなどの相談に専門の方がお答えする相談会を毎月2回開催しています。
- ② 乳癌手術を受けた方の下着
乳癌手術を受けた方の下着のケアがご相談を承けております。
- ③ 3D-マーカー(人工呼吸器)を通らせたオキシゲンの中にご案内
3D-マーカーや酸素についての相談、皮膚トラブルなどのご相談に医療-看護ケア認定看護師が対応いたします。また、3D-マーカーだけでなく各種中絶療法などの最新ケアについてもご説明いたします。

ほっとハートサロン

徳島赤十字病院では、がんとうまく付き合っていく、自分らしい生活を送るために、患者さま以上に医療従事者である命を懸けています。話すだけでも、書くだけでも、「気持ちよくなる」という感動を味わっています。

① 2023年10月開始
毎月23日に15時、16時
参加できる方にご案内の体験、体験をきっかけに
患者さまのご要望

参加費：無料
院内：地域国際交流スペース
参加費：1人様：200円(2023年10月開始)

■ 受付時間 : 月曜日-金曜日(祝祭日、調整要あり) 9:00-17:00
■ 受付場所 : 病院棟1階地域国際交流スペース内
■ 受付時間 : 受付時間 9:00-16:00、電話相談 20分
■ 相談料 : 無料
■ 電話番号 : 0885-32-2555 (内線3167)
■ FAX : 0885-32-0719
■ e-mail : sien@tokushima-med.jrc.or.jp
■ 相談方法 : 電話・FAX・メールでご予約いただけます。
直接ご来院される場合は医療相談支援センター(病院棟地域国際交流スペース)または外来総合受付までご来院ください。

チラシ・広報掲示での医療相談支援センターの案内(一例)

A：相談支援センターの広報

(パンフレット、チラシ、HPなど) ③

医療相談支援センター | 徳島赤十字病院 1/6 ページ

日本赤十字社 徳島赤十字病院

医療相談支援センター

がんでお悩みの皆様へ

「ほっとハートサロン」

がん患者さまのおしゃべり広場

「ほっとハートサロン」

患者さま同士で話しませんか？

徳島赤十字病院では、平成21年5月から、がん患者さまのおしゃべり広場「ほっとハートサロン」を開院しています。お気軽にご参加ください。

- ほっと・・・あたたまる
- ハート・・・こころのささえ
- リロン・・・語り合えるところ

がんになってつらいのは自分だけじゃない...家族、友達、仲間と語り合い、情報交換し合える場所が「ほっとハートサロン」です。

毎月1日、原則第4金曜日15時～16時に、患者さまやご家族が参加できる専いの場を病院内に設置しております。医療相談支援センターの相談員（臨床心理士・看護師・社会福祉士等）が立ち会いますが、患者さまが主体となるよう運営しています。

参加いただける方

当該で治療、療養を受けている外来のがん患者さま及びご家族です。
当該のがん患者さま及びご家族は参加できませんので、ご注意ください。

参加方法

まずは、医療相談支援センターへお問い合わせください。
 参加に先立ち、医療相談支援センター相談員（臨床心理士）の面談がございます。

http://www.tokushima-med.jrc.or.jp/gairai/k04_soudan.htm 2013/02/13

医療相談支援センター | 徳島赤十字病院 1/2 ページ

日本赤十字社 徳島赤十字病院

医療相談支援センター

がんでお悩みの皆様へ

「ほっとハートサロン」

患者さま同士で話しませんか？

徳島赤十字病院では、平成21年5月から、がん患者さまのおしゃべり広場「ほっとハートサロン」を開院しています。お気軽にご参加ください。

- ほっと・・・あたたまる
- ハート・・・こころのささえ
- リロン・・・語り合えるところ

がんになってつらいのは自分だけじゃない...家族、友達、仲間と語り合い、情報交換し合える場所が「ほっとハートサロン」です。

毎月1日、原則第4金曜日15時～16時に、患者さまやご家族が参加できる専いの場を病院内に設置しております。医療相談支援センターの相談員（臨床心理士・看護師・社会福祉士等）が立ち会いますが、患者さまが主体となるよう運営しています。

参加いただける方

当該で治療、療養を受けている外来のがん患者さま及びご家族です。
当該のがん患者さま及びご家族は参加できませんので、ご注意ください。

参加方法

まずは、医療相談支援センターへお問い合わせください。
 参加に先立ち、医療相談支援センター相談員（臨床心理士）の面談がございます。

http://www.tokushima-med.jrc.or.jp/gairai/k04_hot.htm 2013/02/13

項目内容
毎に作成

医療相談支援センター ホームページ (一例)

A：相談支援センターの広報

相談支援室が作成したもの

がんに関する不安、悩みなどご相談ください。

香川大学医学部附属病院がん診療相談支援室とは
 看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士その他のスタッフが相談内容に応じてお話をうかがい、一緒に考え解決に向けて患者さま、ご家族をサポートいたします。がんに関する不安や悩み、知りたい情報などお一人で悩まず気軽に相談ください。

こんなときご相談ください

- 療養生活について心配
- 医療費や生活費のことで困っている
- がんの治療や検査について知りたい
- 病気のことが不安でたまらない
- イライラする、落ち込み、気分が落ち込む
- 緩和ケアについて知りたい
- 痛みや治療について知りたい
- 心配ごとがあるが、どこに相談してよいかわからない

対応時間 午前8時30分～午後5時15分
 (土・日・祝日、12月29日～1月3日を除く開院日)
 連絡先 直通電話 087(891)2473
 相談方法 「来院による直接面談」または「電話相談」
 受付場所 がん診療相談窓口(病院正面玄関入って右)
 相談員 看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士
 利用料金 無料

香川大学がん診療連携拠点病院
 国立大学法人 香川大学医学部附属病院

表面

がん診療相談支援室(ご案内)

がん診療相談支援室では、がんに関して皆さまが抱えている様々な悩みや不安が少しでも軽減されるように、専門の相談員があなたの心を支え、あなたに合った情報を提供し、あなたと一緒に考えます。

ご相談内容の具体例

- 「がんかもしれない」と思う症状があるが、こわくて病院に行けない。
- どこの病院を受診すればよいかわからない。
- 自分のがんについてもう少し詳しく知りたい。
- 主治医が行う治療以外にどんな治療法があるか聞いてみたい。(セカンドオピニオンについて)
- がんの告知を受け、これからどうなるのか不安だ。
- 家族としてどのように患者に対応すればよいかわからない。
- 緩和ケアおよび緩和ケア病棟のある病院について教えてほしい。
- 在宅療養について聞きたい。
- 医療費や職場復帰が心配である。
- アスベストによる肺がんおよび中皮腫に関する相談をしたい。
- 成人T細胞白血病/リンパ腫(ATL)に関する医療の相談をしたい。

対応時間 午前8時30分～午後5時15分
 (土・日・祝日、12月29日～1月3日を除く開院日)
 連絡先 直通電話 087(891)2473
 相談方法 「来院による直接面談」または「電話相談」
 受付場所 がん診療相談窓口(病院正面玄関入って右)
 相談員 看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士
 利用料金 無料

香川大学がん診療連携拠点病院
 国立大学法人 香川大学医学部附属病院

裏面

がん診療相談支援室のご案内

香川大学医学部附属病院では、がんに関して患者さんやご家族が抱えている不安や悩みの相談窓口として「相談支援室」を配置しています。どうぞお気軽にご相談ください。

こんなときご相談ください

- 療養生活について心配
- 医療費や生活費のことで困っている
- がんの治療や検査について知りたい
- 病気のことが不安でたまらない
- イライラする、落ち込み、気分が落ち込む
- 緩和ケアについて知りたい
- 痛みや治療について知りたい
- 心配ごとがあるが、どこに相談してよいかわからない

- 相談は無料です。
- 診断や診察を行う場ではありません。
- 「来院による直接面談」または「電話相談」に応じます。
- がん専門相談員研修を受けた看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、事務員がお受けいたします。
- 医療関係者からの相談もお受けいたします。
- 当院以外の相談もお受けいたします。

対応時間 午前8時30分～午後5時15分
 (土・日・祝日、12月29日～1月3日を除く開院日)
 連絡先 直通電話 087(891)2473
 がん診療相談支援室スペース(病院正面玄関入って右側)

あなたと一緒に考えます。

国立大学法人香川大学医学部附属病院

(掲示用)

(配布用)
 平成23年4月リニューアル時に作成
 平成24年より入院時のしおりに入れ入院患者全例に配布

平成24年院内掲示、諸機関の掲示用に作成

A：相談支援センターの広報

相談支援室が作成したもの活用の一部



(配布用)

がん情報サービス冊子と並べて
 各診療科外来待合室、がん診療相談支援室
 エレベーターホールなど各所に設置
 冊子の補充は、がん専門相談員が実施

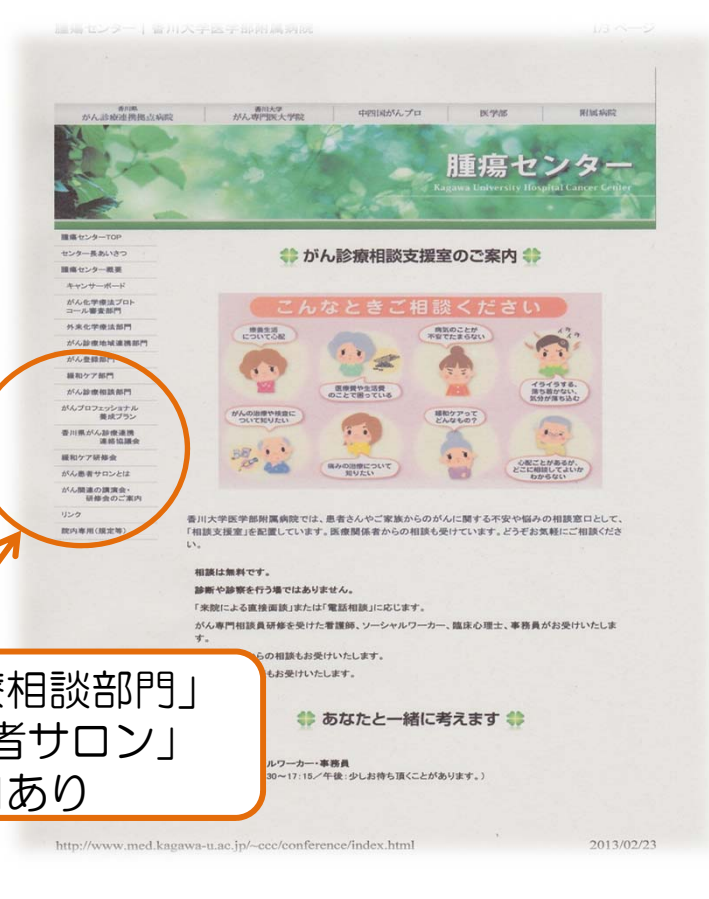
(掲示用)

院内掲示許可を得て、病院内(外来・病棟)
 各所に掲示。
 病棟内掲示は病棟師長の協力を得て実施。

A：相談支援センターの広報

相談支援室に関するHP 一部

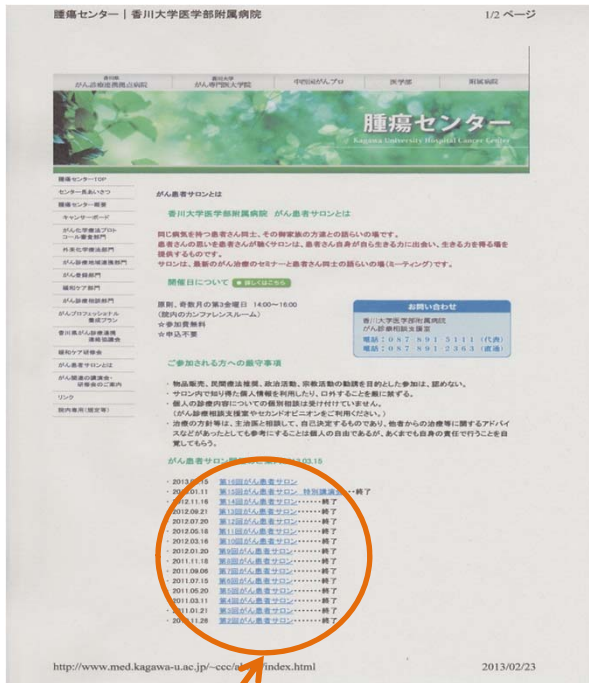
例) 香川大学医学部附属病院→腫瘍センター→がん診療相談部門



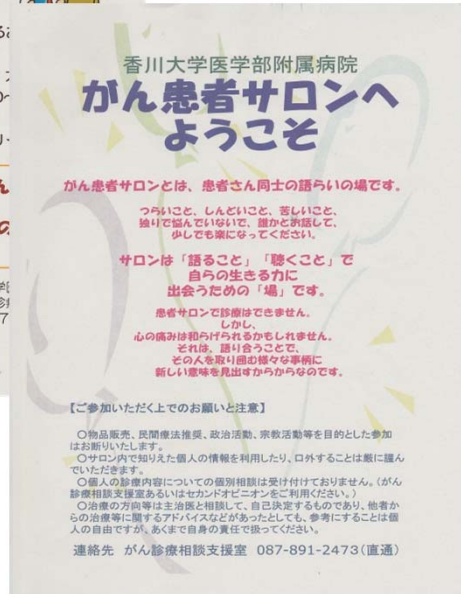
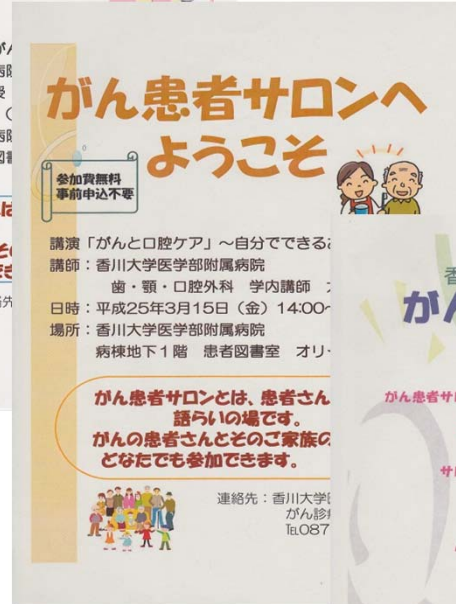
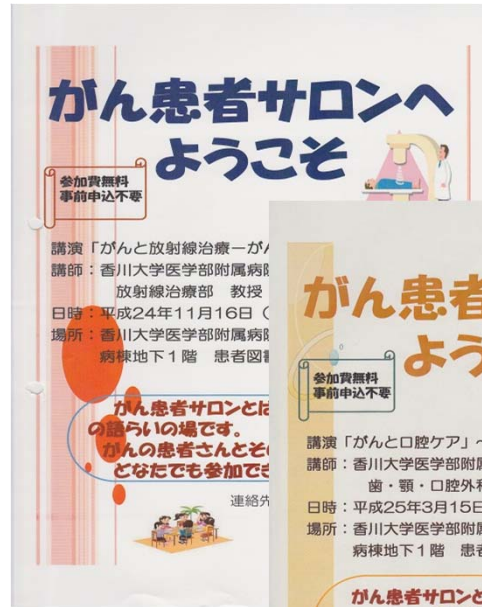
A：相談支援センターの広報

がん患者サロンの案内(HP・チラシ)

2か月毎
 (奇数月第3金曜日)
 14時～16時開催



「がん患者サロン」
項目あり



A：相談支援センターの広報

近隣図書館での広報活動



平成24年12月より
 志度図書館、寒川図書館の
 「医療・看護コーナー」で掲示、
 今後どのような協働が可能か検討中

A：相談支援センターの広報

メディアでとりあげられたもの

四国新聞に掲載
2011年4月17日
(相談窓口新設)

四国新聞に掲載
2011年5月24日
(相談窓口新設)

平成23年4月、窓口新設の取材記事。
(四国新聞・朝日新聞)

A：相談支援センターの広報（パンフレット等）

三豊総合病院 がん相談支援センター

当院では、医師・看護師等の専門のスタッフが療養生活のサポートを行っています。例えば「がん治療について知りたい」「治療や手術にかかる費用が心配」「退院後の生活が不安」「とにかく話を聞いて欲しい」「緩和ケアについて知りたい」等々、がん患者様とその家族の様々な不安や悩みに対して、問題解決のお手伝いをさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。

看護師



認定看護師が相談を受け付けています。

医師



がん治療認定医による相談を受け付けています。



臨床心理士



心のつらさに耳を傾け、一緒に考えていきます。

医療ソーシャルワーカー



医療費や社会福祉制度の相談に応じています。セカンドオピニオンの受診手続きを行ないます。

受付時間 ● 9:00～16:00 (土日・祝日を除く)

場 所 ● がん相談支援センター<1階 総合相談室内>

相談方法 ● 面談・電話相談・メール
電話:0875-52-3366 (内線1170)
メールアドレス:soudan.center@mitoyo-hosp.jp

相談費用 ● 無料

入場無料
がん患者・家族情報交換会
どなたでも
ご自由に
ご参加下さい

たんぽぽ会のご案内

日時 平成 25 年 3 月 28 日(木)

受付 午後 1 時 30 分～

開始 午後 2 時～

場所 三豊総合病院
管理棟 3 階講堂

内容

- 午後 2 時～2 時 30 分
講 演 **身体の病気と心のケアについて**
講 師 三豊総合病院 臨床心理士 豊田京子
- 午後 2 時 30 分～午後 3 時
各専門職への相談や家族同士の
情報交換を行います

事前申し込みは不要です。直接会場へお越し下さい。

パンフレットは院内各所にあるパンフレットラックに設置している。

A：相談支援センターの広報（ホームページ）

診療等のご案内
がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がんのことやがんの治療について知りたい、今後の働きや生活のことが心配など、がんの治療にかかわる質問や相談をおこなっています。
 がんに関するさまざまな悩みや、自分の体のことを打ち明けたり相談することには抵抗があるかもしれませんが、ご相談いただいた個人的な内容が外に漏れてしまうことは一切ありません。



退院後の療養や転院について不安・・・
 在宅介護で困っている。
 緩和ケア病棟について知りたい！
 治療や手術にかかる費用が心配・・・




三豊総合病院 0875-52-3366 (代表)

最新情報

- 2012年02月20日 がん相談支援センターが開設されました。
- 2012年02月19日 西院 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年01月09日 がん相談支援センターが開設されました。
- 2012年01月07日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年01月07日 がん相談支援センターが開設されました。
- 2012年01月04日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年01月04日 西院 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年10月21日 がん相談支援センターが開設されました。
- 2012年10月20日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年08月12日 中核2次救急診療体制を整えました。
- 2012年06月22日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年06月22日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年06月14日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年05月22日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年05月22日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年04月20日 産科健診科の設備が更新されました。
- 2012年03月18日 産科健診科の設備が更新されました。

地域がん診療連携拠点病院

がん相談支援センター

たんばば

セカンドオピニオン外来

病院HPトップページから「地域がん診療連携拠点病院」→「がん相談支援センター」へ

A. 相談支援センターの広報

四国新聞が発行している
健康新聞に掲載
2013年3月3日
(相談支援センターの利用)

地方紙「四国新聞」が、毎月第1日曜日に発行している「健康新聞」に『がんLifeを考える』というコーナーがあります。2013.3.3. 当院の吉澤副院長が、「がん相談支援センター」の利用について呼びかけた記事が掲載されました。

A. 相談支援センターの広報

22.高松赤十字病院

〇がん相談支援センターにご相談ください〇

高松赤十字病院は、がん診療連携拠点病院です。がん診療連携拠点病院は、全国どこに住んでいても質の高いがん医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した病院です。
がん相談支援センターは、がんがもたらす悩みや苦しみについて、患者さん、ご家族、地域の皆様のために、ともに考え、ともに歩みます。
がん相談支援センターには、専門的教育・研修をうけた「がん相談員」が配置されています。

心配事をひとりで抱え込んでいませんか？

- もしかしらがんがかもしれない
- これからのことを考えると不安で頭が一杯
- 他にどんな治療法があるのか知りたい
- 治療や手術にかかる費用が心配
- 職場復帰はできるでしょうか
- がんの家族とどう接したらいいのでしょうか…

- がんと言われて頭の中が真っ白です
- 担当医とうまく話ができず困っています
- セカンドオピニオンはどうすればいいの？
- 退院後の療養生活はどうしたらよいかしら
- 緩和ケアについて知りたい

がん相談支援センターは、

- あなたの理解を助けます
難しい情報をやさしく、わかりやすく解説します
- あなたと一緒に探します
必要としている情報を一緒に探したり、解決の糸口を一緒に考えます
- あなたに合った情報を提供します
書籍やインターネットなどから情報を提供し、情報の使い方、考え方も一緒に考えます
- あなたの心を支えます
不安を和らげ、心が軽くなるようにお手伝いします
- あなたの生活を支援します
経済的な支援や介護サービスの活用、職場や学校、家事や育児などの相談におこたえします
- あなたの家族を支えます
ご家族の相談も伺いながら、必要な情報の提供や解決の糸口を探してお手伝いをします

<相談方法>

受付時間 平日 8:40~17:20
場所 本館1階 地域医療室内「がん相談支援センター」
相談方法 面談相談（予約の必要はありません）
電話相談 病院代表 087-831-7101（内線 1171）
相談対応 看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、薬剤師、など
その他 相談は無料です
高松赤十字病院にかかっていなくても相談できます
相談内容は、ご本人の了解なしに担当医や、ほかの方に伝わることはありません

患者図書室「ひだまり」は、がん相談の窓口です。遠慮なさらずお声かけください。

あとがき

あけましておめでとうございます。「こもれび」第2号をお届けします。
今回のメインは香川県民の「持病」ともいうべき、「糖尿病」のお話です。
年越し・年明けうどん、あん餅蒸し、骨付き鶏などなど…。糖尿病の神様が喜ぶものばかりが有名な我が国。この年末年始に人間が「人間性ではなく」一回り大きくなった方も珍しくないと。今のうちにメンテナンスをかけて元に戻しておかないと大変なことになりますよー。
さて、患者図書室「ひだまり」では蔵書の拡充、書架の増設、貸し出し図書除菌BOX導入など、皆様喜んでいただけるよう工夫・改善を継続しております。先日、国立がん研究センター・がん対策情報センターの方が視察に来られて、奮めていただきました。調子に乗ってどんどん良くしていきますので、本年も患者図書室「ひだまり」をご愛顧ください。

副院長・医療社会事業部長 吉澤 廣

こもれび

vol.2

ひだまりニュース★
12月に室内を少し改装しました♪

明けまして、おめでとうございます！
患者図書室「ひだまり」だより 2018年4月号です。

患者図書室「ひだまり」本館1階 総合案内となり

《患者図書室「ひだまり」 利用案内》

場所/本館1階 総合案内となり
利用時間/平日 9:00~17:00
図書閲覧/どなたでもご自由に、患者図書室内で閲覧していただけます。
貸出/高松赤十字病院の診察券（入院患者さんはリストバンド）をお持ちの方に限ります。
貸出冊数 2冊 期間 2週間
返却/開室時は受付に、閉室時は守衛室前にある「図書返却ポスト」へ投函下さい。
その他/病気や治療に関する映像視聴・情報検索、資料の複写、医療に関する相談、がん相談も受け付けております。

新しい年を迎えて
明けましておめでとうございます。
巳年のはじめは、ご存知のようにへびです。その姿や動きなどから苦手な人が多いように思いますが、世界的には信仰の対象とされ、復活・再生の象徴になっています。WHO（世界保健機関）のロゴタイプには、「アスクレピオスの杖」と呼ばれる「1匹のへびが巻きついた杖」が描かれています。アスクレピオスは、ギリシャ神話に登場する医学の神で、優れた芸術により死者を蘇らせることができたそうです。彼はいつも「へびが絡まっている杖」を携えていたことから、「アスクレピオスの杖」は、医学・医療の象徴とされるようになったのです。
医学・医療は日々刻々と絶えず進歩しています。この10年余りの間には、新たに分子標的治療薬が登場し、日常的に使用されるようになりました。また、IPS細胞（induced Pluripotent Stem cells、人工多能性幹細胞）の樹立により、免疫拒絶反応の無い肝臓移植法や薬剤安全性評価への応用、難治性疾患の病態解明に向けての研究が進んでいます。病状の改善の場面で「再生医療」の実用化までにはまだまだと予想されますが、復活・再生の巳年にさらなる進展を期待したいものです。
患者図書室「ひだまり」は、患者さん・ご家族の皆様と医療従事者とのコミュニケーションを円滑にし、病気や治療についての理解のもと、積極的に医療に参加していただくことを願って開設されました。ご提供できる図書はまだ充分ではありませんが、これまで1日平均で30人前後の方に利用していただいています。図書の閲覧や貸出のほかにも、DVDの閲覧やインターネットによる医学情報の検索ができます。また、外来受診の皆様には、待ち時間を「ひだまり」で過ごしていただけるように、外来との連携サービスもなっています。これからも利用者の皆様と適切な医療情報と癒しの集をいただけるように、「ひだまり」そして情報紙の「こもれび」を成長させてまいります。皆様のご声援、ご助言をお願いいたします。

患者図書室運営小委員会 委員長 杉野 哲朗

高松赤十字病院
日赤十字

患者図書室「ひだまり」が毎月発行する『こもれび』で、がん相談支援センターの利用を呼び掛けています。

(23.四国がんセンター) A.相談支援センターの広報

パンフレット

心配や悩み、不安を解消したい！
「がん相談支援・情報センター」
どんなことでも気軽に相談しましょう！

私たちの
がんは心配い！

医療費、治療費が
どれくらい？

治療や手術にかかる
費用はどれくらい？

がん患者さんとそのご家族は様々な悩みや
心配事をかかえていらっしゃることに
思います。
四国がんセンターでは、がん患者さんとその
ご家族のあらゆる悩みや心配事等に対応
するために「がん相談支援・情報センター」
を設置しています。
専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが
皆様のお話を伺い、問題解決のお手助けを
させていただきます。
どうぞお気軽にご相談ください。

○受付時間 8:30~17:15
(土日・祝日を除く)
○場 所 四国がんセンター2階
がん相談支援・情報センター
○対面相談 面談室での相談
○電話相談 089-999-1114
(直通ダイヤル)

独立行政法人国立病院機構
四国がんセンター
がん相談支援・情報センター
〒781-0280 愛媛県松山市南本町4-10
TEL:089-999-1114 FAX:089-999-1115
URL: <http://www.shikoku-cc.go.jp/>

案内ポスター

ご案内

医療費のお支払いや生活費などの経済的な
ご心配のある場合に利用できる制度があります。

- ★高額療養費
- ★傷病手当
- ★高度療養費貸付
- ★特定疾患
- ★高額療養費委任払い
- ★障害年金
- ★医療費控除
- ★身体障害者手帳
- ★生活保護

お困りの時は
医療ソーシャルワーカーがご相談をお受けしています。
相談は無料ですのでお気軽に声をおかけください。

時間：8:30 ~ 17:15 (土日、祝日除く)

場所：2階 がん相談支援・情報センター

がん相談支援・情報センターの役割

地域の医療機関
医療連携
外来患者 入院患者 地域住民
在宅療養支援 退院調整 医療相談
情報発信・情報提供
がん相談支援・情報センター

①医療相談
診断や治療などの医療相談、医療費、福祉、介護サービスなどについて、広く一般の方からご相談いただけます。「痛みが強くどうしよう」「治療費をどうにかしたい」といった悩み、お困りのことがあればお気軽にご相談ください。

②退院調整
病棟の医師や看護師と連携し、自宅や地域の医療機関（かかりつけ医、訪問看護等）へ移行した際に不安が生じないよう退院の準備をお手伝いします。

③在宅療養支援
外来通院中・在宅療養中の患者さん、ご家族の方が安心して必要な医療を継続できるよう支援します。

④情報発信・情報提供
患者さん、ご家族に対する医療情報の提供、地域医療機関との連携の促進など、がん医療に関する情報発信・情報提供を行います。「こんな会を希望してほしい」などご要望がありましたらお知らせください。

⑤医療連携
かかりつけ医・かかりつけ医療機関との円滑な連携を図り、当院への紹介や他院への紹介の手続き、セカンドオピニオンのご相談、申し込み対応を行います。

(23.四国がんセンター) A.相談支援センターの広報

愛媛県緩和ケア推進センター パンフレット (緩和ケアの推進と県内の相談支援室の案内を掲載)

愛媛県内のがん診療連携拠点病院の『相談支援センター』が相談に応じています。

四国がんセンター [がん相談支援・情報センター]
電話: 089-999-1114直通
089-999-1111(夜間1210)
FAX: 089-999-1115直通

愛媛県立中央病院 [がん相談支援室]
電話: 089-947-1111代表
FAX: 089-947-1127直通
E-mail: c-coacc@eh.pref.ehime.jp

松山赤十字病院 [がん相談窓口(地域医療連携課)]
電話: 089-926-9516直通
089-924-1111(夜間2622)
FAX: 089-922-6892代表

愛媛大学医学部附属病院 [がん総合相談センター]
電話: 089-960-5261直通(医療福祉支援センター)
FAX: 089-960-5959直通
E-mail: sen@mehime-u.ac.jp

住友女子病院 [医療福祉支援センター]
電話: 0897-37-7133直通
FAX: 0897-37-7134直通
E-mail: yuujiko.hunkawa@nishiher.jp

済生会今治病院 [総合医療支援室]
電話: 0898-47-2500(夜間1195)
FAX: 0898-48-5096代表

市立宇和島病院 [医療福祉相談支援センター]
電話: 0895-25-1111(夜間2202)
FAX: 0895-25-6500直通
E-mail: uwajima-ho@city.uwajima.lg.jp

医療福祉情報は「ふりむき情報ネット」
(http://www.oaz.pref.ehime.jp/oaznet/e/oa038.asp)にも掲載されています。

緩和ケア科のある施設 (緩和ケア科/緩和ケア科を併設している施設)
四国がんセンターがん相談支援センター 電話: 089-999-1111(夜間1210) 代表
松山赤十字病院 電話: 089-926-9500(夜間1195) 代表
愛媛県立中央病院 電話: 089-947-1111(夜間1210) 代表
住友女子病院 電話: 0897-37-7133(夜間1210) 代表
済生会今治病院 電話: 0898-47-2500(夜間1195) 代表
市立宇和島病院 電話: 0895-25-1111(夜間2202) 代表

相談支援センターには、専門的な研修を修了した相談員が配置されています。

ア がんの病態、標準的治療法等の情報提供
イ 地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供
ウ セカンドオピニオンの紹介
エ がん患者の療養上の相談
オ がん患者の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供
カ アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
キ ATLに関する医療相談
ク その他相談支援に関すること

がん診療連携拠点病院では、緩和ケアの提供体制を整えています。

ア 緩和ケアチーム
イ 外来緩和ケア
ウ 緩和ケアチームカンファレンスの開催
エ 緩和ケアチームに関する情報提供
オ 退院後の居宅における緩和ケアを確保
カ 緩和ケアの相談窓口を設け、地域医療機関と連携協力する体制

医師関係者の方へ 緩和ケア推進センターのご案内
緩和ケア推進センターは相談員が提供する緩和ケアの普及促進のため、以下の活動を行います。
- 愛媛県における緩和ケアに関する医療従事者のための研修について、がん診療連携拠点病院が実施する研修と連携を図りながら、企画、実施する。
- 愛媛県における緩和ケアが提供できる医療機関等の一覧を作成し、広報活動を行う。
- 緩和ケア普及のためのパンフレットの作成などを行う。
- 緩和ケアに関する相談窓口として、緩和ケアに関する地域の医療機関、医療従事者への情報提供を行う。

愛媛県緩和ケア推進センター
四国がんセンターがん相談支援センター内
直通電話 089-999-1201
FAX 8.30-17.15

愛媛県がん医療連携計画に基づき、愛媛県緩和ケア推進センターが開設されました。 平成24年1月



がんの痛みはがまんするもの？

がんになるとほとんどの人が痛みがはじまるようになったり、とうとうこたえにたついたり、などの痛みや、からだのたると痛みも含まれることがあります。
「こんなことでは耐えられない」と思わず、痛みや不安があらわれれば、がまんしないでとなどでも相談しましょう。

がんの痛みをこんなふうにはっていませんか？

Q まだ、がまんできる痛みだから・・・

A 痛みの強さが変わるほど、痛みは強くはなりませんが、がまんできなくなると、薬の量が多くなる必要になることがあります。痛みが次第に強くなること、治療が効果を得られないこと、がんの痛みがはじまるまで我慢して来たこと、

Q 痛みはがまんしないで、治療効果があがらないのでは？

A がん治療において、痛みがはじまることに別の意味があるかもしれません。心身ともに継続するに役立ちます。多くは痛みが治ると、がん治療に立ち向かう力があがり、うつ状態になることもなくなります。痛みの治療を受けたいものをご希望の方、しっかりと話し合い、適切な治療を受けることができます。痛みを我慢していませんか？

痛み・つらさの治療 = 「緩和ケア」

「緩和ケア」とは、患者さんのつらさをからだと心、社会生活、ご家族までを含めた全体として変えていくことです。

緩和ケアは「がんの治療」と一緒に始めます
がんの痛みは両方の進行とは関係なく起こります。「緩和ケア」という言葉に「終末期にだけけるもの」というイメージを持っている人も多いのですが、がん治療の相談時から一緒に始める必要があります。

緩和ケアはいつでもどこでも始められます

外来診療中も・・・
緩和ケアチーム
緩和ケア専門医
緩和ケア看護師
緩和ケア薬剤師
緩和ケアソーシャルワーカー
緩和ケア心理士
緩和ケア作業療法士
緩和ケア栄養士

一時帰院中も・・・
緩和ケアチーム
緩和ケア専門医
緩和ケア看護師
緩和ケア薬剤師
緩和ケアソーシャルワーカー
緩和ケア心理士
緩和ケア作業療法士
緩和ケア栄養士

在宅療養中も・・・
緩和ケアチーム
緩和ケア専門医
緩和ケア看護師
緩和ケア薬剤師
緩和ケアソーシャルワーカー
緩和ケア心理士
緩和ケア作業療法士
緩和ケア栄養士

「相談支援センター」をご利用ください

がん診療連携拠点病院の相談支援センターは、緩和ケアをはじめ、がんに関するあらゆる相談に応じています。ぜひ近隣の相談支援センターをご利用ください。
(愛媛県がん相談支援センターは24時間対応です)

治療以外にもこのような相談にも応じています

- がん治療が完了して生活が不安な時、いてもたってもいられない時
- がん治療がうまくいって、お金の心配がなくなる時
- がんの痛みがひどく、薬が効かなくなるといわれる時
- がんの痛みがひどく、薬が効かなくなるといわれる時
- がんの痛みがひどく、薬が効かなくなるといわれる時

相談したいことを整理してみましょう

- 心配していることとは？
- 治療法 治療期間 費用
- 治療のつらさ 心のつらさ
- 家族への負担 仕事や社会との関わり
- その他()
- 治療や費用はどのくらいですか？
- 大切にしたいことは何ですか？
- 思い通りにしてくれる人はいませんか？
- 大切な話を相談できる人はいませんか？

愛媛県内のがん診療連携拠点病院の『相談支援センター』が相談に応じています。

四国がんセンター [がん相談支援・情報センター]
電話: 089-999-1114直通
089-999-1111(夜間1210)
FAX: 089-999-1115直通

愛媛県立中央病院 [がん相談支援室]
電話: 089-947-1111代表
FAX: 089-947-1127直通
E-mail: c-coacc@eh.pref.ehime.jp

松山赤十字病院 [がん相談窓口(地域医療連携課)]
電話: 089-926-9516直通
089-924-1111(夜間2622)
FAX: 089-922-6892代表

愛媛大学医学部附属病院 [がん総合相談センター]
電話: 089-960-5261直通(医療福祉支援センター)
FAX: 089-960-5959直通
E-mail: sen@mehime-u.ac.jp

住友女子病院 [医療福祉支援センター]
電話: 0897-37-7133直通
FAX: 0897-37-7134直通
E-mail: yuujiko.hunkawa@nishiher.jp

済生会今治病院 [総合医療支援室]
電話: 0898-47-2500(夜間1195)
FAX: 0898-48-5096代表

市立宇和島病院 [医療福祉相談支援センター]
電話: 0895-25-1111(夜間2202)
FAX: 0895-25-6500直通
E-mail: uwajima-ho@city.uwajima.lg.jp

医療福祉情報は「ふりむき情報ネット」
(http://www.oaz.pref.ehime.jp/oaznet/e/oa038.asp)にも掲載されています。

緩和ケア科のある施設 (緩和ケア科/緩和ケア科を併設している施設)
四国がんセンターがん相談支援センター 電話: 089-999-1111(夜間1210) 代表
松山赤十字病院 電話: 089-926-9500(夜間1195) 代表
愛媛県立中央病院 電話: 089-947-1111(夜間1210) 代表
住友女子病院 電話: 0897-37-7133(夜間1210) 代表
済生会今治病院 電話: 0898-47-2500(夜間1195) 代表
市立宇和島病院 電話: 0895-25-1111(夜間2202) 代表

相談支援センターには、専門的な研修を修了した相談員が配置されています。

ア がんの病態、標準的治療法等の情報提供
イ 地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供
ウ セカンドオピニオンの紹介
エ がん患者の療養上の相談
オ がん患者の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供
カ アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
キ ATLに関する医療相談
ク その他相談支援に関すること

がん診療連携拠点病院では、以下の緩和ケアの提供体制を整えています。

ア 緩和ケアチーム
イ 外来緩和ケア
ウ 緩和ケアチームカンファレンスの開催
エ 緩和ケアチームに関する情報提供
オ 退院後の居宅における緩和ケアを確保
カ 緩和ケアの相談窓口を設け、地域医療機関と連携協力する体制

医師関係者の方へ 緩和ケア推進センターのご案内
緩和ケア推進センターは相談員が提供する緩和ケアの普及促進のため、以下の活動を行います。
- 愛媛県における緩和ケアに関する医療従事者のための研修について、がん診療連携拠点病院が実施する研修と連携を図りながら、企画、実施する。
- 愛媛県における緩和ケアが提供できる医療機関等の一覧を作成し、広報活動を行う。
- 緩和ケア普及のためのパンフレットの作成などを行う。
- 緩和ケアに関する相談窓口として、緩和ケアに関する地域の医療機関、医療従事者への情報提供を行う。

愛媛県緩和ケア推進センター
四国がんセンターがん相談支援センター内
直通電話 089-999-1201
FAX 8.30-17.15

愛媛県がん医療連携計画に基づき、愛媛県緩和ケア推進センターが開設されました。 平成24年1月



がんが寛ぐとき、住み慣れた自分の家で過ごすことが望ましいです。また、治療が完了したときや、入院中「自宅に帰りたい」と希望したときなど、病状のよい状態で安心して自宅で過ごすために「在宅がん緩和ケア」があります。

このリーフレットは、「緩和ケア」の解説や「在宅がん緩和ケア」を始めるときの手引き、愛媛県の「在宅がん緩和ケア」情報についてお知らせしています。「在宅療養」の不安が解消し、本来の暮らしに戻るための一助となれば幸いです。

Q 緩和ケアとは何ですか？

A 「がん」という言葉を抱えながらの生活は、右の図のように様々な痛みを伴うことがあります。緩和ケアはこれらの痛みを多量に、対応することで、クオリティ・オブ・ライフ(生活の質、生命の質)を改善するための方法のひとつです。種類としては、外来や在宅療養での緩和ケアチームによるサポート、緩和ケア科での施設緩和ケアや自宅で受けることができる在宅緩和ケアがあります。

Q 在宅緩和ケアを始めるには、どうしたらよいですか？

A まず、自宅での生活をするとどんな不安があるか、またご本人がどんな気持ちなのか「チェックリスト」を使って確認してみましょう。そのうえで、緩和ケアを提供してくれる医療機関に具体的なケアを受ける体制を相談してみましょう。

在宅がん緩和ケアの利用に向けてのチェックリスト

- 主な病名・主治医・病院名
- 今どこにおられますか？
病院 自宅 ()
その他 ()
- 介護保険を申請・利用していますか？
はい () いいえ ()
- ご本人が心配に思っていることは？
痛み 寝た 食欲低下 息苦しさ
費用 家族への負担
その他 ()
- ご家族が心配に思っていることは？
急病時の対応 住居費 費用面
介護方法(排泄・食事・入浴・他)
その他 ()
- 医師をご本人はどこで迎えたいですか？
自宅 病院 緩和ケア科
その他 ()
- そこで医師を迎える時の心配はありますか？
- 今一番大事にしたいことは何ですか？

(24.済生会今治病院) A.相談支援センターの広報



- ①患者サロンとして常設のスペースがあり、情報提供や相談ができます
- ②院内掲示ポスター
- ③病院広報誌で情報発信

(24.済生会今治病院) A.相談支援センターの広報

① 医療支援室の業務時間
(談話支援窓口)

平日:8:30~17:00
土曜:8:30~12:30
休日:日曜、祝祭日、年末年始、臨時休診時
TEL:病院代表(0898)47-2500 内線1022、1024
※事前にご連絡いただくと、お待たせする事のない様対応させていただきます。

どうぞおはなしください

病气やケガによって生じる患者様や
家族の方々の悩み・不安に対し、安心して療養生活ができるよう
生活全般に関するご相談、退院、在宅療養に関する
お手伝い等を行っています。

相談は無料です。
秘密は守ります。

医療費の支払いのことが心配……
社会福祉制度ってなに?
療養上の様々な疑問について知りたい
退院後の生活が不安で……

②

医療相談
地域医療連携

医療相談とは
どんなことをしているの?

地域医療連携とは
どんなことをしているの?

案内図

交通施設・事業所

済生会今治第二病院
TEL.(0898)47-0100

介護老人保健施設 希望の葉
TEL.(0898)47-0800

舟橋地区介護支援センター(TEL)
TEL.(0898)47-5111

済生会今治総合診療センター
TEL.(0898)47-6810

済生会今治総合診療センター(TEL)
TEL.(0898)47-0800

舟橋総合診療センター(TEL)
TEL.(0898)47-7373

健康介護支援センター(TEL)
TEL.(0898)47-5111

●今治駅より、約4km、車で10分
●今治港より、約4km、車で10分
●舟橋総合診療センター(TEL)より徒歩

医療相談
地域医療連携の
ご案内

社会福祉法人 済生会今治病院
〒798-1588 愛媛県今治市藤原7781-6
TEL.(0898)47-0500(代)
FAX.(0898)48-5008
http://www.saiseikai-saijikai.or.jp/

済生会今治病院
総合医療支援室



- ①ホームページ上の案内
- ②相談支援センターのリーフレット
- ③定期的に地域へ出向いて健康相談会を開催

(24.済生会今治病院) A.相談支援センターの広報

①
愛媛新聞に掲載
(患者サロン開設)

②

患者家族サロン

患者さま・ご家族の皆さまが思い通りになるサロンを開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時: 2012年4月26日(木曜日)
13時00分～14時30分まで

※都合や体調が悪い場合は途中退席していただいても構いません。

内容: ●ミニ講座・高額療養費制度について
済生会今治病院・医療ソーシャルワーカー・池田彩氏
●語り合い ※途中に休憩があります。

場所: 済生会今治病院
本館1階 患者サロン

対象者: がん患者さま・ご家族さま
(受診している医療機関は問いません)

※参加される方へのお願い ～ご参加の場所にするために～
●サロンで展開された個人情報は厳守いたします。①の中心にどこまでお伝えしよう。
●選挙権持参票、開票等票、選挙結果等の結果開票結果、選挙、政治思想等は、
の勤務先にお断りします。




★参加費等値される方は・・・
4月23日(月曜)までにご連絡ください
【連絡先】
電話: 0898-47-2500 (代電)
総合患者支援室 5F、1F、2Fまで

※今回は、毎月第4木曜日(13時～)開催していく予定です。
ご案内は、済生会今治病院のホームページ・院内掲示などでお知らせさせていただきます。
2012年4月

③

患者サロン ほほえみ

分かち合う 学ぶ 調べる 語る 和む 癒される

★サロンはどこにありますか?

何をするための場所?

学ぶ 調べる 語る 和む 分かち合う 癒される

パソコン

冊子・リーフレット

図書

定期的には患者さまやご家族が集まる会をしています。会の詳細は、院内掲示物や済生会今治病院ホームページでお知らせしています。

があれは

ソーシャル)が、数時)あります。、お知らせ安や悩みな情報の提供お手伝いを員が不在の療室の職員

- ①患者家族サロンの新聞記事
- ②患者家族サロンの案内
- ③患者サロン “ほほえみ” のリーフレット

A 相談支援室の広報

25.愛媛県立中央病院

かかりつけ医をお持ちですか？

あなたを支える



病院に通院中の方も、
かかりつけ医を持ちましょう

地域医療連携とは？

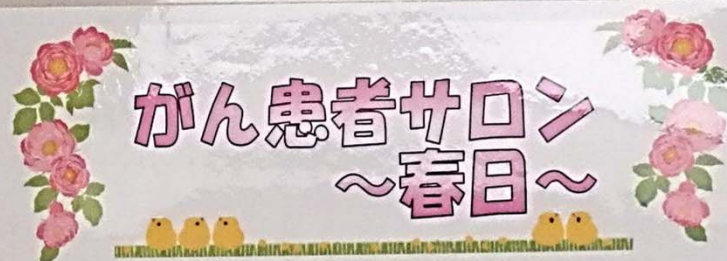
地域医療連携とは病院と診療所がお互いに連携して医療を提供することです。診療所の医師（かかりつけ医）が患者さんの日常的な健康管理と検査・治療（内服薬の処方）を担当し、当院は精密検査や治療（手術、放射線、抗がん剤治療など）を担当します。

地域医療連携には次のような良い点があります。

- 最良の医療が継続して受けられます。
- ゆとりのある診察が受けられます。
- 病院・診療所での待ち時間が短くなります。
- 重複した検査・投薬が避けられます。
- 遠い人は通院の費用も軽減されます。

地域医療連携には、地域連携パス（私のカルテ）を使用します。

病院と診療所がお互いに患者さんの状態を把握するために、地域連携パス（私のカルテ）を使用します。



がん患者サロン ～春日～

がん患者さんやご家族が、思いを語り合う場です。

どうぞ、お気軽にお越しください。

対象：がん患者さん・ご家族

（受診している医療機関は問いません）

日時：毎月第1火曜日 15時～16時30分

場所：当院 周産期センター7階研修室

事前申し込み 不要 参加費無料

各月、以下の職員も参加しますので、簡単な相談もできます。



| 開催日 | お待ちしております |
|--------------------------|------------------|
| 2月5日(火) | 臨床心理士 ころのケアの専門家 |
| 3月5日(火) | 管理栄養士 食事のことなら何でも |
| 4月9日(火) | がん化学療法看護認定看護師 |
| ※ 4月のみ第2火曜日に 変更しています。 | 抗がん剤副作用のケア |

お問合先 地域医療連携室 松岡 電話 089-947-1111 (内線 7575)

A 相談支援室の広報
25.愛媛県立中央病院

ポスター掲示するとともに3つ折りにして、自由に持ち帰りし易いようにしています。

がん相談支援室のご案内



患者さんやご家族が抱えている様々な悩みや不安が軽減されるように、共に問題に取り組んでいきたいと思っています。どうぞ気軽にご相談ください。

平成18年7月から「がん相談支援室」として、入院の有無を問わず、患者さんやご家族の方からの相談をお受けしております。

がん医療の基本は「早期発見・早期治療」といわれています。当院においては地域の基幹病院として人間ドックや健康診断を実施、平成18年2月にはPET-CTセンターを開設してがんの早期発見の診断精度の向上を目指しております。また、現在は患者さんだけでなくご家族の方も、治療や療養について、悩むことがあり、そのための情報を必要とすることも多くあると思います。そこで当院では、がん医療の情報提供や相談窓口として、患者さん及びご家族の方のさまざまなニーズに対応するため「がん相談支援室」を設けています。

何を相談に？と思われる方も多いと思います。今まで「先生から“がんかもしれない”と言われ、その後の説明を覚えていない」「味覚が変わって食事がすまない」「骨に負担をかけずに筋力をつけるにはどのような運動をすればよいのか」などがありました。その他として以下をご参照ください。

- がんに関する情報
- 療養生活に関する相談
- 患者さん・ご家族の方の精神面に関する相談
- 症状緩和に関する相談
- 入院患者さんの転院・退院後の生活に関する相談

まず、予約を頂いて、担当看護師が相談者のお話を時間をかけて直接伺います。その上で、患者さんやご家族が抱えている様々な悩みや不安が軽減されるように、共に問題に取り組んでいきたいと思っています。どうぞ気軽にご相談ください。

ご相談を希望される方は下記にご連絡、またはお立ち寄りください。

- 予 約** 電話 089 (947) 1111 (代表) がん相談支援室 (内線: 7221)
メール: メールアドレス: c-ocsc@eph.pref.ehime.jp
(電話・メールのみでの相談は受け付けておりません。)メールの場合は、個人を特定できる 氏名、住所、電話番号を記入の上、お申し込みください。折り返し、お電話にて予約日時をお知らせします。
- 予約受付時間** 8時30分～17時 (平日のみ) **相談方法** 面接相談
- 担 当** 山下 広恵 (がん化学療法看護認定看護師)
武田 千津 (専門看護師)

~~~~~30分から1時間の予約制とさせていただきます。~~~~~

愛媛県立中央病院

## がん患者サロン～春日～

がん患者さんやご家族が、思いを語り合う場です。  
どうぞ、お気軽にお越しください。

対 象：がん患者さん・ご家族  
(受診している医療機関は問いません)  
日 時：毎月第1火曜日 15時～16時30分  
場 所：周産期センター7階研修室  
事前申し込み 不要 参加費無料

各月、以下の職員も参加しますので、簡単な相談もできます。

| 開催日                               | お待ちしております                    |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 3月5日(火)                           | 管理栄養士<br>食事のことなら何でも          |
| 4月9日(火)<br>*4月のみ第2火曜日<br>に変更しています | がん化学療法看護認定看護師<br>抗がん剤の副作用のケア |

# 公開講座のお知らせ



愛媛県立中央病院 がん治療センター  
第4回市民公開講座

**がんという病気とは**  
～がんについて学ぼう～

参加費無料  
平成23年  
**11月13日** (日)  
14:00～15:30

申し込み・お問い合わせ先  
事務局 愛媛県立中央病院 医事課 入院医事務  
〒790-0024 愛媛県松山市春日町53  
電話 089-947-1111 (内線2235)  
メール chuo-hyo@pref.ehime.jp

会場  
愛媛県立中央病院 周産期センター7階研修室

内容  
① がんについて知っておきたいこと  
愛媛県立中央病院 がん治療センター長 原 雅道  
② がんに関する情報の集め方  
愛媛県立中央病院 がん看護専門看護師 武田 千津

- 病院内に掲示。
- 持ち帰り用リーフレットあり



えがお 愛媛県民だより  
愛と笑顔あふれる愛媛を目指して!

**愛顔のえひめ**  
6月号 June  
第179号 2011年6月1日発行  
毎月1日発行

編集/愛媛県企画振興部広報広聴課  
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2 TEL:089-912-2241

ホームページでもご覧いただけます <http://www.pref.ehime.jp/>

- 愛媛県広報誌  
毎月1日各社新聞内に折り込み
- 開催する月または、1ヶ月前に掲載



暮らしに役立つ地域生活情報紙  
**Living リビングまつやま** 2/5

〒790-8583 松山市千寿町7丁目2-8 株式会社リビング新聞社 FAX:089-932-7301 ● 広告 ☎089-931-7001 ● 編集部 ☎089-931-7066 ● 配布 ☎089-921-6800



**Rie** ウィークリーえひめリック

- 開催1～2週間前程度に掲載

**愛媛新聞～えひメディカルに掲載  
医療**

**愛媛新聞に掲載  
(市民向け公開講座)**



# A: 相談支援センターの広報

## パンフレット

### がん診療相談窓口 を開設しています

高知大学医学部附属病院は「**都道府県がん診療連携拠点病院**」として、厚生労働省から指定を受けています。

がん診療の更なるレベルアップに励むと共に、高知県及び地域がん診療連携拠点病院とも連携を図って、高知県のがん診療に貢献したいと考えています。

がん診療等に関する相談窓口を、下記のとおり開設しています。看護師及び医療ソーシャルワーカーが対応させていただきますので、お気軽にご相談ください。

- ・相談窓口 高知大学医学部附属病院  
地域医療連携室  
TEL 088-880-2179
- ・相談時間 8:30 ~ 17:15  
(土・日曜日、祝日、年末・年始を除く)
- ・利用方法 インフォメーション(1階外来ホール)にてお呼びください
- ・相談内容 例えば、以下のようなことにお困りではないでしょうか？
  - ・セカンドオピニオンに関すること
  - ・HTLV-1関連疾患であるATLに関する医療相談
  - ・アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
  - ・緩和ケアについて知りたい
  - ・治療費など、経済的な心配
  - ・退院後の生活が不安
  - ・その他、誰に相談してよいか分からず困っている事など

相談は無料・秘密厳守です

## ホームページ

取り組み案内<高知大学医学部附属病院がん治療センター>

The screenshot shows the website for the Cancer Treatment Center at Kochi University School of Medicine. The page is titled '取り組み案内 - Approach guide -'. A red box highlights the 'がん相談窓口' (Cancer Consultation Window) link in the 'がん登録' (Cancer Registry) section. The page lists various services and contact information, including a list of staff, consultation hours, and contact details for the consultation window.

# A: 相談支援センターの広報

## 広報紙



高知大学医学部附属病院長  
杉浦 哲朗

### 広報の発刊にあたって

高知大学医学部附属病院は、地域に密着した基幹病院として急性期の患者さんに全人的医療を提供すると同時に高度先進医療の提供、医学研究の成果を医療に還元するという使命をもって教育・研究にも取り組んでまいりました。

近年、病院では安心で安全な医療が求められる一方、高齢化社会の到来や医療の高度化により、質の高い医療を効率的に提供することが求められています。そこで高知大学医学部附属病院では中期目標として、「①社会ニーズに呼応した病院機能運営を強化する ②先端医療の確立と研究成果の医療現場へのフィードバックを充実し、パートナーシップに基づく地域医療を実践する ③教育・研修における医学から医療学への変化に対応する」の3点を掲げ、取り組んでおります。平成24年度からは病院再開発が始まっており、その第一弾として本年9月に手術支援ロボット・ダヴィンチが導入されました。今日、低侵襲の腹腔鏡手術がほぼ一般的となっておりますが、それらをさらに安全に行うための手術支援ロボット・ダヴィンチが一般化しつつあります。ダヴィンチを用いると一般の腹腔鏡手術に比べ視野が著しく改善し、ヒトの関節と同等に動くマジックハンドデバイスの良好な可動性から、剥離や、血管、尿管、腸管などの吻合が極めて容易に行えます。ダヴィンチの稼働により外科系医師の手術技能や意欲の向上などが大いに期待できます。

高知大学医学部附属病院は、今後とも職員一丸となって医療の質と安全の確保に努めるとともに、高知県における地域医療ネットワークの更なる充実を図り、社会の期待に応えるべく邁進していきたいと考えておりますので、地域医療連携室業務へのご理解と温かいご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## がんサロン案内



本院では、がん患者さんやご家族が日頃の思いや悩みを語り合う場の提供を目的としたがんサロン「ひだまり」を開設しました。患者さんたちがお互いの悩みを打ち解けあったり情報交換をする場として、気軽にご利用いただけますので、ご参加をお待ちしております。

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 場 所 | 病院玄関ホール | 相談室     |
| 開 催 | 毎月第3木曜日 | 午後2時～4時 |
| 参加費 | 無 料     |         |
| 申込み | 無 料     |         |

問い合わせ先 医事課医事係  
TEL 088-880-2235

# A: 相談支援センターの広報

## 市民公開講座案内

都道府県がん診療連携拠点病院 **市民公開講座** 高知大学医学部附属病院

### 「もし、あなたが **がん** と言われたら」

— がん拠点病院で受けられるサービス —

当院は、高知県の都道府県がん診療連携拠点病院としての取組を広くわかりやすく地域のみなさま方に知っていただくための市民公開講座を開催いたします。がんと診断されたら当院(がん診療連携拠点病院)として、どのような対応ができるかについてお話いたします。  
みなさまのご来場を、お待ちしております。

日時：平成23年11月26日(土) 14:00～16:00

場所：コンフォートホテル高知駅前 土佐の間

高知市北本町2丁目2-12 TEL:088-883-1441

参加費：無料

挨拶 高知大学医学部附属病院長 杉浦哲朗  
講演

【演題：がんと言われたとき知っておくべきこと】  
がん治療センター副部長 岡本 健 医師

【演題：「緩和ケア」って何ですか？】  
緩和ケアチーム 小笠原 麻紀 看護師

【演題：抗がん剤治療との付き合いかた -外来通院を中心に-】  
外来化学療法室 塩田 麻子 看護師

【演題：がん患者さんが利用できる社会資源】  
地域医療連携室 高橋 武史 医療ソーシャルワーカー

司会 がん治療センター部長 小林 道也

後援：高知新聞社・RKC高知放送・NHK高知放送局・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ  
(順不同)

お問い合わせ  
高知大学医学部・病院事務部総務企画課企画係  
Tel. 088-880-2180 FAX 088-880-2227



# A相談支援センターの広報

## がん相談窓口

- ♥あなたのお話を十分な時間をかけてお聴きします
- ♥あなたご自身の気持ちを大切にします
  - ♥あなたと一緒に考えます
  - ♥あなたの秘密を守ります



がん相談窓口

がん相談窓口に関する  
パンフレット

# A相談支援センターの広報



## がん相談窓口

高知医療センターでは、患者さんやご家族の方はもとより、地域の皆様からの**がんに関する疑問や不安、悩み**に対応するために、「がん相談窓口」を「まごころ窓口」に設置しております。

相談員は専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが、皆さんのお話を伺い、医師、薬剤師、栄養士、リハビリ専門職といった病院スタッフと連携をとりながら、問題を解決するお手伝いをいたします。

がん相談のスタッフは医療センターの職員ですが、患者さんの立場にたってお話を伺います。そのうえで病院とは切り離れた部門として対応していきます。

秘密は厳守いたします。

- ・ 相談時間 月～金曜日 9：00～16：00  
(祝日、年末・年始を除く)
  - ・ 場所 1階まごころ窓口 (正面玄関を入り、左手)
  - ・ 相談方法 来訪による対面相談 (まごころ窓口相談室での相談)  
電話相談 088 (837) 6777 (まごころ  
窓口) または 088 (837) 3000  
(高知医療センター) で「がん相談」へと
- 注) がん相談は治療方針を決定するところではありません。

たとえばこんなとき・・・

受診するにはどうし  
たらいいのか

治療法について決  
心が見つからない

セカンドオピニオン  
の手続きについて

医療費、生活費、介護保  
険や身体障害者の手続  
きやサービスについて  
知りたい

先生に聞きたいこと、言いた  
いことが言えずに悩んでいる

家族や仕事のことで悩んでいる

気持ちが落ち着  
かない、話を聞  
いてもらいたい

緩和ケア(ホス  
ピス)について  
知りたい

家庭での療養や介護のことを  
知りたい

自分のがんについて知りたい

ご家族の方も支えます

♥「がん」に関するさまざまな悩みをご一緒に考えていきたいと思  
います。お気軽にご相談ください。

がん相談窓口に関する  
パンフレット

# A相談支援センターの広報



## 緩和ケア（ホスピス）って なあに？

がんによる痛みや不快な症状を軽減することを優先し、それとともに不安やストレスを軽減し、穏やかな日々を送っていただけるよう支援することです。

ご不明な点や相談がありましたら、  
いつでも「がん相談窓口」へ

- ・ 相談時間 月～金曜日 9：00～16：00  
(祝日、年末・年始を除く)
- ・ 場所 1階まごころ窓口（正面玄関を入り、左手）
- ・ 相談方法 来訪による対面相談（まごころ窓口相談室での相談）  
電話相談 088（837）6777（まごころ  
窓口）または088（837）3000  
（高知医療センター）で「がん相談」へ

緩和ケアを提供する場は

- ・ 在宅型  
住み慣れた自宅で地域の医師や訪問看護師、訪問介護などが  
チームを組み、連携をとりながらケアを提供します。  
(40歳から64歳の末期がん患者の方も介護保険の対象です)
- ・ 施設型  
緩和ケア病棟を中心に行われます。緩和ケア病棟は一般病棟に  
比べて看護スタッフも多く配置され、また、家庭的な雰囲気  
なかで過ごせるような設備を整えています。

緩和ケアに関する  
パンフレット




# A相談支援センターの広報

## 緩和ケア病院を受診するには（緩和ケア外来、入院予約）

- ①時間があればいくつかのホスピスを見学して、自分にあった施設を選んでください。
- ②病院が決まればお申し出下さい。情報提供書を作成します。
- ③担当医師からの紹介状を持参のうえ緩和ケア外来を受診してください。
- ④病状が悪く患者さんが受診できない状態であればご家族の方が紹介状を持参し、ご相談ください

## 緩和ケア病棟に入院する際の費用は

| 緩和ケア病棟の1日の入院料                                                      |                           |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 1日の入院料 3,780点=37,800円<br>※3割負担の場合（1日の自己負担額）<br>37,800円×0.3=11,340円 | 1食の食事代の自己負担額<br>（一般） 260円 |



各種健康保険が適応され、高額医療費助成制度も適応されます。また、収入によって補助制度がありますので、経済的に困ったときには病院のソーシャルワーカーに相談しましょう。差額ベット代などは病院によって違ってきます。詳しくは、各施設でお聞きください。

## 高知県内の緩和ケア病院

| 病院     | 住所      | 電話           |
|--------|---------|--------------|
| 高知厚生病院 | 高知市葛島   | 088-882-6205 |
| 因南病院   | 高知市知寄町  | 088-882-3150 |
| いずみの病院 | 高知市薮野北町 | 088-826-5511 |
| 細木病院   | 高知市大膳町  | 088-822-7211 |
| もみのき病院 | 高知市塚の原  | 088-840-2222 |
| くろしお病院 | 須崎市森町   | 0889-43-2121 |

痛みはあなたの生きるエネルギーを奪います。

強い倦怠感もうなにもできないという無力感をまねきます。

吐き気は、あなたを一日中不愉快な気分させます。

気持ちの落ち込みはがんと闘うあなたの力を奪います。

希望がみえないことはあなたを絶望の淵に追いやります。

がんになったとき、

からだやこころの苦痛を和らげる医療技術があること

を知っていますか。

緩和ケアは、がん治療と一緒に行うもうひとつの医療。

苦痛が緩和されれば、生きる勇気がわいてきます。

緩和ケアに関する  
パンフレット

# A相談支援センターの広報



## がんの補完代替医療 (CAM) について



ご不明な点や相談がありましたら、  
いつでも「がん相談窓口」へ

- ・ 相談時間 月～金曜日 9:00～16:00  
(祝日、年末・年始を除く)
- ・ 場所 1階まごころ窓口 (正面玄関を入り、左手)
- ・ 相談方法 来訪による対面相談 (まごころ窓口相談室での相談)  
電話相談 088 (837) 6777 (まごころ  
窓口) または088 (837) 3000  
(高知医療センター) で「がん相談」へ

雑誌や本、インターネットはがんの補完代替医療に関する情報があふれていますが、科学的な立場から有用なものは極めて少ないのが実情です。

一方で、がん患者さんは補完代替医療に関心をもっている方も多く、本人はそうでなくても、周囲の人から「これを飲んで直った人がいるよ」と勧められた経験もあると思います。

代替医療に関する  
パンフレット

# A相談支援センターの広報

## 1) 補完代替医療とは

・「補完医療 (コンプリメンター・メディシン) とは従来の医学的な治療に加えて「補足的に」他の施術、療法を行うときに用いられています。

・「代替医療 (オルターネイティブ・メディシン)」は「何かの代わりに」という意味で「通常医療にとって代わる」という意味になります。

## 2) 補完代替医療にはどのようなものがあるの

保険診療にならない医療のことで、具体的には健康食品、鍼・灸、アロマセラピー、気功などの伝統医療や民間療法、そして、遺伝子治療などの先進医療も含まれます。

## 3) 代替医療の詳しい情報について厚生労働省の研究班が作成した「がんの補完代替医療ガイドブック」があります。

- ・高知医療センター「なるほどライブラリー」に掲示しています。
- ・インターネット「がん補完代替医療ガイドブック」で検索。
- ・高知医療センターの「がん相談員」にお尋ねください。

## 4) 補完代替医療の効果や副作用について

現段階で、がんの治療効果が科学的に証明されたものはありません。不安な気持ちを落ち着けるためや、食事が充分摂取できない場合にサプリメントで補うなどの目的で使うのであれば意義が

あります。中には、抗がん剤治療や放射線治療の効果を軽減したり、副作用を強めたりすることがわかっているものもあるので、補完代替医療を併用したい時は、必ず主治医や看護師に相談してください。

## ※ 補完代替医療とのつきあい方5カ条

1. 関心のある補完代替医療について科学的な根拠を集めよう
2. いま受けている治療に悪影響がないか、担当医に確認しよう
3. 健康食品・サプリメントには、副作用があるものもある
4. 「がんが治った」体験談や「免疫力が高まる」といった宣伝文句には要注意
5. 自分にとって効果はあるのか、費用や期間が妥当か、冷静に考えよう



## ⚡ 補完代替医療のみは危険です。詳しくは

「がんの補完代替医療ガイドブック」を  
ご覧ください

代替療法に関する  
パンフレット



# A相談支援センターの広報



## セカンドオピニオン Q&A

セカンドオピニオンとは、診断の確認や治療方針、その他の治療方法などについて、ご自身で納得した治療が選択できるように主治医以外の意見を聞くことです。転院や主治医を変えることはありません。

ご不明な点や相談がありましたら、  
いつでも「がん相談窓口」へ

- ・ 相談時間 月～金曜日9:00～16:00  
(祝日、年末・年始を除く)
- ・ 場所 1階まごころ窓口(正面玄関を入り、左手)
- ・ 相談方法 来訪による対面相談(まごころ窓口相談室での相談)  
電話相談 088(837)6777(まごころ  
窓口)または088(837)3000  
(高知医療センター)で「がん相談」へ



セカンドオピニオンに関する  
パンフレット

# A相談支援センターの広報

## Q. セカンドオピニオンはどのようなときにするの？

- A・主治医に診断や治療方針の説明を受けたが、どうしたらいいか悩んでいるとき
- ・いくつかの治療方針を提示されたが、迷っているとき
  - ・ほかに治療法はないかと迷っているとき

## Q. 主治医の機嫌を損ねたりしませんか？

- A・今日では他の専門病院で見解（セカンドオピニオン）を聞くことは患者さんの当然の権利であると考えられています。主治医の機嫌よりも大切なことがあるはずです。なんとなく遠慮だとか、信頼できないとか、いろいろあると思いますが思い切って疑問をぶつけてください。患者さんのことを第一に考えてくれる医師なら必ず理解を示してくれるはずです。

## Q. セカンドオピニオンを受けるとき、準備すること、注意することはありますか？

- A・ご自分の病状を詳しく把握しましょう。
- ・病期（ステージ）を確認しましょう。治療法は病期（ステージ）によって異なります。
  - ・あなたの病状を一番よく知っているのは主治医です。疑問点は先に主治医に聞いてからセカンドオピニオンで何を聞き

たいかをはっきりさせましょう。

- ・主治医に紹介状、検査データ（CT・MRI・エコー・病理検査・血液検査など）の準備を依頼しましょう。
- ・手続きはご本人、ご家族でおこないます。
- ・受け入れ先に確認しましょう。受診前に希望される病院に連絡し、予約方法、持参する資料、費用などを確認しましょう。

## Q. セカンドオピニオン医は、どうやってさがせばいいの？

- A・担当医に相談するのもひとつの方法ですが、同じような医師のところへ行くと同じ治療法をすすめられることもあり、どういったタイプの医師に依頼するかは重要なポイントです。書籍、新聞、インターネットなどを参考にして慎重に考えましょう。

※ご不明な点がありましたら、がん相談員も一緒にお手伝いしますのでまごころ窓口にご声かけください。



セカンドオピニオンに関するパンフレット

# A相談支援センターの広報

**高知医療センター がん相談窓口のご案内**  
看護師やソーシャルワーカーが、がんに関する相談を無料で受けたいします。

相談内容の秘密は厳守いたします。

ご本人やご家族の方、当院にかかっていない方もご利用できますので、遠慮なく



がんと言われ不安  
自分のがんについて知りたい  
医療費はどのくらいかかる？  
家族にできることは何でしょう  
緩和ケアについて(ホスピス)  
セカンドオピニオンとは？

**\*相談時間** 月～金曜日 9:00～16:00 (休日、年末・年始を除く)  
県内あちこちの集客にはお断りいたしております。ご了承ください。

**\*相談窓口**  
1階まごころ窓口にて「がん相談窓口」を設けています。

**\*面談でのご相談**  
お1人さま約40分までを目安としています。  
1階まごころ窓口にお声かけください。

**\*電話でのご相談**  
お1人さま約20分までを目安としています。  
電話:088(837)6777(まごころ窓口)



がん相談窓口に関するリーフレット



# A相談支援センターの広報

## 高知医療センターがん患者さんの会



サロン「池の会」



サロン「池の会」の集い

定例会

【曜日】 第1・3木曜日（月2回）

【時間】 12：00～14：00

【場所】 1階研修室1

月～金曜日（祭日を除く）は午前9：00から12：00まで  
1階研修室1でサロンを開設しております。がん患者さん、ご家族の方、  
診察の待ち時間などにご利用ください。

ご質問は・・・

院内からの場合 ⇒ まごころ窓口「がん相談窓口」

院外からの場合 ⇒ TEL：088(837)6777

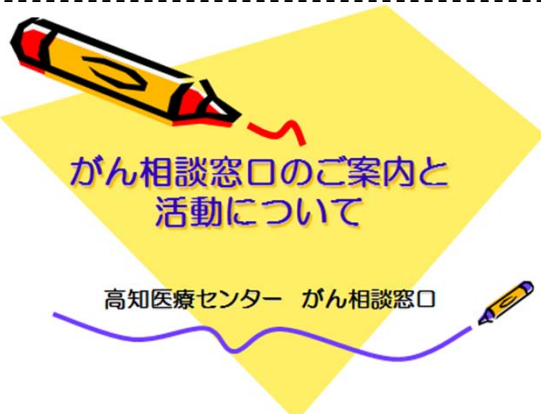
「がん相談窓口担当者につないでください」とおっしゃってください。



患者会に関する  
リーフレット

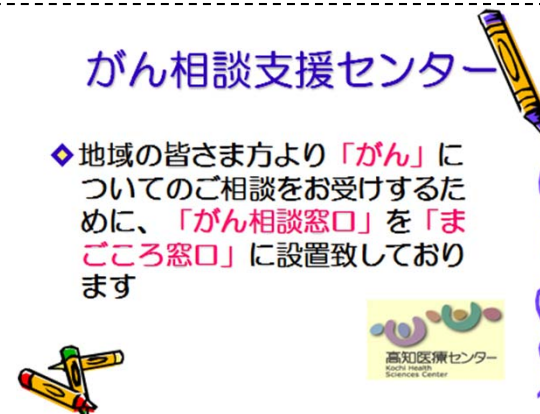
# A相談支援センターの広報

がん相談窓口に関するホームページ




がん相談窓口のご案内と活動について

高知医療センター がん相談窓口



## がん相談支援センター

◆地域の皆さま方より「がん」についてのご相談をお受けするために、「がん相談窓口」を「まごころ窓口」に設置致しております



### まごころ窓口 (がん相談窓口)



コンビニエンスストア | 総合案内 | 正面玄関 | ドールコーヒー | まごころ窓口  
がん相談窓口

受付・会計 | ロビー

○ まごころ窓口  
こちらからお入り下さい



相談室

待合室

# A相談支援センターの広報

がん相談窓口に関するホームページ

## がん相談員

看護師や医療ソーシャルワーカーなどで、ご相談をお受け致しております

相談は**無料**です



## 相談を受けられる方は

★患者さんやご家族のほか、地域住民の皆さま、どなたでも利用できます



## 利用方法

- ★電話でのご相談
- ★面談でのご相談
- ★メールでの相談
- 面談の方は、まごころ窓口へ直接おいでるか、予約を受け付けます



相談内容の秘密は厳守いたします

※ご相談いただいた内容が外に漏れてしまうことは一切ありません





# A相談支援センターの広報

がん相談窓口に関するホームページ

## 問い合わせ先

- 病院代表  
TEL：088-837-3000
- まごころ窓口  
TEL：088-837-6777



## 利用時間

- ★月曜日～金曜日
  - ★時間 9：00～16：00
- 祝日、年末、年始を除く



## 相談内容



## がんと言われ不安や悩み

- ★眠れない
- ★いらいらする
- ★気持ちが落ち込む
- ★怒りっぽい
- ★自分を責めてしまう
- ★集中できない
- ★食欲がない
- ★心配事が頭から離れない

・我慢しないで、話を聞いてもらうことで、少し落ち着くかも知れません、かかえこまずにまずは、お気軽にご相談ください！



# A相談支援センターの広報

がん相談窓口に関するホームページ

## 自分の「がん」について知りたい

- ★がんの状態や治療方法
- ★治療の効果および副作用など

- 治療前には、十分な準備をしましょう
- 担当医師に聞きたいことなどをご一緒に整理していきましょう



## 医療費や生活費について

- ★高額療養費
- ★高額医療費貸付制度
- ★介護保険や障害手帳など

- 少しでも、経済的負担を軽くするための情報については、医療ソーシャルワーカーが対応いたします。



## ご家族の方も支えます

- 家族は、患者さん含めて「ひとつのまとまりです」心にもさまざまな負担がかかります
- ★不安、いらいら、落ち込みなど
- ★患者さんの身の回りの世話を誰がするのか
- ★患者さんに代わって家族内の役割を誰が担うのか
- ★治療費や経済的な負担など



## 緩和ケアについて (ホスピス)

- ◇ 患者さんご家族のからだの痛みを癒し、「その人らしく生きていくこと」を、総合的にやわらげる支援のことを「緩和ケア」と呼んでいます

- 緩和ケアの病院について、ご紹介させていただきます



# A相談支援センターの広報

がん相談窓口に関するホームページ

## セカンドオピニオンとは？

- ★ 第2の意見で、症状や治療法について、現在の自分の担当医師以外の医師から意見を聞き参考にする事。
- ★ 担当医師に、診断や治療方法の説明をうけたが、どうしても悩んでいるとき。
- ★ いくつかの治療方法を提示されているが迷っているとき。
- ★ ほかに治療方法がないかと考えているとき。

\* 担当医師に、失礼ではないかなど心配する必要はありません。  
\* ご自身が、「納得して治療」を「選択」して受けることです。

## なるほどライブラリー（図書館）



## 相談支援センターのスタッフ

がんに関するさまざまな悩みを一緒に考えて、いきだしたいと思います。

★ お気軽にご相談ください。

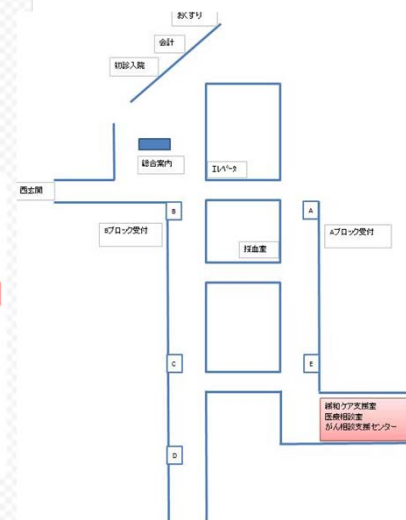




## がん相談窓口としての役割

こんなときにご相談ください

- ★がんとと言われて、どうしたらいいのかわからない
- ★がんの治療、検査についてわからない
- ★がんのことをもっと知りたい、情報をどのように収集したらいいのかわからない
- ★家族ががんとと言われて……どうしたらいい？
- ★セカンドオピニオンについて聞きたい
- ★療養の中で不安に感じることをどこに聞けばいい？
- ★からだやこころのつらさを和らげる緩和ケアについて聞きたい
- ★在宅で療養するときどんな制度があるの？
- ★高額療養費について知りたい、生活費のことが心配



がん相談窓口では、医療ソーシャルワーカーが初回にお話をお聞きし、必要に応じ医師、看護師、薬剤師など専門職種と連携し、ご相談に対応させていただきます。相談内容は秘密を厳守します。安心してご相談ください。

月曜日から金曜日(祝日を除く)

8時30分～17時15分

場所: 2階 初診受付左手廊下奥(相談室2)

面接の予約は必要ありません。

相談費は無料です。

0880-66-2222(代表)

ホームページ中の  
がん相談窓口の案内


# A.相談支援センターの広報

## 医療相談室のご案内

医療相談室では、患者様、ご家族の皆さまのご相談や疑問、お悩みをともに考え、解決できるよう専任の医療ソーシャルワーカーが問題解決のお手伝いをしています。

- ☑ 他院の医療機関(病院など)への転院調整
- ☑ 福祉施設の利用
- ☑ 在宅サービスの紹介
- ☑ 治療費など費用にかかわる相談
- ☑ 介護保険等の費用や相談
- ☑ 福祉制度・社会保障の利用方法 など


どうぞお気軽にお問い合わせください。



### がん相談窓口としての役割

こんなときにご相談ください

- ★がんと言われて、どうしたらいいのかわからない
- ★がんの治療、検査についてわからない
- ★がんのことをもっと知りたい、情報をどのように収集したらいいのかわからない
- ★家族ががんと言われて・・・どうしたらいい?
- ★セカンドオピニオンについて聞きたい
- ★療養の中で不安に感じることをどこに聞けばいい?
- ★からだやこころのつらさを和らげる緩和ケアについて聞きたい
- ★在宅で療養するときどんな制度があるの?
- ★高額療養費について知りたい、生活費のことが心配



がん相談窓口では、医療ソーシャルワーカーが初回にお話を聞き、必要に応じて医師、看護師、薬剤師など専門職種と連携し、ご相談に対応させていただきます。相談内容は秘密を厳守します。安心してご相談ください。

**相談受付**

月曜日から金曜日(祝日を除く)

8時30分～17時15分

面接の予約は必要ありません。

相談費用は無料です。

0880-66-2222(代表)

← 案内ちらし

緩和ケア支援室・  
医療相談室が移転しました。

平成24年10月より、医療相談室、緩和ケア支援室、がん相談支援室が2階Eブロックの外来治療室内に移転しました。

患者さん、ご家族の抱えるからだやこころのつらさ、療養の中で不安に感じること、医療費にかかわる相談、介護保険や福祉制度等についての相談に応じます。

お話をおうかがいした上で、必要に応じて医師、看護師、薬剤師など専門職と連携し対応させていただきます。

\*相談受付：月々金(祝日除く)  
8時30分～17時15分  
\*事前予約は不要です。どうぞお気軽にご相談ください。



この場所になりました。



医療相談室、緩和ケア支援室、がん相談支援室は外来Eブロックにあります。(外来治療室・リハビリ室の隣です。)

↑ 院内情報誌  
「News Letter」